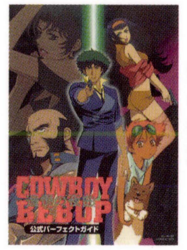
**既刊案内**

**バンダイ関連のゲーム攻略本**



**COWBOY BEBOP**
**～追憶の夜曲～**
**公式パーフェクトガイド**
定価：本体1,500円（税別）

**ファルコム関連のゲーム攻略本**

**ザナドゥ・ネクスト**
**公式パーフェクトガイド**
定価：本体1,600円（税別）

**イース～フェルガナの誓い～**
**公式パーフェクトガイド**
定価：本体1,800円（税別）

**ぐるみん公式ガイドブック**
定価：本体2,000円（税別）

**英雄伝説ファンブック**
**～ガガーブ・トリロジー回想録～**
定価：本体3,700円（税別）

**イースV～失われた砂の都ケフィン～**
**攻略ガイド**
定価：本体1,300円（税別）

**ヴァンテージ・マスターシリーズ**
**ビジュアルブック**
定価：本体1,800円（税別）

**ファルコムワールドガイド　Vol.4**
定価：本体1,700円（税別）

**ファルコムワールドガイド　Vol.3**
定価：本体1,700円（税別）

**ファルコムワールドガイド　Vol.2**
定価：本体1,600円（税別）

**ファルコムワールドガイド　Vol.1**
**（リリア＆ルー　フィギュア付）**
価格：本体3,150円（税込）

Falcom
日本ファルコム(株)のライセンス許諾商品です。

ISBN4-7753-0460-7
C0076 ¥1900E
9784775304600
1920076019005
定価：本体1,900円（税別）

英雄伝説 ガガーブ トリロジー コンプリート アート ブックス

新紀元社

# 英雄伝説
## ガガーブトリロジー
## コンプリート アート ブックス

© Nihon Falcom Corporation.
© BANDAI 2006

英雄伝説 ガガーブ トリロジー
コンプリート アート ブックス

日本ファルコム(株)のライセンス許諾商品です。

【キャラクター紹介】

【ストーリー解説】

- 描き起こされた3作品全てのイラストを掲載。
- ストーリー＆世界観をわかりやすく解説。
- コラムやリンク記事が充実。
- 永倉由紀（白き魔女コミック）、竹山祐右（海の檻歌コミック）の特別寄稿コメントを収録。
- コミック版『海の檻歌』全3話も特別収録。

Gagharv Trilogy Complete art Books

新紀元社

# 美しいビジュアルの数々がこの一冊に…!!

Gagharv Trilogy Complete art Books

英雄伝説 ガガーブ トリロジー
コンプリート アート ブックス

© Nihon Falcom Corporation.
© BANDAI 2006

# 英雄伝説

ガガーブトリロジー

コンプリート アート ブックス

Gagharv Trilogy Complete art Books

© Nihon Falcom Corporation
© BANDAI 2006

Gagharv Trilogy Complete art Books

# 英雄伝説

ガガーブトリロジー

## コンプリート アート ブックス

# ガガーブの世界とは

西のエル・フィルディン。東のティラスイール。南のヴェルトルーナ。世界がかつて、ひとつだった記憶が失われた時代。3つの世界を舞台に壮大な物語が繰り広げられる。

## WEST
## El Phildin

ガガーブ暦元年　エル・フィルディン東部の騎馬民族、『赤の部族』がティラスイールに襲来を試みるが、ガガーブの出現によって未遂に終わる。
52年　ガガーブ出現で混乱の極みにあったエル・フィルディンに、バルドゥス教会誕生。総本山は、オクトゥムが封じられた封印の地に定められ、カテドラールが建立される。
17年　デュシス地方南部の不毛の荒野にて『オクトゥムの使徒』が結成。
200年　この頃、妖術師テンペストの陰謀によって、赤の部族内の対立が激化。エル・フィルディン全土が戦乱の渦に巻き込まれる。
251年　騎士ミリガンと、騎竜アルブレヒトによって、テンペストが倒される。
258年　騎士ミリガン、抗争を続ける赤の部族を統合して連合王国を創建。教会の指示を受け、初代国王として即位し、後に『火焔王』と呼ばれる。この時から、ガガーブの西側が、エル・フィルディンと呼ばれるようになる。
417年　ボレアス地方北部にて、氷漬けのドゥルガー神殿が発見される。
502年　ヴァルクドの大聖堂が落成し、以後、バルドゥス教会の総本山となる。カテドラールは、神官が修行するための聖地として扱われるようになる。
703年　ベイル船長によって南方航路が発見され、ガガーブが発見される。以後、数多の船乗りがガガーブに挑戦するが、ことごとく失敗に終わる。
802年　王家の援助を受けて、魔法大学校が創立される。以降、エル・フィルディンにおける魔法体系が急速に発展する。
898年　賢者レミュラス、教会の顧問役をディナーケンに引き継ぐ。同年、ノトス連峰中腹に見晴らし小屋を建てて隠棲する。
909年　デュシス地方東部でトーマス誕生。
913年　7年間の遊歴の旅を経て、ミリガン16世が即位する。
915年　海の英雄ガウェイン、王家と教会から賢者の称号を贈られる。
916年　神官ベリアス、真実の島で啓示を受け、バルドゥス教会を脱退する。同年、ディナーケンに代わって教会の顧問に就任する。
918年　ノトス地方南部でマイル誕生。王家の援助を受けて、冒険者ギルドが設立される。
919年　デュシス地方西部でアヴィン誕生。
920年　デュシス地方南部の開拓村でルティス誕生。
921年　カナピア島が、オクトゥムの使徒によって襲撃される。デュシス地方西部でアイメル誕生。
924年　アヴィンとアイメル、両親を亡くして孤児となる。最高導師エスペリウスに拾われ、カテドラールでの生活を始める。
929年　カテドラールが邪宗教徒によって襲撃される。同年、闇の結界がカテドラールを覆い、聖地は禁断の地と化す。
937年　アヴィンとその仲間たち、約1年の旅の果てに人類の巣立ちを見る。(朱紅い雫)

### 英雄伝説 ガガーブトリロジー
### 朱紅い雫

神々の眠る地で争いを続ける2つの勢力。その抗争に巻き込まれた兄妹と仲間達を中心に描かれる人類の巣立ち。物語としては序盤にあたる。

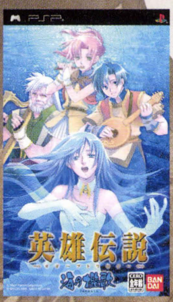
P.48

## SOUTH
## Weltluna

### 英雄伝説 ガガーブトリロジー
### 海の檻歌

音楽がいつも身近にある世界。伝説の音楽家が残した幻のメロディーを求めて、少年と少女、祖父と老犬の音楽一座が世界を巡業する。物語としては中盤だが、シリーズに残された謎を解き、他2作品を繋ぐ完結編として描かれている。

P.92



# The Legend of Heroes Gagharv Trilogy

## EAST

B.G.以前　エル・フィルディンでバルドゥス神とオクトゥム神が戦い、オクトゥム神が封印の地に封じられる。
神々の戦いの様子をティラスイールでは巨人タナトーシスと大蛇サーペントの創世伝承として残す。
この頃はティラスイール、エル・フィルディン、ヴェルトルーナという3世界の区分けは存在しなかった。
B.G.59年　神々の干渉がなくなったのを受けて、『青の民』が共鳴魔法を完成させる。
B.G.56年　南部地域(後のヴェルトルーナ)を中心に共鳴魔法が広まる。転移門を建造するなど世界各地に影響を与える。
共鳴魔法による魔法文明が栄華を誇る。
B.G.47年　異界の存在を確認。
B.G.2年　『害周波』を発見。共鳴魔法の使用禁止を決定。
ガガーブ暦元年　建造中のビオラリュームと害周波の一部を使用して害周波の塊を異界に転送。
制御を失った害周波の一部の共振によって、大断層『ガーブ』が生まれる。
大地がティラスイール、エル・フィルディン、ヴェル…の3世界に分断される。

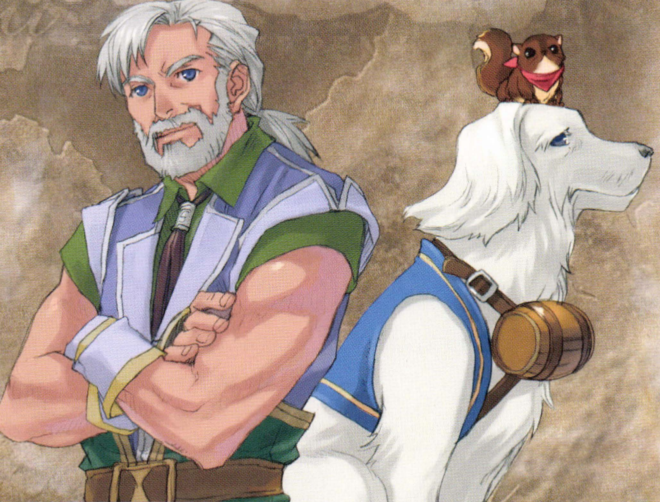
149年　異界の人々が『歪み』を通り、頻繁に来訪するようになる。ティラスイールの各地にシャリネを作り、魔女の巡礼が始まる。
210年　ティラスイールでは魔女の巡礼を真似て、各地の村で巡礼の儀式が広まる。
ティラスイールを巡礼する魔女たちの姿がなくなる。これ以降、ティラスイールに姿を見せる魔女たちは異界とは関係のない魔法使いがほとんどとなる。
908年　ティラスイールにミッシェル誕生。
924年　ミッシェルがフォルティアのラグピック村に現われる。
932年　ティラスイールにデュルゼル誕生。
955年　ミッシェルが得度して名をオルテガと改める。
オルテガがゲッペウスと対決。和解する。
958年　オルテガが賢者の都オルドスを開く。
各シャリネに賢者が配置される。
960年　ハック誕生。
961年　オルテガがオルドスを離れてラグピック村へ隠居。修行中のデュルゼルがオルテガを訪ねる。以降オルテガはラップの名を名乗る。
964年　デュルゼルがフォルティアの宮廷剣士となる。
969年　異界のイザベルがティラスイールのドルスェスの浜辺に流れ着く。フォルティアのルドルフ王と結婚。半年後、レバスがルード城の占星術師として招かれる。
971年　ゲルドが異界よりティラスイールに渡る。予言を残しながら旅し、白き魔女と呼ばれるようになる。
972年　デュルゼルにより、ゲルドの杖はラップに託される。
ティラスイールのネガル島にローディ誕生。
974年　ティラスイールにチャペルとカンドが広まる。
977年　フォルティアのラグピック村にクリス誕生。
ネガル島海域でレバスとカジムが海獣ガルガの制御実験。
978年　フォルティアのラグピック村にジュリオ誕生。
982年　ラップが旅の途中、狼に襲われていた親子を助ける。
992年　ジュリオとクリスによるティラスイール巡礼の旅。(白き魔女)

**英雄伝説**
**ガガーブトリロジー**
## 白き魔女

山奥の村に住む純朴な少年少女が巡礼の旅を通じて、様々な出会いや出来事を体験する。作品として最初の登場。物語としては終盤の位置づけ。

P.4

## Tirasweel



ガガーブ暦元年　残された害周波の一部をオースタンのセルバートに封印。
『闇の太陽』と命名。
転送した『害周波』の監視のため、青の民の一部の者が異界に移住。転送された害周波の塊を『異界の月』と命名。
881年　オースタンのオアシスにマクベイン誕生。
929年　レトラッドのラコスパルマにフォルトとウーナ誕生。
940年　エメラルド海にてキャプテン・トーマスと海賊王ラモンが大海戦を行う。
943年　新生マクベイン一座によるヴェルトルーナ巡業の旅。
(海の檻歌)

# 英雄伝説
## ガガーブトリロジー
# 白き魔女

昔、白き魔女と呼ばれる娘が
ティラスイールを旅した。

様々な言葉を残し、
白き魔女は姿を消した。

## *Gagharv trilogy first "White Witch"*

*This is the last of an age when men believed that there was no world either beyond*
*Gagharv or where the backbone of the Great Serpent reached its spiny end.*
*In that distant era this land,called Tirasweel,*
*was divided among the eight nations of Pholthia,Menarth,Chanom,Ambisch,Udr,Oldos,Phenthe and ghidona.*
*The seeds of danger had been planted in several of these realms,*
*but as yet the people still went about their daily pursuits in peace and prosperity.*
*Myth ,epic, fable....*
*Wherever men gather and dwell,there arise legends that lurk in the shadows of the age in which they live.*
*The tale of the white witch who wandered from land to land twenty years before was one such legend.*

# CONTENTS


## ■キャラクター紹介

ジュリオ——006
クリス——008
シャーラ——010
グース——012
アルフレッド——014
ローディ——016
フィリー——018
ルーレ／バロン——020
モリスン——021
バダット——022
ステラ——023
デュルゼル——024
ジョアンナ／ブリット隊長——025
ハック——026
主なサブキャラクター——027
ゲルド——032

## ■人物相関図 033

## ■オープニングアニメーション 034

## ■ストーリーダイジェスト

序章——036
第１章——037
第２章——038
第３章——039
第４章——040
第５章——041
第６章——042
第７章——043
最終章——044

## ■イラストギャラリー 046

# ジュリオ

## 巡礼の旅を通じて
## “白き魔女”の軌跡を巡る事になる少年

山の上部にあるラグピック村で暮らす男の子。村で代々伝わる成人の儀式として巡礼の旅に出る。性格は素朴で、のんびりとしており素直。年相応な子供らしさで周囲からの人望を集めていく。

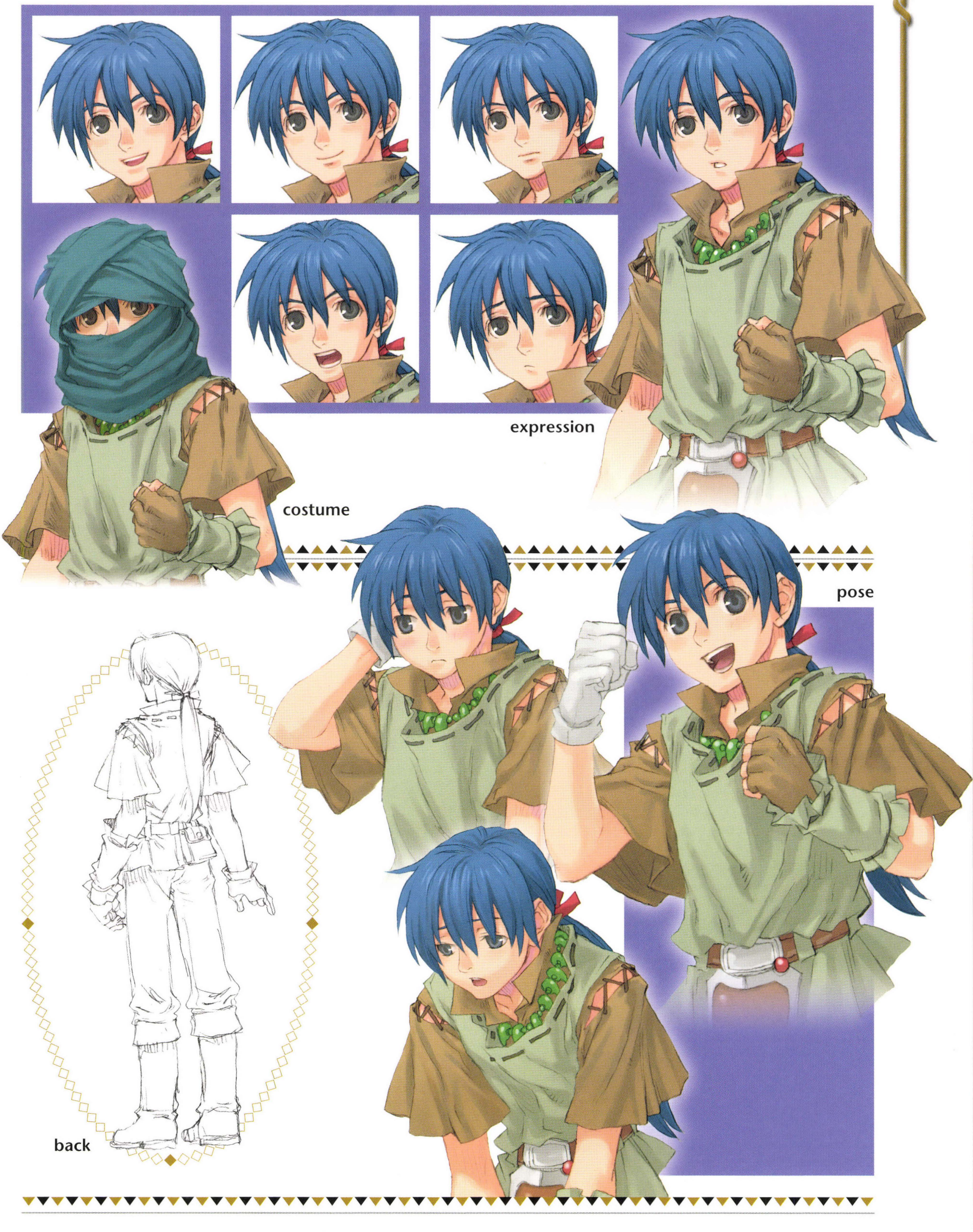
**Pick Up**

### 甘え上手な自称選ばれし勇者

クリスと共に世界の命運を委ねられる少年ジュリオ。そんな彼は、性格はもちろんのこと、血筋や前世、その他いろいろ一般的な英雄像にありそうな宿命的なものは一切背負っておらず、能力的に特別な力を持っているわけでもない、ごく普通の男の子だ。主人公なのに「なんだか選ばれし勇者っぽくてかっこいい」と思っているあたりはかなり異例だろう（しかもクリスに即否定される）。そのジュリオがもつ最大の武器といえば、母性本能をくすぐる、放ってはおけない性質だ。クリスやフィリー、シャーラなど母性が強い『白き魔女』の女性陣はもちろん、男性キャラですら、彼を助けずにはいられない不思議議なオーラを醸し出している。それは偏にジュリオの無垢な心がそうさせているのだろう。

**Profile**

名前：ジュリオ
年齢：14歳
出身：ティラスイール　フォルティア国ラグピック村
職業：巡礼の旅人
性格：真面目、のんびり屋、泣き虫?
設定：『白き魔女』の主人公
父親ゆずりの方向音痴
クリスには子分扱いされている
ビー玉遊びが得意
キャプテン・トーマスの冒険物語が好き


expression
costume
pose
back

# クリス

## 1年遅れで巡礼の旅に出る事になった ジュリオの幼なじみの女の子

ジュリオと同じ巡礼の旅人。クリス本人は知らぬ事だったが、ラップ爺さんからゲルドの杖を授かっており、それを持ってティラスイール全土を回っていた。勝ち気でおおらかな性格のしっかり者。

### Pick Up

#### 彼女の純真な心が世界を映し出す

幼なじみを海獣のエサにしたり、大人の兵士を泣かせてみたりと少々度の過ぎたおてんばぶりがチャームポイントのクリスだが、ちょっとした場面で女の子らしさを見せるところも魅力的。しかし、彼女もまたジュリオと同じく幸せな家庭に生まれ育った普通の少女である。魔法の潜在力を期待される場面もあるが、特別に何かあるわけではない。長年かけて異界の月への対策に取り組んだラップじいさんが、ゲルドの杖をクリスに託したわけだが、「この2人なら世界を救える」という確信ではなく、お守り程度の感覚で渡したのではないだろうか。純真な心の子供達が初めて目にする世界が、もしも失望するようなものであったなら、最後の奇跡は起きなかった。しかし、ジュリオとクリスを支えた大人達を始め、各地の住人達は2人に優しく接し、日々を懸命に生きていることを教えた。その結果、2人の心に救いたい世界として映ったのである。

### Profile

名前：クリスチーナ
年齢：15歳
出身：ティラスイール　フィルティア国ラグピック村
職業：巡礼の旅人
性格：明るい、おおらか、オテンバ
設定：『白き魔女』のヒロイン
困っている人を見るとほうっておけない
料理の腕には自信あり(ただし味は個性的)
高いところが好き
チャッペル系の魔法に長けている

expression

pose

back

# シャーラ

## ティラスイール全土を騒がせる？
## 盗賊コンビのひとり、絶世の美女

グースとコンビを組み、ティラスイールを荒らし回る泥棒。自他共に認める絶世の美女で変装と弓の名人。実力は高いが相棒がいつもドジを踏むため常に失敗続きでよく「コンビ解消」を口にする。

**Pick Up**

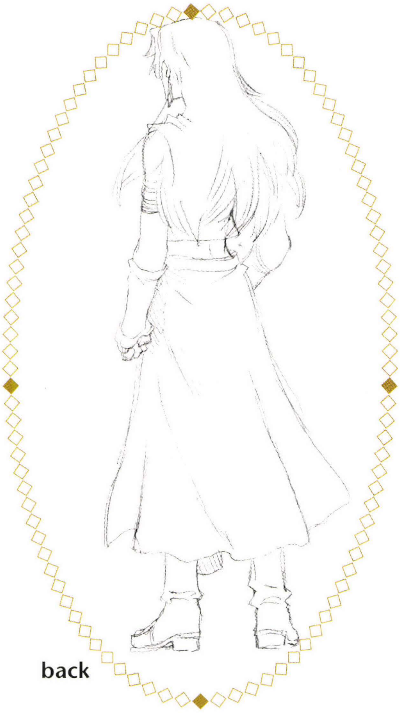
### 意外と面倒見のいい姐さん

最初はグースと一緒にいるのでドジな泥棒という印象が強いが、実はシャーラ自身の腕前は一級品だ。変装もそつなくこなし、山賊を瞬く間に撃退した弓さばきも格好良い。本当に盗賊としてやっていくなら、シングルの方がよさそうな気もする。それをしないのは世話のかかる相棒を放っておけない面倒見のよさからだろう。グースが倒れたことを知ると即断で協力し、ジュリオの面倒もしっかりと見ている。山賊を子分にしていつのまにやら大所帯の泥棒一味だが、シャーラの仕切りで賑やかに活躍していくことだろう。

**Profile**

名前：シャーラ
年齢：22歳
出身：ティラスイール　フュエンテ国？
職業：泥棒
性格：姉御肌、面倒見がよい、優しい
設定：絶世の美女
変装が得意
弓の使い手
実は泥棒としての腕は一流
グースとコンビを組んでいる

expression



back

pose

# グース

## 究極の美男子……、そして天然
## いつも失敗ばかりのドジな泥棒

シャーラの相棒で究極の美男子。口が達者で一度優位に立てば強気になるが、天然のドジで盗みに成功した試しがなく、いつもシャーラを怒らせている。年下のジュリオと精神年齢は一緒かも？

**Pick Up**

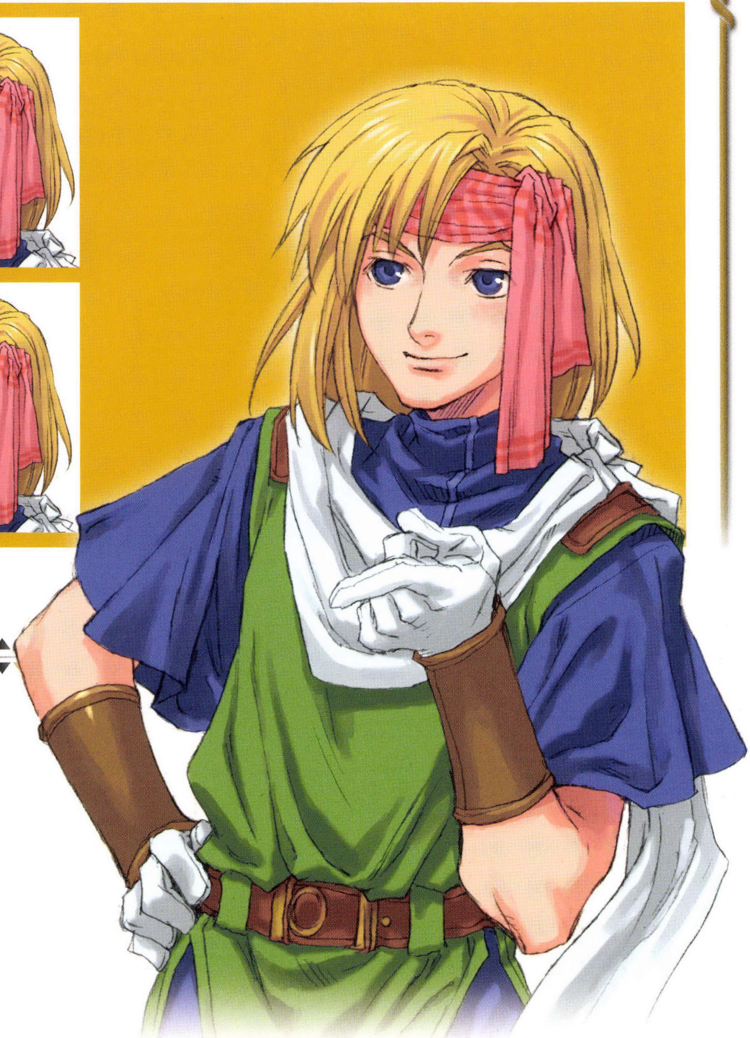
### 永遠のやんちゃ坊主

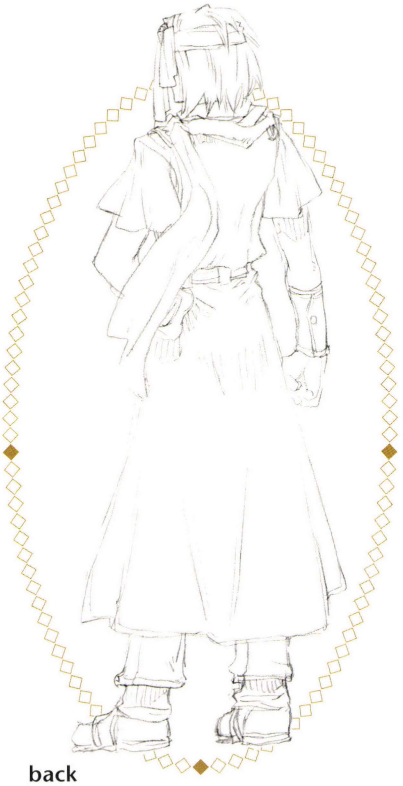
ドジばかりが目につくグースだが、それでもやはり裏家業の人間。管轄外だから関係ないとモリスンの厳しい目をあしらったり、ベラートに対して「ボスは別にいるな？」と鋭い指摘をしたりと、その道の経験の深さを垣間見せたりする。しかし、ジュリオと速攻で仲良しになったり、悪人を寄せ付けないオルドスの結界にも反応しない善人っぷりから察するに、何か辛い過去があって泥棒家業に身を投じた、というよりもいたずら小僧がそのまま成長して面白おかしく過ごしているだけ、という感じがしてしまう。

**Profile**

名前：グース
年齢：23歳
出身：ティラスイール　出身地不明
職業：泥棒
性格：天然、ドジ、子供っぽい
設定：究極の美男子
　　　女の子のナンパ成功率は低い
　　　料理上手（男らしくないので秘密）
　　　物を投げるのが得意
　　　シャーラが相棒

expression





back

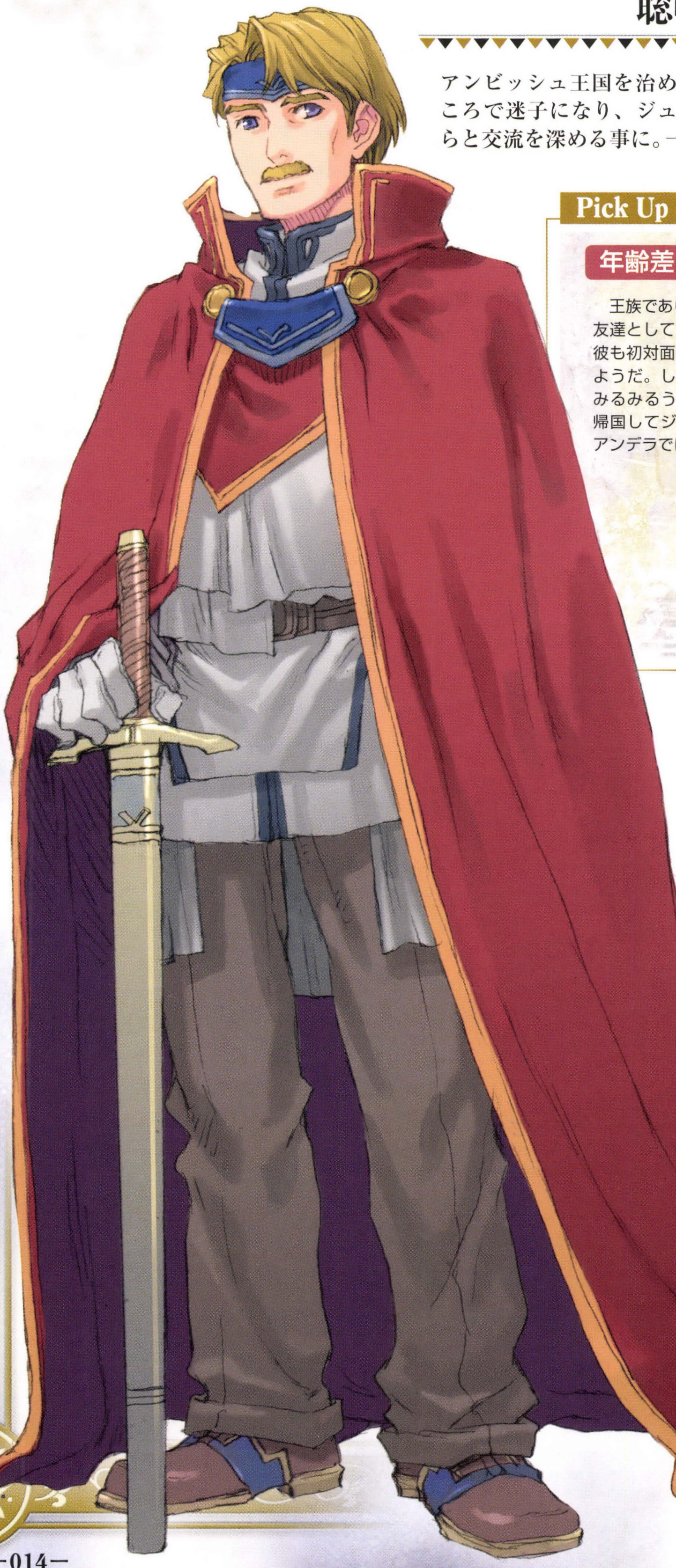
## COLUMN 世界を越えた英雄伝説

シリーズ3作目『海の檻歌』で完結を迎えたガガーブ三部作だが、今度は海を越えて世界へと広がりを見せている。右の画面は北米版の『白き魔女』だ。『朱紅い雫』はすでにリリースされていて、『白き魔女』『海の檻歌』の順番で発売されていく。海外のPRGファンがこの作品をプレイしてどんな反応を示すのか非常に楽しみだ。

※画面は開発中のものです。

# アルフレッド

## 身分を隠して民のために奔走する 聡明で優しさに溢れる王様



アンビッシュ王国を治める王様。ガルガの動向を追い国を出たところで迷子になり、ジュリオたちと出会って身分を隠したまま彼らと交流を深める事に。一見頼りなさそうだが、人望も厚い良き王。

### Pick Up

#### 年齢差を感じない良き友

王族であり、さらに親子ほどの年齢差があるにも関わらず、友達としてジュリオとクリスを迎え入れるアルフ。そんな彼も初対面の時は、少なからず一般人への隔たりはあったようだ。しかし、クリスとのにらめっこに敗北して以来、みるみるうちに丸くなっていった。ガルガ事件解決後は、帰国してジュリオとクリスのことを誉めまくったらしく、アンデラでは知らない者はないほどの有名人になっていた。

### Profile

名前：アルフレッド
年齢：41歳
出身：ティラスイール アンビッシュ国アンデラ
職業：国王
性格：気さく、聡明、頭脳明晰
設定：変装時は「アルフ」と名乗る
一見頼りなさそうな変なおじさん
世間離れした不思議な雰囲気を持つ
統治する国アンデラはアルフの善政で安定している
方向音痴

back

# ローディ

## ジュリオとクリスの頼れる兄貴分 海獣ガルガの行方を追う青年剣士

ネガル島出身で幼い頃にガルガによって父親を失い、それ以来巨大な海獣を仇として追う青年。ガルガの事に関しては熱しやすいが、戦いにおいては冷静。ジュリオに剣を教えるなど面倒見も良い。

**Pick Up**

### ヒーロー要素満載の兄貴

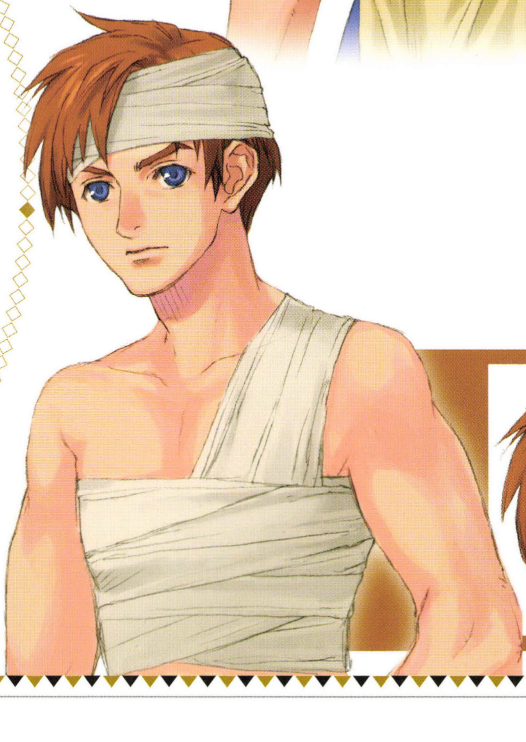
心に傷を負い、復讐に生きる青年剣士は、心の師と巡り会い、そして本当の親の仇と相まみえる。といった感じで普通のRPGなら彼こそ主人公にふさわしいエピソードの持ち主である。それだけに普段の爽やかな印象は好感度を高めてくれる。初対面の時のジュリオも「すっごく、かっこいいや！」と、いつのまにかファンになっていた。

**Profile**

名前：ローディ
年齢：20歳
出身：ティラスイール　メナート国ネガル島
職業：剣士
性格：血気盛ん、頼れる男、勇敢
設定：半ズボン常時着用の好青年
戦いにおいては冷静
ガルガは父親のカタキ
ジュリオに剣を教える
宮廷剣士デュルゼルを尊敬している

expression

back



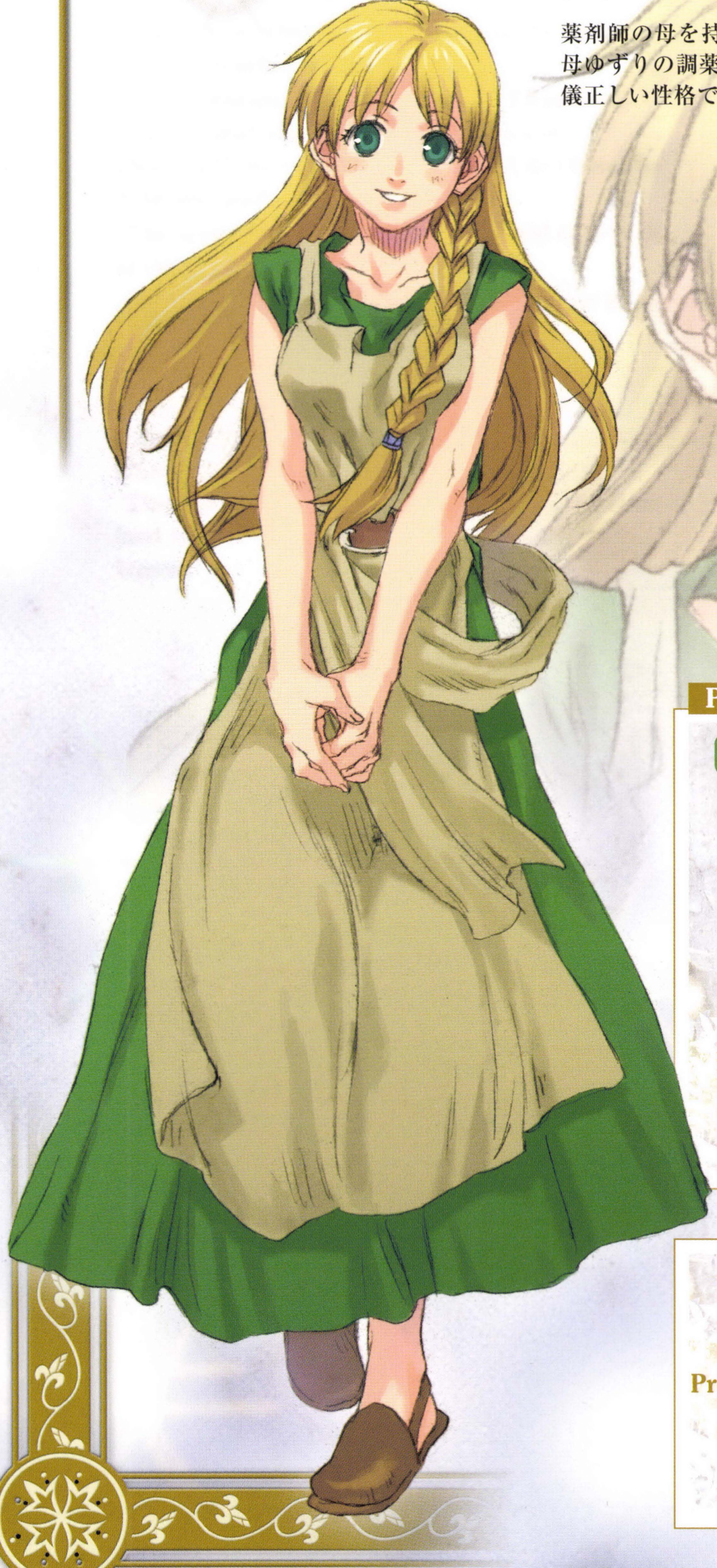
costume

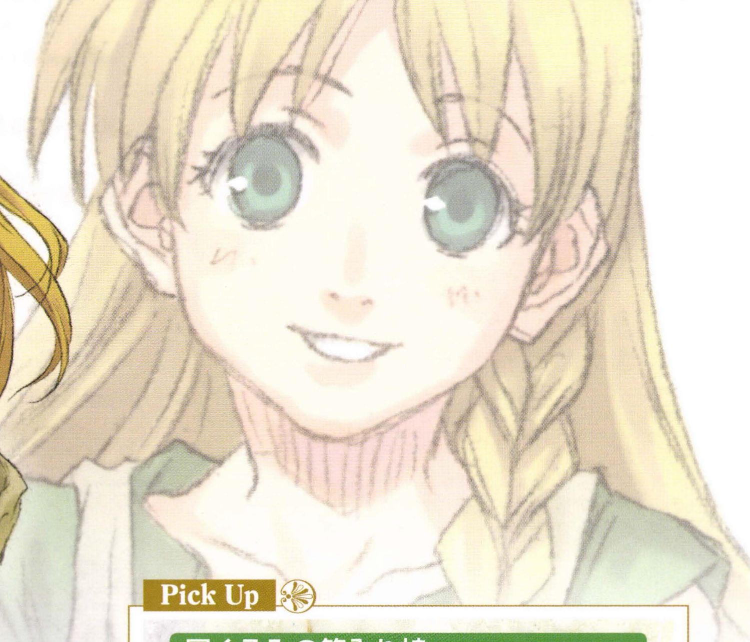
expression

# フィリー

## 愛らしい笑顔は人々の心を癒す　フュエンテ国随一の薬剤師のひとり娘

薬剤師の母を持つ少女。フュエンテ国の町外れで暮らしており、母ゆずりの調薬技術は国中の人々から信頼を得ている。明るく礼儀正しい性格で誰に対しても分け隔てなく接する優しい心を持つ。





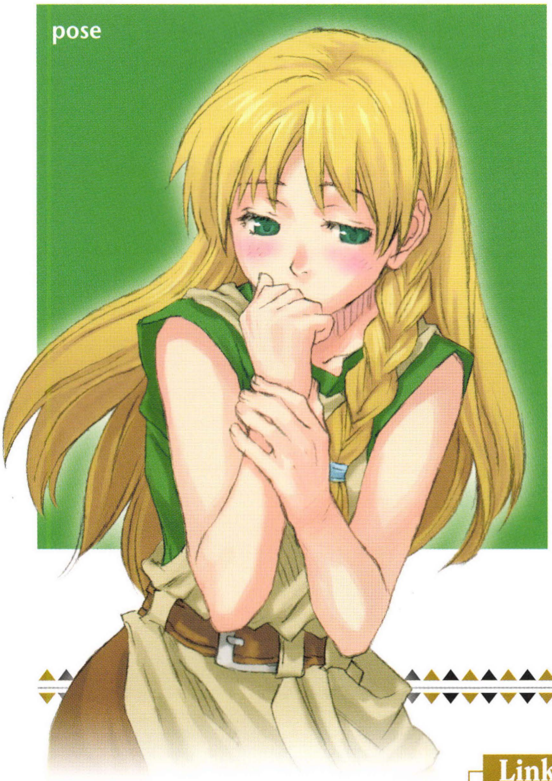
### Pick Up

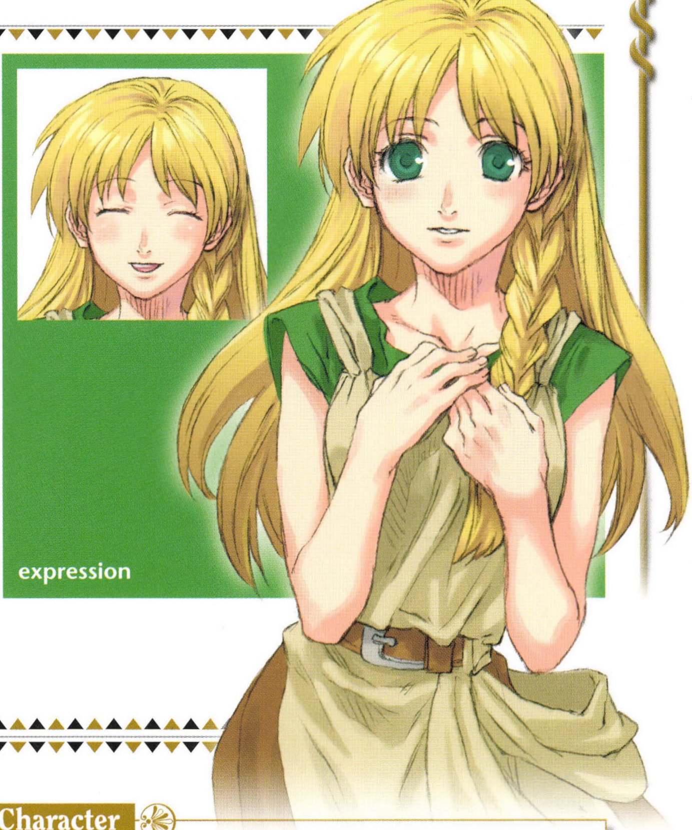
#### 国ぐるみの箱入り娘

国民的アイドルとしてみんなから愛されているフィリーは、国王を始めとして町の人々から大事にされて育っており、まさに国をあげての箱入り娘と言ってよい。彼女もまた、ジュリオ、クリスと同じく世の中を映す鏡とするならば、フィリーの性格を通して、フュエンテの人々の優しさが伝わってくる。ティラスイールでお嫁さんにしたい女性コンテストがあったなら、現クイーンのジョアンナさん（私見）のあとを継ぐのは彼女しかいない（これも私見）。そんなフィリーに想われるジュリオは果報者としか言いようがない。

### Profile

名前：フィリー
年齢：14歳
出身：ティラスイール　フュエンテ国
職業：調薬師見習い
性格：明るい、礼儀正しい、優しい
設定：母親が有名な調薬師
　　　フュエンテ国王の話し相手
　　　小熊のバンバンとは大の仲良し
　　　薬草を摘みによく山へいくので身体が丈夫
　　　いじらしい一面がある



back

## Link Character

### リズ

フィリーの母親。フュエンテではとても名の知れた調薬師。

expression

# ルーレ

## 旅の途中で出会う飄々とした老人 その正体は……？

ふとした事からジュリオ達と行動を共にする事になるギャンブル好きの老人。カジノがあるダイスの町に繰り出してはギャンブルに興じている。しかし、その行為には何か意味があるようだ。

### Pick Up

**絵本のヒーローが実在!?**

『白き魔女』だけをプレイした時のルーレ＆バロンは別れ際の言葉から「もしかしてすごい人だったの…？」という疑問で終わってしまうが、『朱紅い雫』と『海の檻歌』のプレイ後では印象が全く変わってしまう。彼らもまた、ラップじいさんと共にさまざまな準備をしていたに違いない。やるべきことを全てやり終えて、あとは残りの人生を精一杯幸せに生きている彼らの姿に感動を覚える。

### Profile

名前：ルーレ
年齢：83歳
出身：ティラスイール　メナート国テュエール在住
職業：－
性格：明るい、掴み所がない、深慮深い
設定：ギャンブルが好き
しかも強い
レッドという孫がいる
カンド魔法の使い手
ダイスの大統領バロンと旧知の仲

### Link Character

## バロン

チャノム国の大統領。首都ダイスの国営ガジノを発案し、町を発展させた張本人。一方、隣村のダーツのスラム化に心を痛めている。ルーレ同様、ただ者ではない雰囲気を秘める。

# 礼儀正しく品のある アンビッシュ国の優秀な政治顧問

# モリスン

アルフの右腕として顧問を務めるカンド魔法博士。自分の主人を助けてくれたジュリオ達に恩義を感じ、手助けしてくれる。礼儀正しい性格で誰に対しても丁寧に接し、人間的に深味のある人物。

expression

## Pick Up

### 一国に1人欲しいモリスンさん

博識で忠誠心の厚いモリスン。国を救ってくれたせめてもの恩返しにとジュリオとクリスの護衛を引き受けてくれる。倍の年齢差がある2人にも丁寧に接し、盗賊のグースとも打ち解けてしまう話のわかる老人である。ラウアールの波のことをジュリオとクリスが気を遣って隠したことを察して、陰ながら応援に駆けつけてくる。モリスンはグースを盗賊の鏡と評したが、彼こそ執事の鏡といえるだろう。

**Profile**

名前：モリスン
年齢：？歳
出身：ティラスイール アンビッシュ国
職業：カンド魔法博士
性格：真面目、礼儀正しい、優しい
設定：アルフレッド王の右腕
執事でもある
マギサという弟子がいる
ラップじいさんの事を知っている

# バダット

## 最強の格闘家を目指し 武者修行の旅をする熱い男

武器や魔法に頼るのを邪道とし、肉体のみで闘う格闘家。武者修行の途中、砂漠の町バラカでジュリオと出会う。豪快な性格で、人助けを信念としておりジュリオ達の心強い味方になってくれる。

expression

costume

**Pick Up**

### 弱きを助けるナイスガイ

武器を使うことを邪道としているので武器は己の拳のみ、格闘王を目指して武者修行中のバダットは、その力を困っている人の役立てようという信念の持ち主である。それを聞いたジュリオは例によってカッコイイと尊敬、バダットも「まあな」と謙遜なく堂々と返すところが男らしい。しかし、そんな彼も砂漠の黒豹であるステラが謝罪した時には、すぐに許していた。美人には普通に弱いらしい。

**Profile**

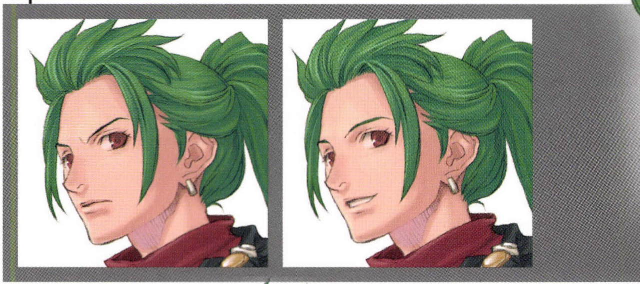
名前：バダット
年齢：？歳
出身：ティラスイール　出身地不明
職業：武道家
性格：熱血漢、正義感が強い、努力家
設定：見た目はイカツイ
人が良い
肉弾戦を好む
ジュリオとの出会いは牢屋の中

# 普段の姿は仮のもの……
# 悪を裁く、神出鬼没の砂漠の黒豹

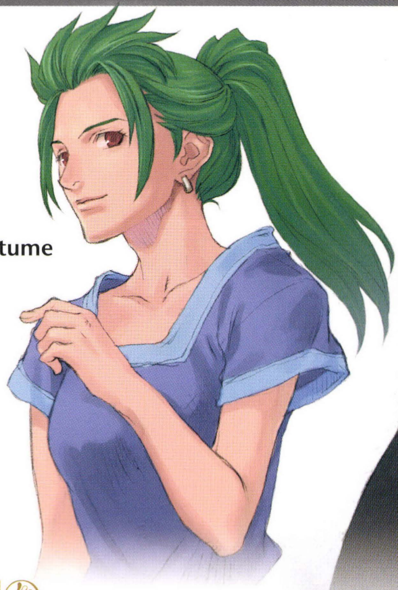
# ステラ

“砂漠の黒豹”として悪人をこらしめる謎の美女。その行動は警告状から始まり最終的には爆破までに至る。かなり過激だが本人は至って物静かで落ち着いた性格。もちろん正体は隠している。

expression



costume



## Pick Up

### 華麗で過激な仕置き人

あくどい豪商に自重を警告し、耳を貸さない場合は爆弾による制裁を加える。かなりとんでもない正義の味方もいたものだが、ギドナで暮らす人々からは応援されている。どういったいきさつでそんな過激な活動に身を投じたのか、ミステリアスな部分の多さがステラの魅力といえる。しかし、あくまで罪を憎んで人を憎まず。正気に戻ったウルギットを脅しはするものの、それ以上の制裁は加えていない。とにかく不正を許さない信念の人なのである。

**Profile**

名前：ステラ
年齢：？歳
出身：ティラスイール　ギドナ国バラカ在住
職業：砂漠の黒豹
性格：生真面目、正義感が強い、行動的
設定：偽名は『ナジェ』
カンド魔法の使い手
爆弾を使用
影で支援する仲間がいる
普段はおしとやか

# デュルゼル

## 白き魔女の軌跡を見つめ続け ドルフェスの塔に幽閉された老剣士

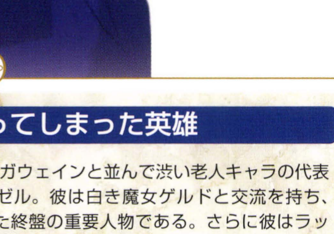
かつてフォルティアの宮廷剣士として名を馳せ、剣士を志す者であれば知らない者はいないと言われている人物。20年前、ルドルフ王から白き魔女逮捕を命じられ、必然的にゲルドと交流を持つ事に。

expression

Pick Up

### 時が止まってしまった英雄

『朱紅い雫』のガウェインと並んで渋い老人キャラの代表格であるデュルゼル。彼は白き魔女ゲルドと交流を持ち、その死を看取った終盤の重要人物である。さらに彼はラップじいさんとも師弟関係にあり、ゲルドの墓前に残した名剣エスペランサーはラップじいさんからもらったものである。ゲルドを守れなかった後悔から、希望を失った日々を過ごしてきたが、ジュリオとクリスを見て再起したその姿はまぎれもなく英雄と呼ばれるべきものであった。



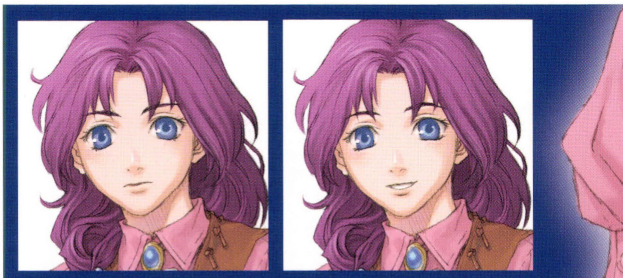

**Profile**

名前：デュルゼル
年齢：60歳
出身：ティラスイール　フォルティア国ドルフェス在住
職業：元宮廷剣士
性格：厳格、無口、優しい
設定：フォルティア国の元宮廷剣士
伝説の剣士として有名人
ドルフェスの塔に幽閉されている
孫娘に信頼を置いている
アルフレッドとは知り合い

Link Character

## ジョアンナ

アロザに住む宮廷剣士デュルゼルの孫娘で、祖父から聞かされていた白き魔女の最後の予言をハックに伝える。ジュリオ達とデュルゼルを引き合わせてくれた。落ちついた雰囲気からは想像しにくいが槍の使い手。



expression

Link Character

## ブリット隊長

ルドルフ王が統治するフォルティア国の王都ルードの兵士。デュルゼルは宮廷にいた時から彼に目をかけており、世界の異変についての予備知識を教えていた。イザベル女王やレバスの動向を城内から探り、デュルゼルに協力してくれる。

expression

# ハック

## 借金取りに追われながらも 白き魔女の伝承を追い続ける変わり者

白き魔女に強い思い入れを持ち、その研究に情熱を燃やす学者。没頭するあまりその他の事が後回しになるので周囲からは変人扱いされる事も。興味のある事については並外れた行動力を発揮。

### Pick Up

#### 熱い情熱が真実を解き明かす

人生の全てを白き魔女の研究につぎ込んでしまっているハック。いい人ではあるのだが、何をおいても研究優先のため変人扱いされてしまうのも無理はない。ディルトの関所では一度話し相手として捕まったら長時間逃げられなくなる牢名主として兵士に恐れられていた。しかし、ハックはもっとも重要な真実の究明を見事に果たす。これは『朱紅い雫』『海の檻歌』でいうミッシェルさんの役回りだ。大魔道師に匹敵する偉業を彼は情熱のみで成し遂げているのだ。

### Profile

名前：ハック
年齢：32歳
出身：ティラスイール フォルティア国ラグーナ在住
職業：学者
性格：温厚、(一部の事に関して)好奇心旺盛、素直
設定：クリスの叔父
白き魔女についての研究者
変わり者
“ハックの手帳”に借金リストが書いてある
「避けられない運命のいたずらによって…」が口癖

expression

pose

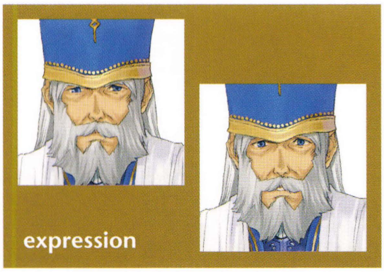
## ラップ爺さん

ラグピック村のはずれに住んでいる変わり者の老人。村のトリタ村長からも一目置かれた存在で、たまに遠方からラップを訪ねて人が訪れている。実は、かつて大魔道師と呼ばれ、数々の偉業を成し遂げたという人物であった。巡礼の旅に出る前、クリスにゲルドの杖を託す。

◀全てが終わり、故郷のラグピック村に帰ってきたジュリオとクリス。ラップに何故、正体を皆に言わないのかと聞く。それに対してラップは…

## 大神官デンケン

オルドスの最高責任者。魔法の鏡を通じて、不吉な映像も見ており、ジュリオたちに様々な助言をしてくれる。

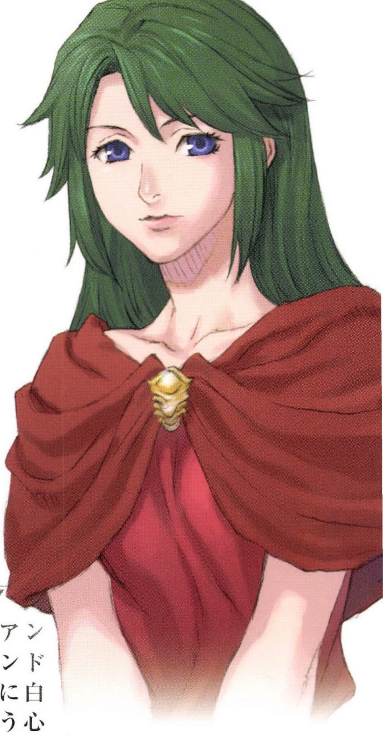



## ルドルフ王

フォルティア国の王。賢明な王様として知られていたが、イザベル王妃とレバスによって傀儡にされてしまう。

## トロバ

ティラスイールを巡業する演奏家。楽器はキタラで持ち歌は「それ見よ！　我が元気」。



## マギサ

モリスンの愛弟子でアンビッシュ国の若きカンドマスター。子供の頃に白き魔女から魔法を使う心得を教わる。

## パシア

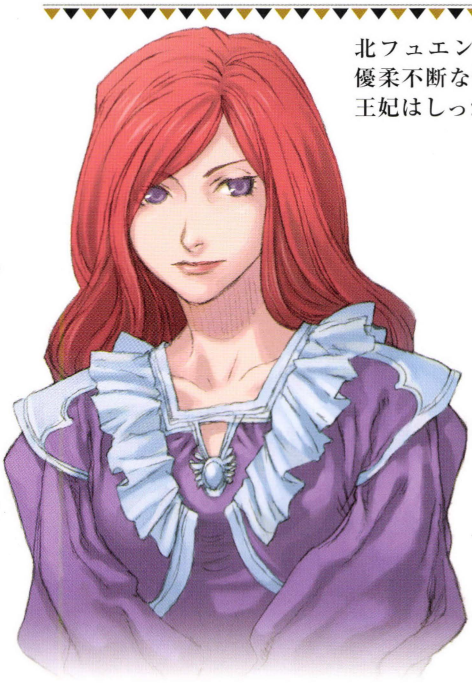
ステラの友人で、“砂漠の黒豹”としての活動の手助けをしている。

## ナップ村長

ダーツの村の村長。環境の悪さと貧困から、村人達は無気力になっており、その事で心を痛めている。

## エネトン王&ピリア王妃

北フュエンテの統治者。気が小さく優柔不断な性格で有名。その反面か、王妃はしっかり者。



▲エネトン王の妻、ピリア王妃

expression

## キャラック王&カーリー王妃

エネトン王の弟で南フュエンテの統治者。ベラートにそそのかされてしまう。王妃は至ってのんきな性格。

▲キャラック王の妻、カーリー王妃

expression

## 幻術師カジム

悪の魔法使い。レバスの放った刺客でガルガ計画の実行者。ジュリオ達の命を狙う。

expression

## ベラート

レバスの命令でフュエンテに戦争を起こさせようと企む。

【催眠状態】

## ウルギット&カンダタ

ギドナを統治する悪徳商人ウルギット(左)と、その腰巾着であるバラカの商人カンダタ(右)。レバスに利用されてしまう。

## レバス

天文学者としてフォルティア国の王室に招かれた占星術師。その正体は異界の人間である。イザベル女王と通じており、ルドルフ王から実権を奪い、様々な工作を作ってラウアールの波を召喚する。過去にデュルゼルの目の前でゲルドを殺害している。

◀無数の想念を吸収した天球儀。すでにラウアールの波を呼び寄せるまでに成長していた。それを前にしてレバスは、ジュリオ達に向かって異界の世界について語る

## イザベル

フォルティア国の王妃。しかしその正体は異界の魔女。レバスと共にラウアールの波の召喚を実行する。ルドルフ王との出会いは20数年前のドルフェスの浜辺。流れ着き倒れたイザベルを、静養に訪れていたルドルフ王が偶然発見する。それが計算された策謀であることを誰も知らなかった。

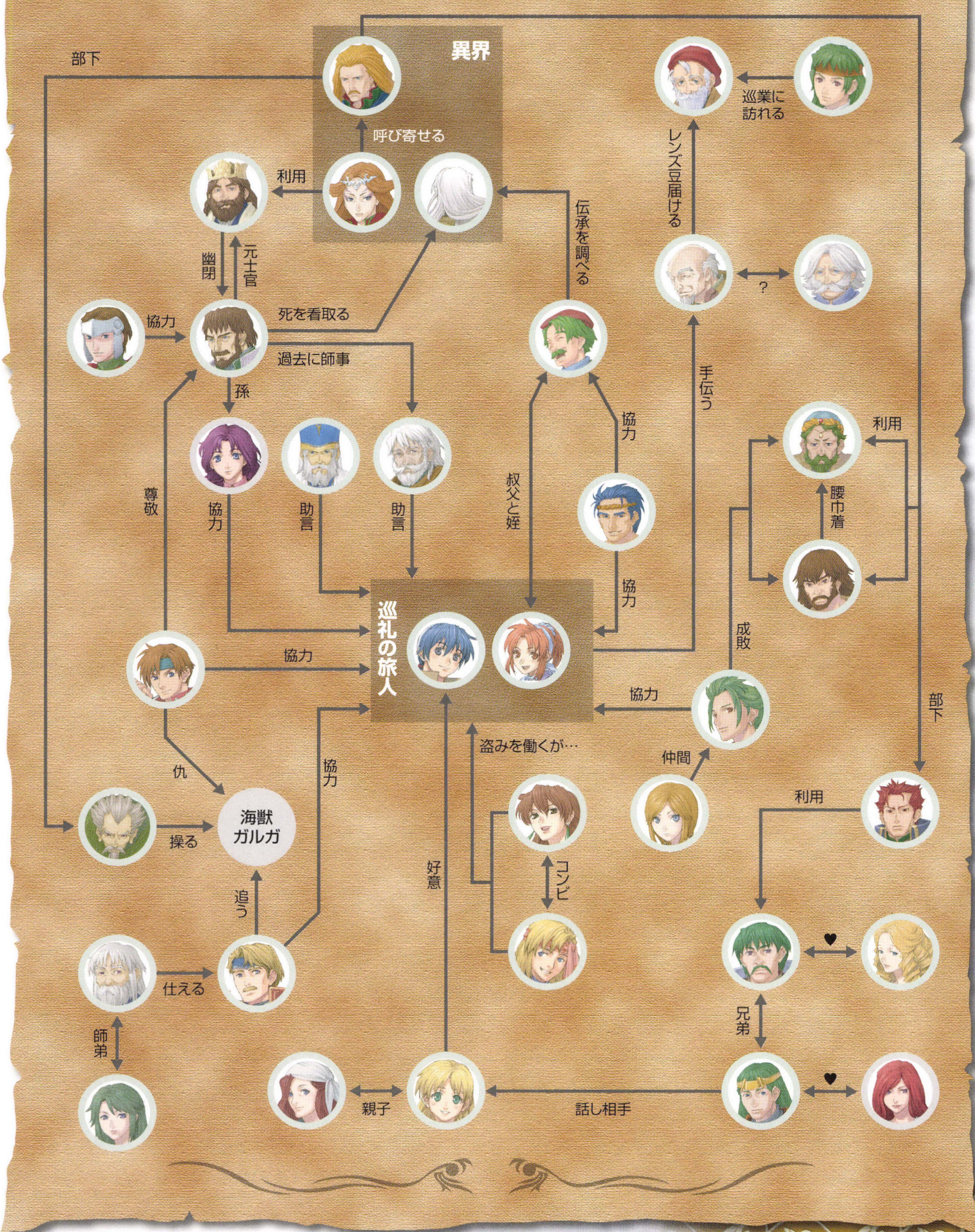
◀ジュリオ達に敗れ息絶えるイザベル王女。最期の言葉は恨みや怒りではなく、「…せめて、この世界が救われることを、今は祈りましょう…」というものだった

# ゲルド

ティラスイールの地を巡礼し
数々の言葉を残した白き魔女

20年前にティラスイールの地を巡礼し、数々の言葉を残していった魔女。謎に包まれた存在で、ジュリオとクリスは巡礼の旅を通じて彼女の軌跡を辿る事になる。

# 白き魔女 人物相関図


異界
部下
呼び寄せる
利用
幽閉
元士官
協力
死を看取る
過去に師事
孫
伝承を調べる
レンズ豆届ける
巡業に訪れる
?
手伝う
協力
叔父と姪
尊敬
協力
助言
助言
利用
腰巾着
協力
巡礼の旅人
協力
成敗
協力
部下
盗みを働くが…
仲間
仇
海獣ガルガ
操る
協力
利用
追う
好意
コンビ
仕える
♥
兄弟
師弟
親子
話し相手
♥

## 白き魔女　オープニングアニメーション

Tegura
魔法の鏡の映像は、
Nel
Silent Sea
…ガルガの中からガルガの意識とは違った
また、そんなこと言ってるの？
勇者とか英雄ってのは
olt
きっと、
この世界とか異界とか…。
Ambi
これからは、
大地に根をおろした力こそが
必要なのじゃよ。
Amoera
GREAT SERPENT

# Story Digest ■序章　小さな巡礼者

## プロローグ

**Story**　ジュリオとクリスは村に伝わる成人の儀式、巡礼の旅人として世界を巡る旅に出る。出発の日にグースとシャーラのコンビに銀の短剣を盗まれそうになるハプニングも起こったが、2人は元気いっぱいに出発した。ディーネのシャリネで初めて魔法の鏡を目にするが、そこには漠然と不吉な印象を残す映像が映し出され、少し不安を覚える。港町ラグーナに着き、変わり者で有名なクリスの叔父、ハックに挨拶した2人は鷹の爪号に乗ってメナート国を目指す。ところが船乗り気分を満喫していると、客室の盗難事件が発生してしまう。ジュリオの推理で犯人は突き止めるが、そこへグースとシャーラが乱入して、盗まれた荷物をめぐって大騒動になってしまう。

### EVENT

「こんなに水が澄んでるなんて。井戸水だって、ここまでキレイじゃないよ」

初めて魔法の鏡を見て大はしゃぎのジュリオ。一年遅れのクリスはちょっと緊張気味だった。鏡は美しい景色が映し出していたが、やがて暗雲が立ち籠めて陰りを見せる。賢者はこれからの旅の不安を映したものだというが、クリスは釈然としない思いを抱くのだった。

### EVENT

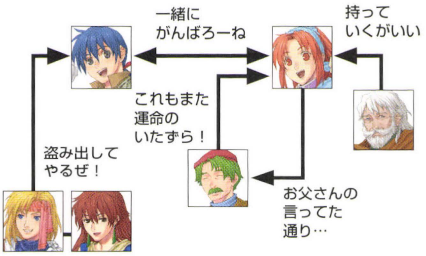
「ふー…。溜め息しかでねーな」

ジュリオ達と同じく鷹の爪号に同乗したグースとシャーラ。取り損ねた銀の短剣を再び盗むチャンスと喜ぶが、よく考えれば2人とも顔を知られているので、うかつに出歩けないことに気付く。ジュリオが船内のお掃除に励むなか、2人は船室でじっとしているしかなかった。

### EVENT

「おっ！　神秘と知識が私を呼んでいる！」

鷹の爪号にちゃっかり密航して借金取りから逃げていたハックは、船長から船を救った謝礼金をもらっていた。この資金を元にメナートに残された白き魔女の予言を調べるというハックをクリスがたしなめる。「まじめに返さないとダメなんだから」というクリスの言葉から逃げるように去っていった。




### WORDS

**■成人の儀式**

ラグピック村では14歳を迎えた子供は、銀の短剣を持って巡礼の旅に出る習わしになっている。銀の短剣は魔法の鏡を見るのに必要なほか、宿屋での宿泊費や船の乗船代が無料になったり、関所での通行証代わりに使える。シャリネを順番に見て回り、最後のオルドスに着くまでに約1ヶ月以上、さらに帰路を加えて3ヶ月近い長旅となる。

**■シャリネ**

ティラスイール地方の5カ所に点在している祠。数百年前にこの地を訪れた異界の魔女によって築かれたもので、中にある魔法の鏡で魔法の伝授や予言を行っていたと伝えられている。その儀式を人々が真似て巡礼の旅が行われるようになった。5つのシャリネにはそれぞれ司る属性があり、ディーネは水、テグラは地、イグニスは火、シフールは風、オルドスが空となり、この順番で魔法の鏡を見て回る。巡礼は魔女が姿を消したあとも行われていたが、現在ではラグピック村の成人の儀式として残るのみである。

# 第1章　テグラの宝石

**Story**　タラッタ号から巨大な海獣ガルガの姿を確認したジュリオとクリス。テグラのシャリネを目指すが、村もシャリネもガルガによって破壊し尽くされていた。魔法の鏡の映像も荒れた海とガルガを映し出し、不安は募るばかりになってしまう。行く先々でガルガ襲撃の被害を目の当たりにした2人は、出来る限りのお手伝いをしながら旅を続ける。そして、このメナートに残された白き魔女の話を耳にするようになり、さまざまな予言を残した人物がどんな人なのだろうと思いを馳せる。メナート国と同様にガルガ襲撃を暗示する予言が、アンビッシュ国にも残されていると知った2人はこのことを王様に伝えようと決意する。町の被害を調査しにきたアルフとガルガを追う剣士ローディを仲間に加え、一行はアンビッシュ国を目指すのだった。

## EVENT
### 「でも、オジサンはオジサンでしょうが!!」

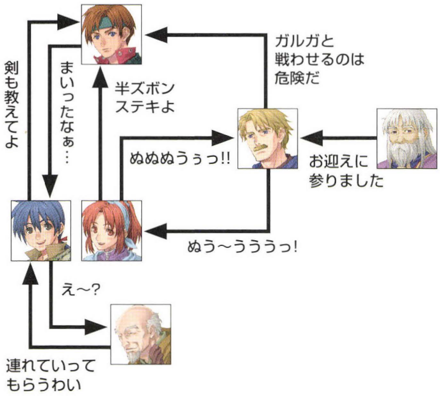
チッタの海岸に佇んでいたアルフにおせっかいを焼くクリス。そして、激しいにらめっこに敗北したアルフに、負けたのだから言うことを聞いて食べなさいと乾燥麦を差し出す。実際、アルフは空腹だったので、あっというまに平らげてしまった。

## EVENT
### 「ぐきっ…。なんだよ、半ズボンが悪いかよ」

魔獣と戦っていたローディは、見ず知らずのジュリオとクリスに懐かれて戸惑う。目的地が同じだから一緒に行こうというクリスに、剣を教えてほしいとおねだりするジュリオ。足手まといだから嫌だと断るが離してもらえず、諦めて同行することになる。

## EVENT
### 「もう、お前には頼まん。この人たちに連れて行ってもらうわい」

双竜谷の関所で兵士と言い争うルーレじいさんを見かける。ルーレはこの兵士が意地悪で通してくれないとすり寄ってくるが、実は兵士はルーレの孫でダイスのカジノに行かせまいとしているだけだった。そしてルーレは傍観していたジュリオ達の仲間に加わり、ダイスまで同行することになってしまった。




## WORDS

**■海獣ガルガ**
沈黙の海の沖合いに巣があるとされるクジラよりも巨大な海の生物。普段は大人しい性格だが、住み処に近づく者は襲ってくる場合があり、船乗り達が恐れる存在となっている。

**■真紅の炎**
メナート国のテグラでのみ産出される希少な宝石。炭坑に広がる泥炭の沼に沈めていると、その成分を吸収して膨れる性質を利用して養殖が行われている。ただ、長い時間放置して大きくなりすぎた真紅の炎はわずかな衝撃で大爆発を起こす危険物に変わってしまう。

# 第2章　ボルト大決戦

**Story**　行方を眩ませたアルフを追い、アンビッシュ国へ向かう3人。その道中で知り合ったギャンブル好きの老人ルーレのせいでダイスの町に寄り道することになってしまう。そこで、豊かに暮らすダイスの人々と対照的に、貧しい生活を送るダーツの村人と知り合う。一行は貧富の差に無気力となった村人を元気づけるため、旅の演奏家トロバと協力して村人に活力を取り戻させた。そして、村人を陰ながら支援するルーレから人を想う優しさを学ぶのだった。アンビッシュ国に入国した3人は港町ボルトでアルフと再会し、彼がアンビッシュ国王であると知る。ガルガ迎撃作戦に参加したジュリオ達は、ガルガを操っていた謎の魔獣を退治し、一連の騒動は収まった。

**EVENT**

「ほんと、すごいや。
未来のことなんて
わかったら、便利だよね」

クロワ婆さんから白き魔女の話を聞くジュリオ達。未来を知る力を素直に羨ましがるジュリオだが、そんなに単純なことじゃないとクリスは呆れる。例え未来の出来事がわかっていても伝えられない苦悩をクロワ婆さんから説明されて、ジュリオはやっぱり未来なんかわからないほうがいいと思うのだった。

**EVENT**

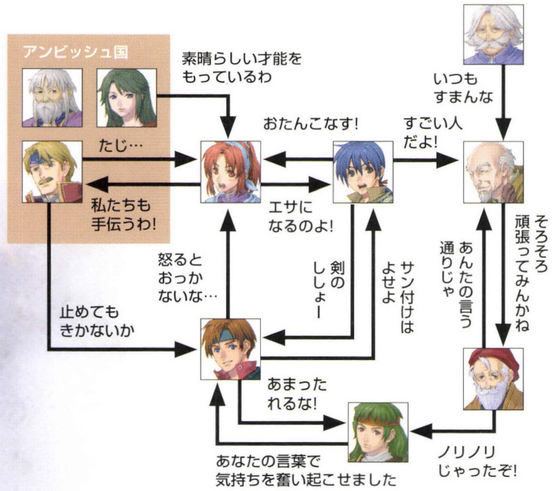
「すばらしい才能を
持っているわね。
その才能は大切に伸ばし、
みんなのために
役立ててくださいね」

アンビッシュ軍の兵舎で出会ったカンドマスター・マギサはクリスの魔法の潜在力を誉めてくれた。そして自分が子供の頃に白き魔女から、魔法の正しい使い方や人との接し方、予言の受け止め方を教わったことを話してくれる。

**EVENT**

「浜辺だったら、
一生懸命走れば
逃げられるわ。
ジュリオは駆けっこが
得意なんだから」

ガルガを陸上に誘いだすため、クリスはジュリオをエサにするというとんでもないアイデアを提案する。当然嫌がるジュリオだが、結局クリスの押しの強さに負けて、海岸に立たされることに。そのことを聞いたローディはクリスが本当にチャッペルの子なのかと疑ってしまう。




**WORDS**

**■ティラスイール世界の魔法**

ティラスイールで使われている魔法にはカンド系とチャッペル系の2系統がある。本来この地で魔法は浸透していなかったが、20年前にオルドスの初代大神官オルテガによってふたつに分けられて広められた。攻撃的なカンドと癒し中心のチャッペルとでは、それぞれ異なる素質が求められるので、同時に使いこなすことはできない。アンビッシュ国のマギサは、魔法を極めた者にのみ与えられるマスターの称号を持っている。

# 第3章　三都橋の幻影

**Story**　巡礼の旅を続ける2人はイグニスのシャリネを訪れた。そこで見た魔法の鏡では怪しげな人影が映り、またも不吉な印象を受ける。そしてアンビッシュ国のアンデラに到着すると、大喜びのアルフが料理コンテストを開催して2人をもてなした。クリスもコンテストに参加し、楽しい時間を過ごすが、何の偶然かグースとシャーラがお宝目当てに城に潜り込んでいた。2人が泥棒コンビを見つけると、城内は大騒ぎになってしまう。旅を再開した2人は護衛についてくれたモリスンと一緒に三都橋を渡るが、その様子を監視し、ほくそ笑む怪しげな老人の姿があった。

## EVENT

**「どへっ!?　うーっ…回復が…長引きそうだ」**

アンデラで療養中のローディはお見舞いにきたジュリオとクリスに、自分がアルフに諭されて復讐に生きるのをやめたと語る。しかし、そんな王様をジュリオとクリスは変なおじさん呼ばわりするので、せっかくの感動が台無しになってしまう。

## EVENT

**「ドジっ！　おたんこなす！デベソ！　短足！アンポンタン!」**

大捕物の末、ジュリオや兵士達に取り囲まれるグースとシャーラ。するとグースが盗んだ物を落としたあげくに、ガラクタばかりを盗っていたため、シャーラの堪忍袋の緒が切れる。コンビ解消を告げて出ていくシャーラを追ってグースも去っていく。罪にするのもばかばかしいと言っていたアルフは、この城に忍び込んだ度胸に感心するのだった。

## EVENT

**「正確には大魔法使いではなく、大魔道師でございます」**

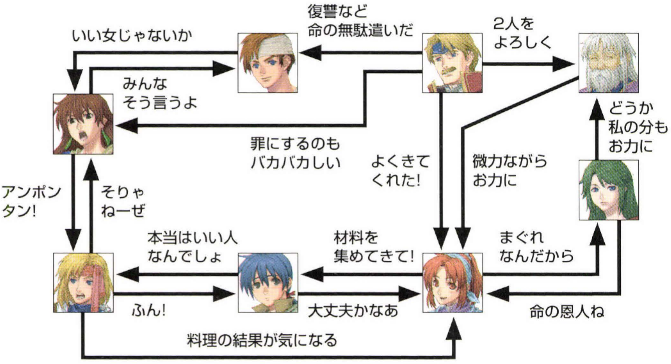
ラグピック村を旅立ったときに知り合った親子との会話を聞いて、モリスンはラップじいさんが伝説の魔道師であることを説明する。そして、クリスの持つ杖についても語ろうとしたが、何かに気付き口をつぐんだ。クリスはもったいぶらずに教えてよと言うが、旅を続けていれば自然とわかるでしょうと言うのだった。

## WORDS

**■三都橋**

チャノムとアンビッシュをつなぐティラスイール最大の大橋で、名前の由来はチャノム、アンビッシュ、オルドスの3つの国の出資によって建設されたことによる。本来はオルドスを通れば2国間の往来は多少短くなるのだが、賢者の町という性質上、一般人は通せないため、オルドスも援助金を出し、橋の建設に協力した。ちなみにこの橋には観光税、通行証は不要である。

三都橋は豪華な造りで観光地としても有名。特に橋の中央にある中島の魔女の踏み石はティラスイール三景に数えられる名所となっている。アンビッシュには異界の魔女がこの島を踏み石にして渡ったという伝承が残されている。



# 第4章　聖獣の住む森

**Story**　ジュリオとクリスはシフールのシャリネで幻術師カジムに襲われる。モリスンとグースの協力で倒しはしたものの、クリスとグースにカジムの呪いがかけられてしまった。オルドスに近づくにつれて悪化する呪いは、名医の力でも治すことができない。ジュリオは呪いを解ける秘薬を求めて単身旅立つ。そして、再会したシャーラ、調薬師リズの娘フィリーと一緒に迷いの森に行き、聖獣アルグレスと対面する。アルグレスの角で作った秘薬によって呪いから解放されたクリスはジュリオと最後の魔法の鏡のある大聖堂に向かう。すると鏡は映像だけでなく音も伝えてきた。それは世界の破滅を意味する"ラウアール"という言葉だった。

**EVENT**

「へーえ、
こいつらが山賊かい。
どの顔もマヌケづらだね」

付近一帯を荒らしている山賊と遭遇。ジュリオは怯えているが、場慣れしているシャーラは平然とした態度で啖呵をきる。そして、瞬く間に山賊達を蹴散らしてしまった。華麗に決めたシャーラだが、山賊の「ブス」という捨て台詞には烈火のごとく怒るのだった。

**EVENT**

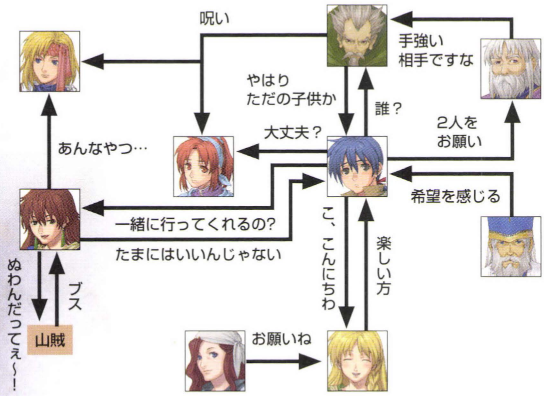
「俺たちは気ままな盗賊でね。
明日にならなきゃ、
明日のことはわからないのさ」

呪いから解放されたグースはシャーラと仲直りして、また一緒に旅立つことになった。すっかり打ち解けたモリスンは逮捕したくはないので自国での盗みは控えて欲しいと言うが、グースは風来坊を気取ってみせ、モリスンもそれでこそ盗賊の鏡と微笑んだ。

**EVENT**

「人々のために
予言を説いたのに…
かわいそうなゲルド…」

大神官デンケンは白き魔女が世界の破滅を予見していたことに気付いた。しかし、魔女というだけで忌み嫌われる時代に、そんな重大な宣告を告げることもできなかっただろうと語る。ジュリオとクリスは白き魔女の消息が気になったが、デンケンもその後のことは知らず、噂も聞かなくなったという。




**WORDS**

■巡礼の聖地オルドス

オルドスは領土全てに城壁をめぐらせた、他に類を見ない賢者の都であり、ジュリオとクリスの巡礼の旅の最終目的地がここである。町の中央には立派な大聖堂があり、その最上階が空のシャリネとなっている。最初に大魔道師オルテガが大聖堂を作り、時が経つにつれて町として大きく発展していった。町全体には悪人を入れなくする結界が張られており、酒場と武器屋の経営は禁じられている。海抜が低いため、いくつもの風車で水をくみ出しており、町の縦横に走る水路と風車の織り成す様子は絶景となっている。魔法を中心にさまざまな研究・教育が行われ、ここで修行して賢者となった者は各地に散って、その知識を他の人々に伝えている。大聖堂では大神官が日々、魔法の鏡から啓示を受け、説法などを通じて教えている。

# 第5章　わかたれた湖

## Story

ジュリオとクリス、フィリーの3人はホルクに到着するが、街道を封鎖されて足止めを受けてしまう。事情を調べてみると、ハイゼンとホルクは、ベラートという男によって争いの火種が巻かれていた。ハイゼンのエネトン王に親書を届けたジュリオ達は、ホルクの砦に人質にとられたカーリー王妃の救出に向かう。山賊を手下に従えたグース達に助けられてベラートを追い払ったジュリオ達は両国の平和を取り戻すことに成功した。そして、きな臭い噂も持ち上がるフォルティアへの帰途を急ぐジュリオ達に大神官デンケンからの助言が届けられた。ドルフェスに幽閉された宮廷剣士デュルゼルという人物は白き魔女と面識があるというのだ。

## EVENT

### 「だって友達なんだもん」

ホルクの王様に面会するため、アンビッシュの使者のふりをするジュリオ達だったが、すぐにばれて兵士に尋問を受ける。兵士は本物の使者なら答えられるはずだと、アンビッシュの政治顧問の名を問い、ジュリオがモリスンと答えると、「偉い方なんだから呼び捨てにするんじゃない!」と怒られてしまう。

## EVENT

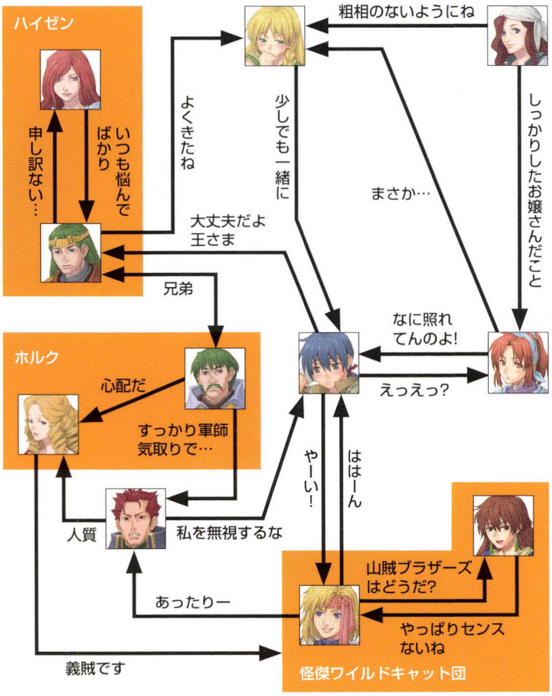
### 「売れば金になりますよ、金に」

ベラートの人質にされている状況でも終始緊迫感のなかったカーリー王妃。怪傑ワイルドキャットが気に入ったようで、ずらかろうとするグースを引き留めて宝石のネックレスを渡す。そして駆けつけたキャラック王にフュエンテの平和を守る義賊だと得意げに話すのだった。

## EVENT

### 「だって、私…。少しでも、長く…。ジュリオさんと一緒にいたかったのですもの」

フィリーがハイゼンへの近道になる獣道に案内すると、最初からこの道を使ったほうがよかったのではとクリスが気付く。するとフィリーは大胆な告白を口にした。どうしたらいいのかわからないジュリオは、クリスに突っ込まれておろおろとするばかりだった。




## WORDS

**■南北に分かれた統治国**

フュエンテ国は兄弟の国王が2人で分割統治を行っている。北の王都ハイゼンは兄のエネトン王、南の副都ホルクはキャラック王がそれぞれ治めている。エネトン王はかなり優柔不断な王様として有名。

# 第6章　動き出した予言

## Story

バラカに辿り着いたジュリオとクリスは砂漠の黒豹が起こしている爆弾騒ぎに巻き込まれ、容疑者として牢屋に入れられてしまう。クリスが別の場所に連行され、ひとり取り残されたジュリオは、同じく捕まっていた武道家バダットと協力して、格闘試合の最中に逃亡を試みる。それを援護してくれたのは砂漠の黒豹、ステラだった。クリスを救出するため豪商ウルギットの館に潜入したジュリオ達は人間離れした能力を発揮するウルギットとカンダタと戦う。正気に戻ったウルギットはフォルティアの占星術師レバスに操られていたことを告白した。バダットとステラを仲間に加え、ディルトの関所に着いた2人は、ハックと再会。白き魔女が残した最後の予言を耳にする。

### EVENT

「実は俺もそう思う。
なかなか強情で
言うことを全然きかないから、
部屋に閉じこめたままだ」

真紅の炎を献上して上機嫌のウルギットにクリスを返してほしいと頼む。そのクリスは踊り子にされそうになっていたらしく、ジュリオは似合わないよと思わず吹き出してしまった。

### EVENT

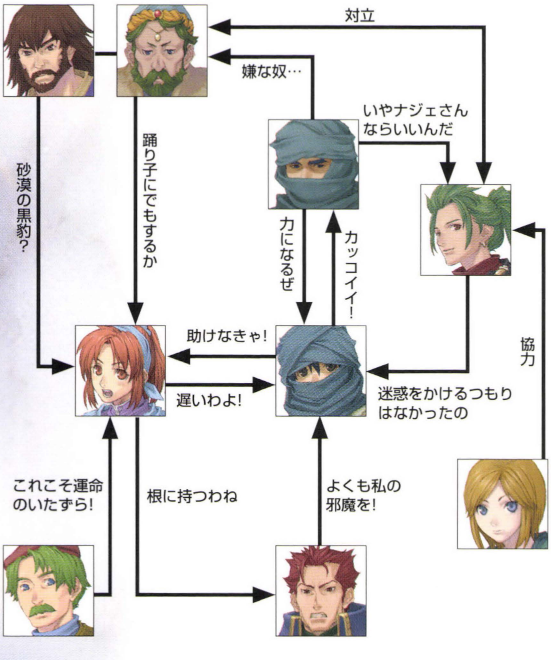
「あぶないぞ。ほらっ!
いいからさがるぞ!」

クリスのいる部屋に辿り着いたジュリオとバダットは、ステラからもらった爆弾で扉を吹き飛ばそうとする。導火線に点火したのに、「すごい勢いで燃えてるよ」とのんきに観察しているジュリオを、すっかり保護者ぶりが板についたバダットが引っ張って避難させるのだった。

### EVENT

「クリス。
しばらく会わないうちに、
つっこみが鋭くなったね」

関所の牢名主として恐れられている人物の正体はあのハックだった。なぜ牢屋にいるのかを説明しようと語りに入るが、クリスはその前振りをぴしゃりと遮断して、直接関係のない長話は止めてみせた。




### WORDS

**■ギドナの遺跡**

渇きの砂漠に覆われたギドナは、豪商ウルギットが治める自由貿易の国家である。発祥は古くティラスイール最古の歴史を持つ国ともいわれている。中央の山岳地帯には古い遺跡があり、地下には迷宮が広がっている。その奥には過去の歴史が刻まれた碑文が残されているという。

# 第7章　巡礼者の軌跡

**Story**　ジュリオ達はデュルゼルの孫娘ジョアンナの導きでドルフェスの塔に潜入し、デュルゼルと対面する。重い腰を上げたデュルゼルは2人を白き魔女に会わせると言い、忘れじの街道へいざなった。街道の脇道の先にある寂しげな丘、そこに白き魔女と呼ばれた少女の墓標があった。白き魔女の死を告げられ、ショックを受けるジュリオ達にデュルゼルは、白き魔女との関わりとその最期を語る。今、世界が迎えようとしているラウアールの波による危機は、イザベル王妃とレバスによって引き起こされている。事実を知った一同は計画を阻止するため、ルード城へ向かう決意を固めるのだった。

## EVENT

**「口数は少ないかもしれませんが、やさしい人です。私もお爺さまを尊敬しています」**

ジョアンナに伴われてドルフェスを目指すジュリオとクリス。有名なデュルゼルがどんな人なのだろうと想像してちょっと緊張するという2人を見てジョアンナは優しく微笑みながら祖父のことを語った。

## EVENT

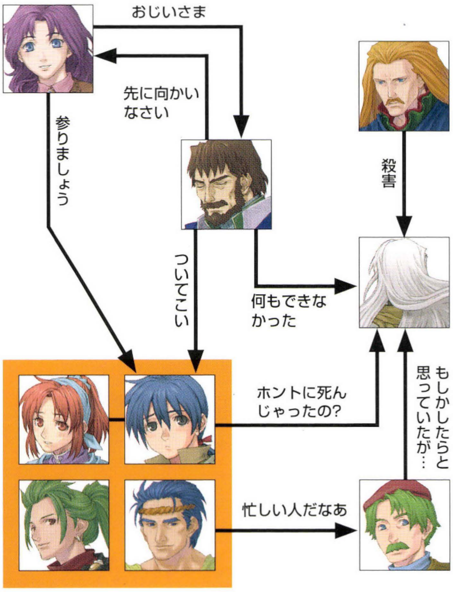
**「俺はあの娘を守れなかった。だから、あの日以来、宮廷剣士の象徴である剣をあの娘の傍に葬ったのだ」**

ジュリオとクリスは白き魔女が眠る地に案内された。その墓前に突き立てられた1本の剣はデュルゼルのものだった。ジュリオが真実を尋ねると、剣の前にひざまずいたデュルゼルが白き魔女との交流を語り始める。

## EVENT

**「そのときはあの世に行ってからみんなでゲルドにあやまろう」**

レバスの天球儀を破壊するだけで事が収まるとは思えないというハックは、ギドナの遺跡を調べにいくことにした。なるべく報告を待ってほしいが状況によって天球儀を破壊するしかない、その判断はジュリオ達に任せると言う。




## WORDS

**■ルード城の天球儀**

イザベル王妃の進言により、ルード城に天儀室が作られ、天文学者として占星術師レバスが招き入れられた。この一連の行動は全て仕組まれたことであり、イザベル王妃とレバスは、天球儀を媒介としてラウアールの波をこの世界に呼び寄せようとしている。デュルゼルは白き魔女から唯一の対策として、5つのシャリネの力を得た銀の短剣を使えば、天球儀を守る結界を破れることを教えてもらっていた。そして、シャリネの力を発揮するため、実際に巡礼を行った者が銀の短剣を使うことが条件となっている。

# 最終章　やさしき魔女

**Story**　ルード城に乗り込んだジュリオ達。その後を追って仲間達が次々と駆けつけてくる。一同は力を合わせて強敵を倒し、ついにレバスとイザベルとの決着を迎える。だが、ラウアールの波を呼ぶ儀式は完成し、破滅の波が上空に現れてしまった。それでもなお希望を捨てないジュリオとクリスの前に白き魔女の魂が現れる。そして破滅の波を浄化した白き魔女の魂は共に消滅してしまった。こうして、世界の危機は去り、ルード城には20年ぶりの笑顔が戻った。そして、世界を救った2人の巡礼者は仲間達に見送られ、両親の待つ故郷に帰っていくのだった。

**EVENT**

## 「さざなみは終わり、大いなる災いが押し寄せているのですね」

デュルゼルは自分が幽閉される前に、非常事態に備えて、信頼のおける部下に来るべき災厄について告げていた。宿屋の主人に合い言葉を告げ、指示のあった場所で待っていると、ブリット隊長が現れる。ブリット隊長はルドルフ王が執権を失い、レバスの術で動けなくなっている内情を報告した。デュルゼルはルード城に侵入できるように手はずを整えるように指示する。

**EVENT**

## 「あんたこそ、俺が憧れ続けた英雄さ。よっし、なんだか力がわいてきたぜ」

ルード城内部を進むジュリオ達の前にレバスの術で蘇った幻術使いカジムが立ちはだかる。カジムが過去にガルガを操る実験をしていたことを口にすると、そこへ駆けつけたローディがジュリオ達に代わって一騎打ちを挑む。カジムが本当の親の仇と知っても以前のような激情はなく、ジュリオとクリスを助けるために来たのだというローディ。目の前の老剣士が憧れのデュルゼルと分かり、気合いを入れて戦いに挑むのだった。

**EVENT**

## 「君に王なんて呼ばれたら、なんだか調子が狂ってしまうよ」

手強そうな魔獣兵士を次々と倒していく謎の槍使い、その正体はアルフだった。大神官デンケンから事情を聞き、心配性のモリスンには内緒で乗り込んできたというのだ。しかもデュルゼルとは旧知の仲で、かつて一緒に旅をしたこともあるという。その場をアルフに任せて先へ進むと、今度はモリスンが助っ人として現れる。やはりアルフには無断で来ていたのだった。

**EVENT**

## 「あんたたちは白き魔女が残した希望の道なんだろ」

イザベルの塔を登っていると、城内を走り回っていたグース達が追いついてきた。ハックから事情を聞いていたシャーラは天球儀を壊せば魔獣の群れも抑えられるかもしれないと、敵の足止めを引き受ける。グースが下っ端の山賊達に命令し、階段上に陣取ると絶妙なチームワークで迫る魔獣を撃退する。ジュリオ達は信頼できる仲間達に背中を預けてレバスの元へ急いだ。

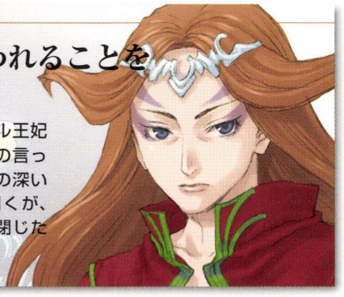
## EVENT

### 「なかった。いや、少なくとも 私の調べた限りでは方法は他になかった」

レバスの語る計画の全貌。それは異界を救うために残された唯一の手段だった。2つの世界を両方とも救う方法はなかったの、というクリスの問いにレバスは可能性は何にでもある、だが時間がなかったと語る。そして、悲願を全うすべくジュリオ達に戦いを挑んできた。

## EVENT

### 「せめて、この世界が救われることを 今は祈りましょう…」



正々堂々と勝負を挑んできたイザベル王妃にからくも勝利するジュリオ達。彼女の言った、この世界にある打ち消せないほどの深い罪が何なのかを、ジュリオは改めて聞くが、王妃は思いをめぐらせるように目蓋を閉じたまま、その体は消滅していった。

## EVENT

### 「そうじゃなくちゃ、 私たちがここまで きた意味がないじゃない！」

イザベル王妃を倒したが、ラウアールの波の出現は止まることはなかった。上空を漆黒の闇が覆っていくなか、まだ何か方法があるはずだとジュリオとクリスは強く願った。すると、クリスの叫びに呼応するようにゲルドの杖が光を放った。

## EVENT

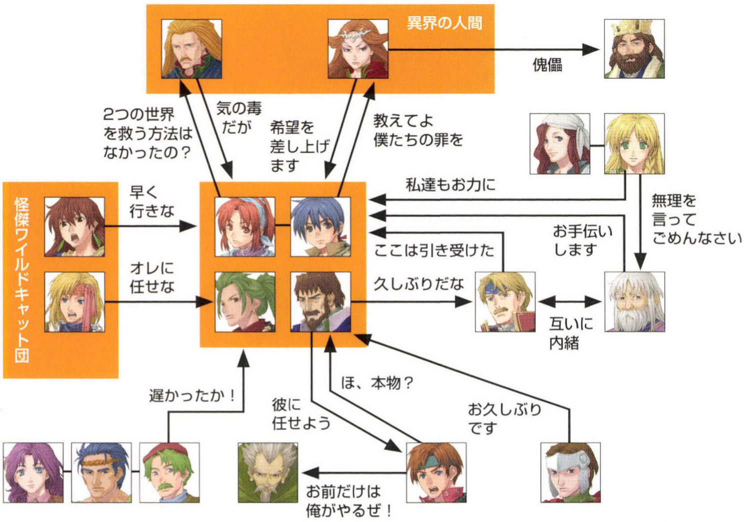
### 「白き魔女が残した道を、 お前たちが通ってくれた。 ゲルドは後悔などしてはおらんさ」

ラグピック村がお祝いで盛り上がるなか、ジュリオとクリスはラップじいさんに白き魔女のことを尋ねる。仲間から裏切り者扱いされ、この世界のために命を落としたことに後悔はなかったのかと。ラップじいさんは巡礼の旅と同じように、1度でも幸せだと感じることができたなら、その人生は幸せだったのだ、と教えた。

## WORDS

### ■ラウアールの波

フォルティア国の東には魔女の海があり、そこに魔女の島と呼ばれる場所がある。かつて異界の魔女はその地から訪れていると伝えられていたが、実際にそこにあるのは空間のひずみで、異界とつながる唯一の場所であるのだ。異界はラウアールの波によって崩壊寸前の事態を迎えており、それを救うためにこちらの世界へラウアールの波を反らそうとしているのがイザベル王妃とレバスの計画である。異界の人々は生まれながらに魔法を使う能力を持っていたが、魔法を使う際に生まれる負の想念が、微弱ながら長年かけて蓄積され、手の付けられないものになってしまった。これがラウアールの波である。ただ、このラウアールの波を生み出すきっかけを作った原因はこの世界にあり、そのことをイザベル王妃は決して打ち消せない深い罪と語っている。その詳細は『海の檻歌』で明らかにされることとなる。



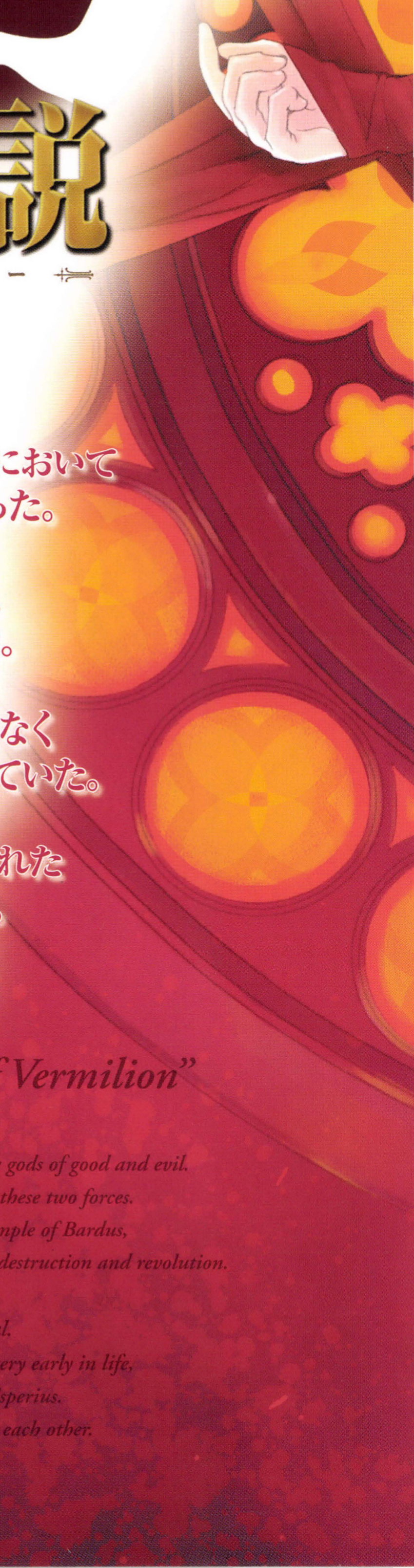
メインビジュアル

Illustration by You Shiina

『朱紅い雫』予約特典着せかえジャケット

Illustration by Minako Iwasaki

# 英雄伝説
## ガガーブトリロジー
## 朱紅い雫



神々の眠る地、エル・フィルディンにおいて
争いを続ける二つの勢力があった。

光を奉じるバルドゥス教会。
闇を崇めるオクトゥムの使徒。

人は未だ、巣立ちを迎えることなく
神々という名の運命に囚われ続けていた。

これは、ガガーブの彼方で綴られた
人と神をめぐる物語である。

●

## *Gagharv trilogy second "A Tear of Vermilion"*

*The fate of people of El phildin is caught in the balance between the gods of good and evil.*
*Their predicament is the legacy of the ancient battle between these two forces.*
*The god that protect the people has found his home in the temple of Bardus,*
*while Ouktum has become the symbol of the dark side and the source of destruction and revolution.*
*On a day eight years ago...*
*The heretics attacked the sanctuary of cathedral.*
*Avin and Eimelle,the orphan siblings who lost their parents very early in life,*
*got out of Cathedral owing to the sacrifice of Elder Esperius.*
*From that day, they began to live getting separated from each other.*

# CONTENTS


■キャラクター紹介

アヴィン——050
アイメル——052
マイル——054
ルティス／ルカ——056
ガウェイン／トーマス——058
アルチェム——060
シャノン——062
ミューズ——064
マーティ——065
ダグラス——066
ルキアス——067
ラエル——068
エレノア——069
コンロッド——070
ミッシェル——071
マドラム／オレシア——072
主なサブキャラクター——073

■人物相関図 077

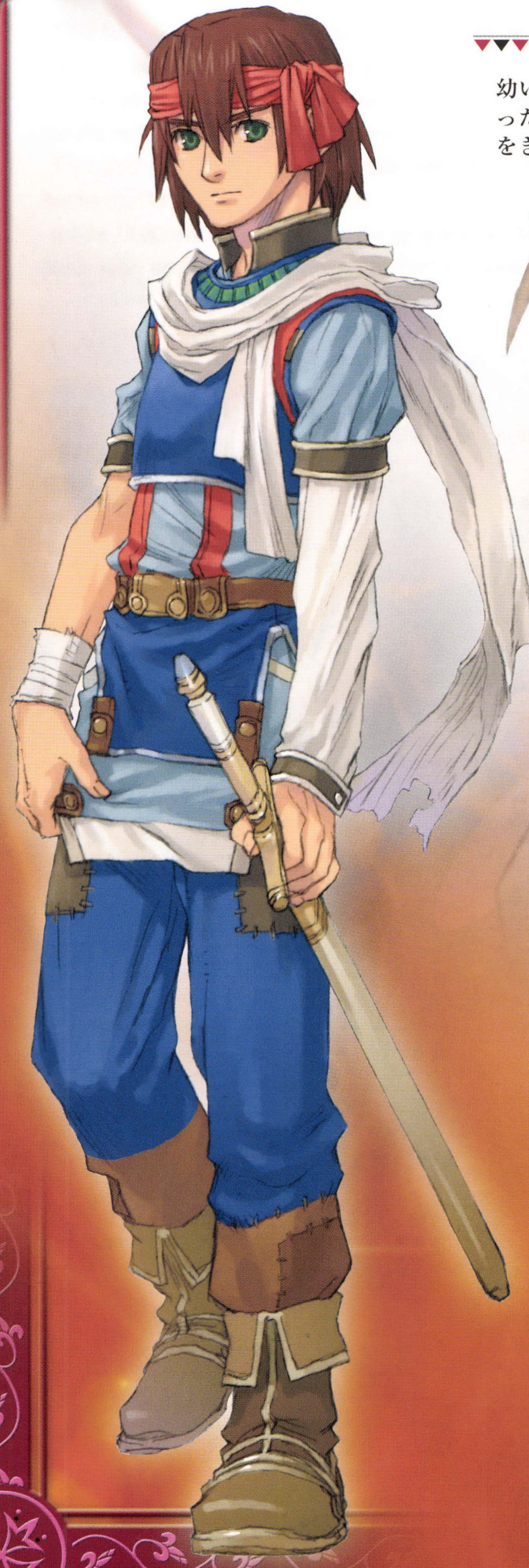
■オープニングアニメーション 078

■ストーリーダイジェスト

プロローグ——080
第1部——081
第2部——083
第3部——086
第4部——089

■イラストギャラリー 090

# アヴィン



## 最愛の妹を捜して全土を駆けめぐる 運命に立ち向かう若者

幼い頃、オクトゥムの使徒に襲撃され、最愛の妹と生き別れになった過去を持つ。その時からずっと妹を思い続け、育ての親の死をきっかけに妹捜しの旅に出る。短気で口が悪いが、根は優しい。

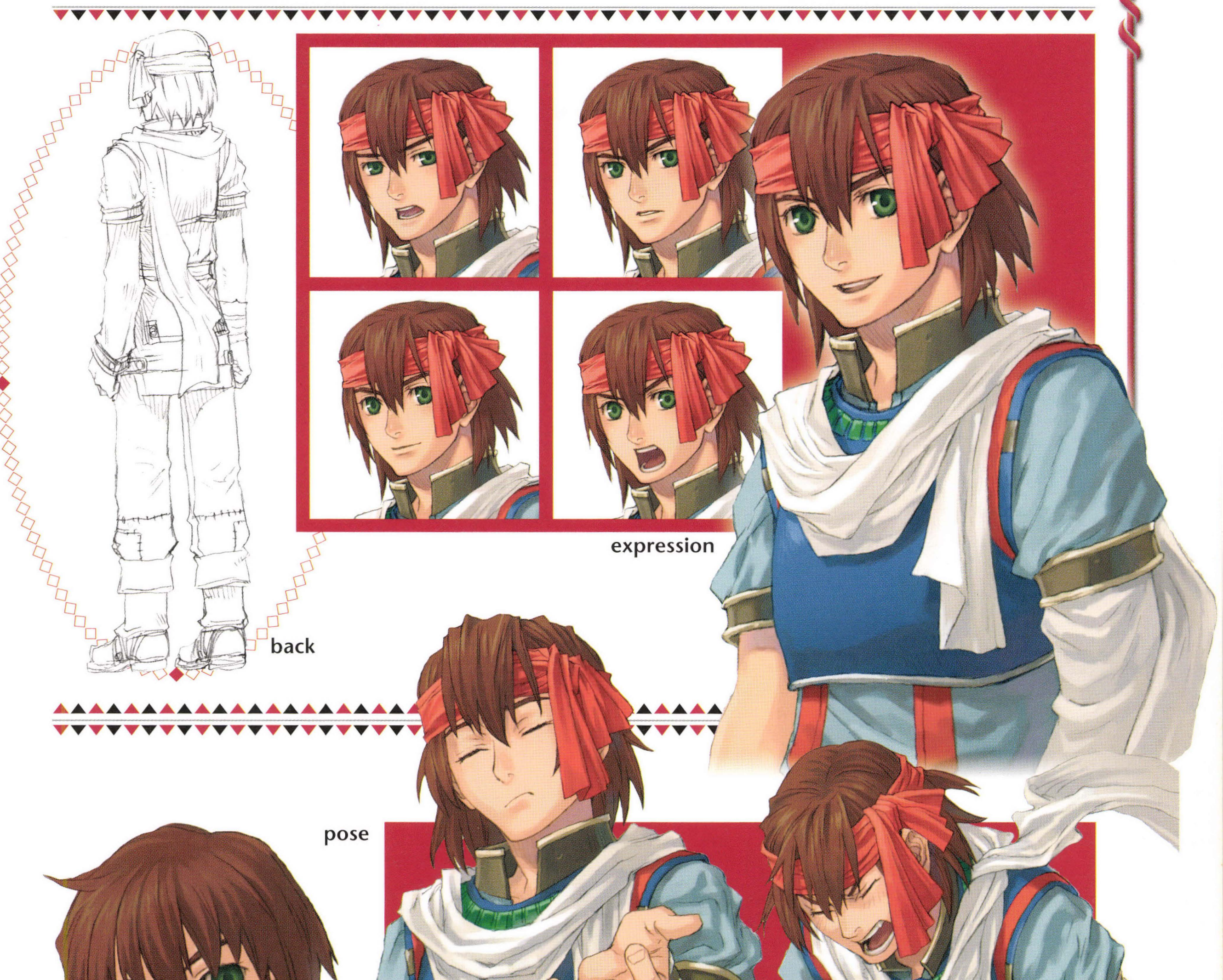
### Pick Up

#### ひたむきな想いが出した結末

アヴィンの旅は「アイメルに会いたい」という想いから始まる。そして、その旅はドゥルガーの娘、親友の死、宗教の対立、世界の消滅…という事態の大きなものに変化していく。アヴィンはそれらに巻き込まれ、翻弄されていくのだが、結局最後まで想いの根本は変わらなかった。世界全てを考え滅びを選ぶベリアス卿と、目の前の幸せを願うアヴィンでは相容れないのは必然。アヴィンの自分と他人のために一生懸命行動していくひたむきな生き方が多くの人々に影響を与え、ベリアス卿とは違う未来を導き出したのである。

**Profile**

名前：アヴィン
年齢：17歳
出身：エル・フィルディン　デュシス地方西部
職業：冒険者
性格：短気、口が悪い、根は優しい
設定：『朱紅い雫』の主人公
幼い頃に両親を亡くしている
妹想い
賢者レミュラスが親代わり
剣術、黒魔法が得意


back
expression
pose
【幼少時代】
expression
pose

# アイメル

## ドゥルガーの娘として運命に選ばれた心優しき少女

アヴィンの妹。"ドゥルガーの娘"としてオクトゥムの使徒から狙われる存在でもある。アヴィンと離ればなれになった後、修道院で育てられるが兄との再会を願い１人で旅立っていく。

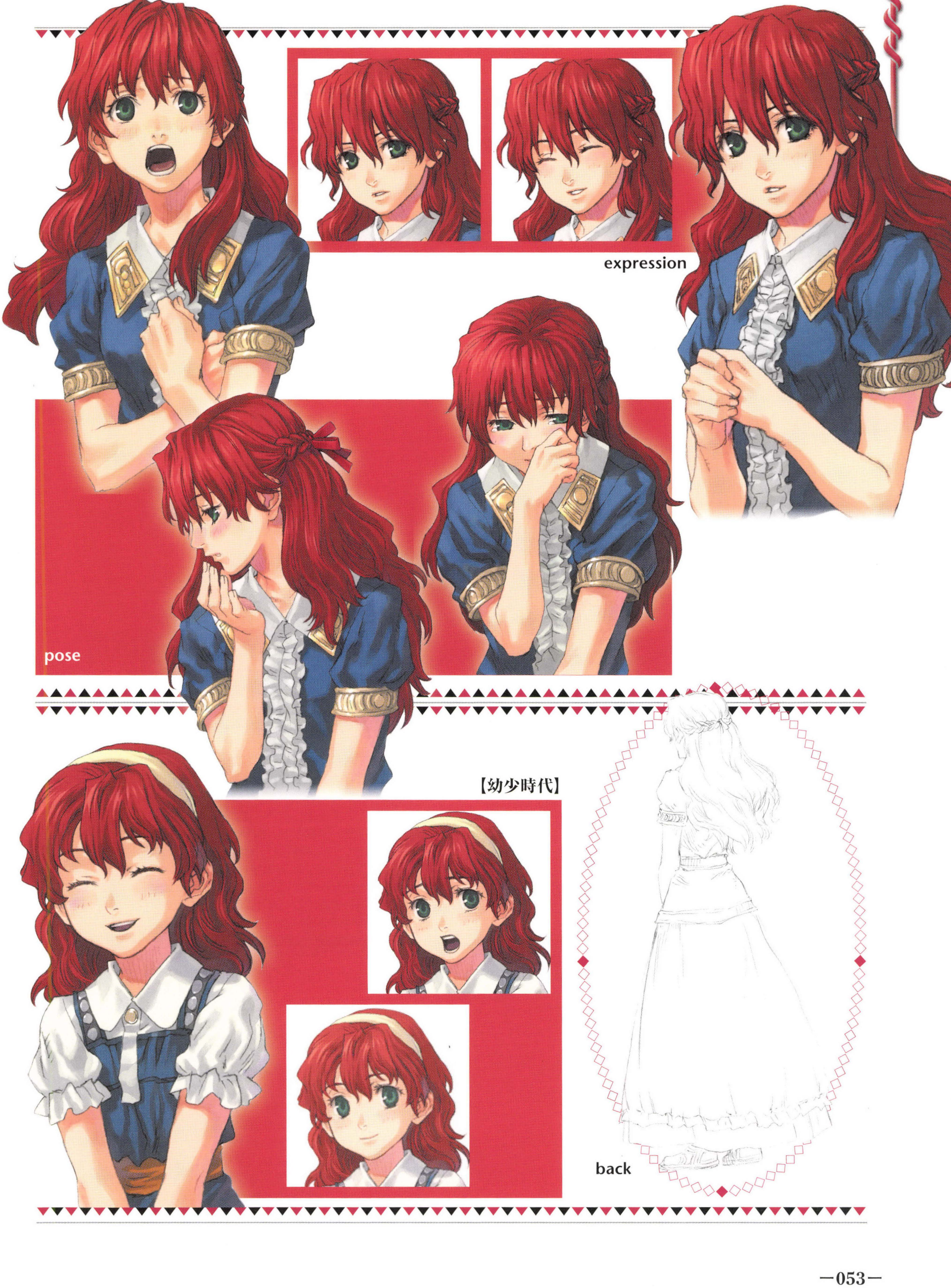
**Pick Up**

### 『俺の妹は世界一可愛い』by.アヴィン

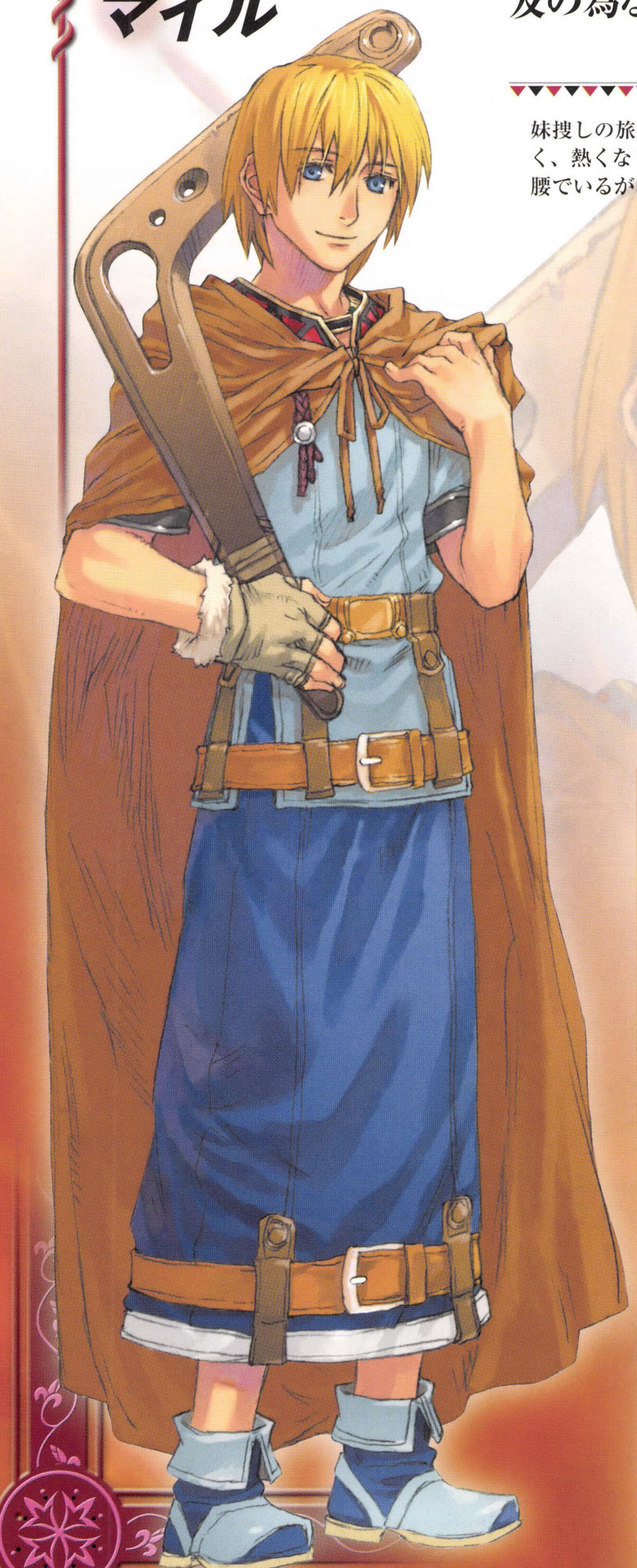
バロアの港町で兄妹は再会する。泣きじゃくるアイメルと、妹をしっかりと抱きしめるアヴィンの姿は、離れ離れになっていた時間を埋めるような感動的な場面だ。それはともかく、その後のアヴィンの過保護ぶりが面白い。アイメルの事を「天使みたいな子だ」などと素で認める。冗談めかして妹にちょっかいを出すマイルやトーマスに対し、威嚇の態度。世間話で出る「結婚」の言葉にうろたえる。などと、彼の新たな一面が見られるのだ。しかし、アイメルの兄を想う気持ちも負けていなかった。アヴィンを大切に思う者同士のマイルと意気投合になったり、兄に対して好意的な女性を見て複雑な表情をしてみたりする。そして、そんな兄妹の仲の良さがにじみ出ている会話がこれ。「私、お兄ちゃんが大好きだから」「アイメル…（ジ～ン）」。両想いである。また、この辺りの一部始終を見て、終始嬉しそうなマイルの存在も印象的であった。

**Profile**

名前：アイメル
年齢：15歳
出身：エル・フィルディン　デュシス地方西部
職業：－
性格：心優しい、気立てよし、芯が強い
設定：『朱紅い雫』のヒロイン
　アヴィンの妹
　幼いころの事件により消息は不明に
　兄想い
　ドゥルガーの娘としての宿命を背負う


expression
pose
【幼少時代】
back

# マイル



## 友の為なら命も惜しまない　強く優れた輝きを持つ相棒

妹捜しの旅の仲間。優しく気配り上手で喧嘩の仲介役になる事も多く、熱くなりやすいアヴィンのお兄さん的存在。常に落ち着いた物腰でいるが、シャノンの熱烈な求愛にはさすがに閉口気味だった。

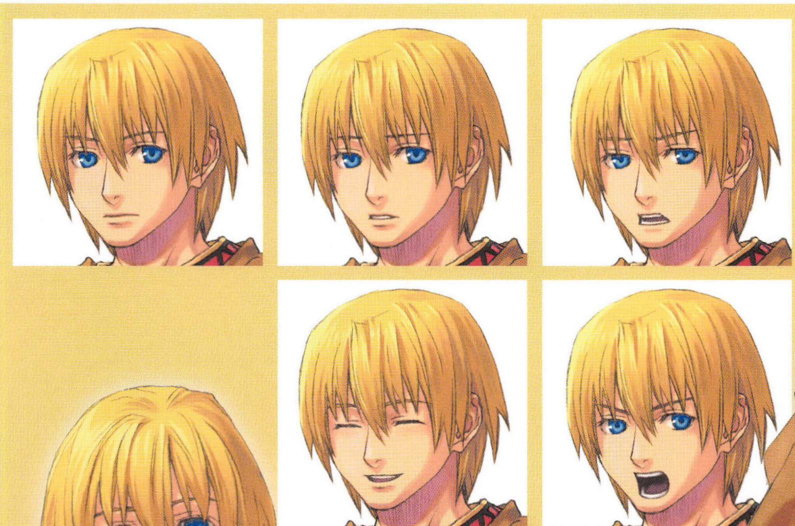
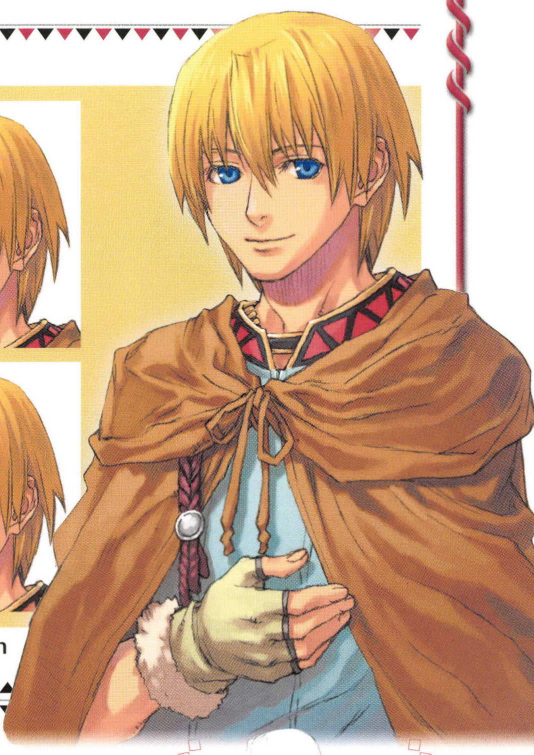
**Pick Up**

### 銀髪の見目麗しい若者の原理

金髪碧眼。いわゆる現実世界の西洋人の中でも珍しいとされる容姿のマイル。姿は元より性格も良い彼は、誰からも一目置かれる存在として活躍していた。しかもアヴィン達兄妹を助けんがため、命まで投げ出してしまう根性の持ち主だ。これにはベリアス卿もまいったらしく、倒れたマイルを攫いオクトゥムの使徒にしてしまう。操られたマイルは『銀髪で赤い瞳』という姿になり、単身各地を飛び回りベリアスの手足となるのだが、ここで注目したいのがその姿である。極端だが、銀髪というのは銀白色の髪の毛…白髪を指し、赤い瞳というのはメラニン色素の極端な現象により、目の奥にある毛細血管が透けてしまう事である。アヴィンが冥府門を越えて本当の意味でマイルを捜し出した時、金髪碧眼に戻ったところを見ると、機能が停止した身体をベリアス卿によって無理矢理動かされ、身体に負荷がかかった結果が『銀髪で赤い瞳』に現れていた…りして。

**Profile**

名前：マイル
年齢：18歳
出身：エル・フィルディン　ノトス地方ウルト村
職業：冒険者
性格：しっかり者、優しい、冷静沈着
設定：アヴィンの幼なじみで大親友
父、母の3人家族
狩りのためにブーメランを習う
異性にモテるが本人はけっこう無頓着
父からもらった“護りの鈴”が宝物

expression

【幼少時代】

back

【銀髪マイル】

pose

# ルティス

## 小さな光を追い、人生を模索する オクトゥムの使徒の少女

オクトゥムの使徒として暗躍する少女。しかし途中、ベリアス卿のやり方に疑問を感じ使徒から抜けアヴィンと共に行動をする事に。旅を通じてアヴィンとはお互いに支え合う存在になっていく。

**Pick Up**

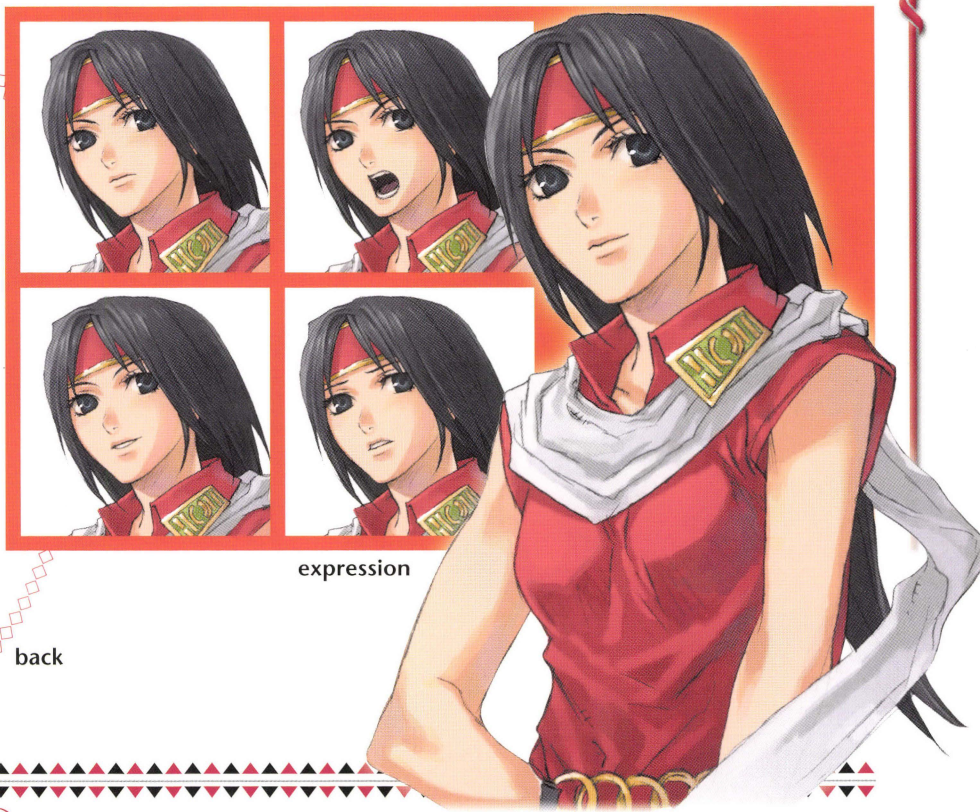
### 敵役からヒロインへ

ルティスは、ベリアス卿の配下であるオクトゥムの使徒として登場する。アヴィン達とは対立する立場にあり、英雄伝説シリーズの中でも特殊なヒロインと言えるだろう。過去の生い立ちから、人が信じられず、心に闇を抱えていた。だが、他の使徒とは違い、弟を想いやる優しさを持ち続けていた。その結果、アイメルとマイルが姿を消した後でアヴィンの仲間になるのである。『朱紅い雫』の物語はアヴィンの妹捜しの旅が軸になる。アヴィンとアイメルの兄妹愛や、アヴィンとマイルの友情は終始変わる事のなく描かれてるのに対し、ルティスだけは立場も心も変化していくのだ。「人形だって構わない。これ以上、心が痛まないのだったら…！」。こんな風に叫んでいた彼女が「私は強くなりたい。自分の足で立って、他人を守れるくらいに」と言うまでになるのだ。見方を変えると『朱紅い雫』とは、ヒロインの成長物語を描いているともいえるだろう。

**Profile**

名前：ルティス
年齢：16歳
出身：エル・フィルディン　デュシス地方南部開拓村
職業：オクトゥムの使徒
性格：冷静、寂し気、人間不信
設定：独立部隊として暗躍、バスターは部下
11歳の時に魔獣に両親を殺される
体術とナイフの扱いに長けた戦闘のエキスパート
ベリアス卿の信頼を得ている
弟がいる

back



expression

## Link Character

### ルカ

ギアの工場で工員見習として働く少年。幼いながらも技師としての腕前はかなりのもの。工場では秘蔵っ子として可愛がられている。突然去っていった姉のルティスの事をいつも心配しており、彼女を捜し続けていた。14歳。

expression

costume

# ガウェイン

## その強さは他者を圧倒する エル・フィルディンの“力の賢者”

エル・フィルディンの三賢者の1人で、“力の賢者”と称される人物。過去にあったオクトゥムの使徒によるカテドラール襲撃からアヴィンとアイメルを守った。年老いた今でもその身体は衰えを見せない。

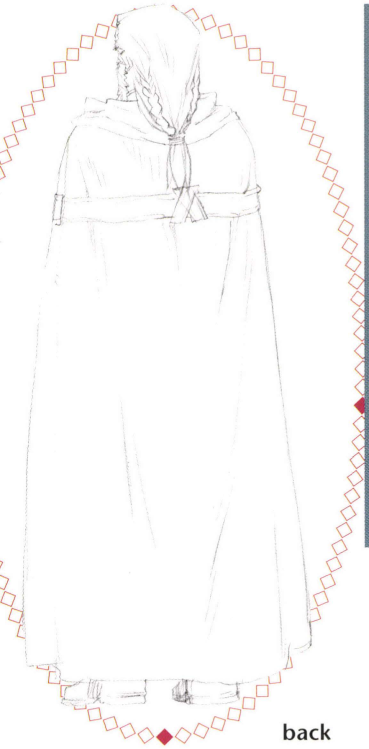
**Pick Up**

### 印象さまざま

ガウェインは重要人物だ。事実、彼がいなければ幼い頃にアヴィン達は死んでいただろうし、他にも多くの場面でその存在は要であると言えた。そんなワケでガウェインは敵味方問わず一目置かれた存在である。ベリアス卿から「音に聞こえし賢者の力」と称され、ボルゲイドは「今日のところは、ここまでにしますか」とガウェインが現れるとすぐ撤収。最高導師クロワールには「本当に世話になっておる」と感謝の念を示され、元弟子のマドラムからは「その老人は驚くほどしぶとい」と褒め（？）られる。ルティスも「心の中まで見透かされそうな感じがして怖かった」と語っている。そして、極めつけが光の神バルトゥス。「賢者よ、そう責めてくれるな」。なんと、神にまで存在を知られていたのだ。これは凄い。しかし、逆に幼い頃からの知り合いであるアヴィンは、そんな評価にはピンとこない様子で“おっさん”呼ばわり。有名人を家族に持った人の気持ちってこんなものかも。

**Profile**

名前：ガウェイン
年齢：61歳
出身：エル・フィルディン　出身地不明
職業：賢者
性格：真面目、聡明、正義感が強い
設定：“力の賢者”と称されている
バルトゥス教会の顧問
マドラムとは師弟関係にあった
剣聖カストルと唯一互角に渡り合えたらしい
“海の英雄”と呼ばれ、ガガーブ越えに挑戦した事がある



back

expression

Link Character

## トーマス

エル・フィルディン最速の船『海の白鷹』プラネトス号の船乗り。元々はガウェイン所有の船だったが、彼の引退を期にトーマスに任されている。熱い冒険心を持った好青年で、ガウェインの夢を継ぎ、プラネトス号でガガーブ越えをする事を目標としている。

◀兄の後ろにいるアイメルを見てからかう。豪快かつ冷静な海の男でありながら、くだけた雰囲気も持つ。アヴィンには「硬派そうに見せかけて、やたらと軽い性格の兄ちゃん」と言われていた

expression

# アルチェム

## 木霊の森に住む 聖獣ミーファと心通わす少女

自然と動物を愛し、聖獣ミーファと会話ができる少女。木霊の森の奥でミーファ狩りの猟師と揉め合っていたところをアヴィン達に助けられる。誰に対しても誠意を持って接する心優しい性格。

**Pick Up**

### 森の妖精？

アルチェムは一見すると普通の女の子である。だが、よくよく考えると只者ではない。森の奥で祖父と共に極力、他人とは接触しない暮らしをしながらも、心優しく育ち、動物の声…特にミーファと会話が出来る特別な力を持つ（しかも歌声でミーファを呼び寄せる）。家に帰る事についても、時に「…森に帰ったわ」という表現で表され、それが妙にしっくりくる。この様な事柄から、アルチェムはちょっと不思議な存在だと感じるのである。アヴィンへの想いに自分なりの折り合いを付けようとした健気な行動もこれで納得できる？

**Profile**

名前：アルチェム
年齢：15歳
出身：エル・フィルディン　ボレアス地方ニューボルン
職業：－
性格：心優しい、純粋、芯が強い
設定：聖獣ミーファと会話できる
アヴィンにほのかな想いを寄せる
木霊の森の奥にある一軒家に祖父と暮らしている
アイメルと雰囲気が似ている（アヴィン談）
白魔法が使える

expression

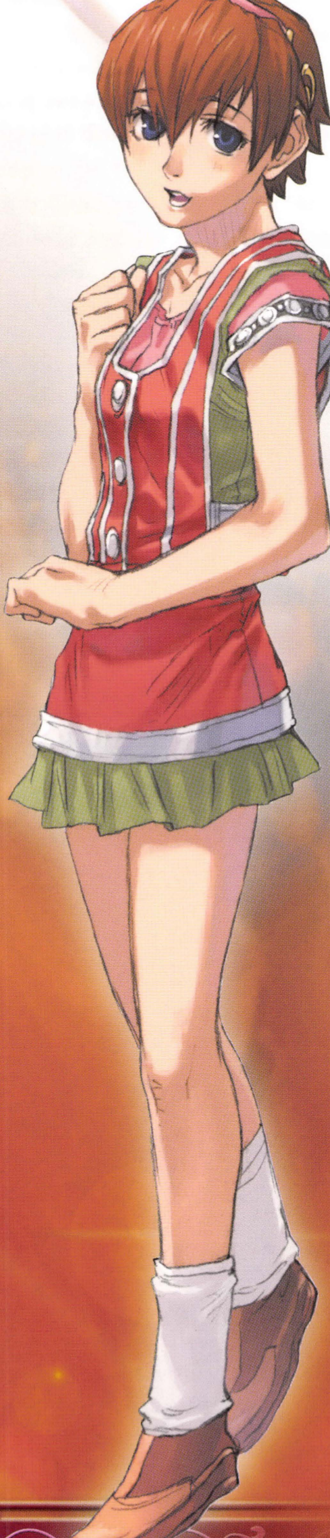
back

pose

# シャノン

## 一途さなら誰にも負けない
## 王子様を追いかける夢見る乙女

チブリ村出身の女の子。純粋無垢で理想の男性との巡り会いを日頃から夢見ている。シャムシール団から救ってくれたマイルを王子様だと思い込み、彼を追い各地を転々としていく。この恋の行方は…。



**Pick Up**

### 王子様との恋

『朱紅い雫』って、王子様が登場してたっけ？　と思った方いるでしょうか。当然ながらエル・フィルディンでは王女様はいても（しかも仲間になる）、王子様は登場しない。『朱紅い雫』で言う所の王子様というのは、夢見る乙女・シャノンの心の中にいる王子様の事。盗賊に攫われ、人質となっていたシャノンがマイル（達）に助けられた時。シャノンはマイルに一目惚れし、「王子様」「運命の人」「マイル様」と慕いまくるのである。その様子はマイル本人も含め、周囲を圧倒。以降の旅では、どう見てもマイルから避けられ気味で、どうするんだろうこの子は…と心配になった所で、マイルに不幸が訪れる。前途多難な恋になったシャノンだが、持ち前の乙女のカンと芯の強さで乗り越えていくのだった。ラスト付近ではマイルも割と満更でもなさそうだったが、その後、どうなったのかわからない。ただ、彼と腕を組んで街を散歩する夢は叶ったようである。

**Profile**

名前：シャノン
年齢：17歳
出身：エル・フィルディン　ノトス地方チブリ村
職業：ー
性格：純真無垢、一途、夢見がち
設定：理想の男性との巡り会いを日頃から夢見ている
ずば抜けた行動力の持ち主
無意識に話し相手の緊張をほぐしている
マイル様♥♥♥
芯が強い

expression

pose

# ミューズ

## 高い志と民を思う心を持った わがままで高飛車な王女様

エル・フィルディン王国の王女。姫として育てられたため、とてもわがままで高飛車。しかし、高い志と民を思う気持ちも持っている。王城の生活に退屈し、よく家出をしては事件に首を突っ込んでいる。

expression

Pick Up

### 高潔で高飛車な王女様

ミューズは王女だてらに王都の地下水路を抜け道として頻繁に城下に出るような行動的な人物だ。初登場はその地下水路で、高飛車かつ独特な雰囲気はアヴィン達を唖然とさせた。当然ながらこの時点でミューズは正体不明の謎の美女。しかしその後、チブリ村の事件の際にディレン将軍により正体が判明する。アヴィンとマイルの驚きは大きかったが、それ以上に将軍の動揺ぶりが凄い。結局、将軍や後に王宮入りするマーティの心配をよそにお転婆ぶりは変わらず、最終決戦ではカテドラールまでアヴィン達の加勢に出向き皆に呆れられるのであった。

**Profile**

名前：ミルディーヌ・ウリエル・シルヴィアナ・エスメラス
年齢：18歳
出身：エル・フィルディン　王都フィルディン
職業：王女
性格：高潔、わがまま、行動的
設定：愛称の「ミューズ」は名前の頭文字を取ったもの
ミリガン16世のひとり娘
時々こっそり城を抜け出している
高笑いをする
精霊魔法と鞭の扱いが得意

# 国の官僚を目指し日々精進する人の良い苦学生

# マーティ

アヴィン達が初めて出会う冒険者…なのだが、実は冒険者家業は生活費を稼ぐためのアルバイト。国の官僚になる為に日々勉学に精を出す苦学生だった。後に、試験に合格し念願の官僚になる。

expression

## Pick Up

### 「…苦労してるんだな」by.アヴィン

官僚になる為、アルバイトとして冒険者稼業を営んでいたマーティ。知り合いから「苦学生」と労わられるなど、生活面で苦労していたようだ。自ら「ロゼ以外のことならなんでも相談に乗るけど」と口にするほど懐が厳しいはずなのに、彼の行動は逆をいく。ギルドの仕事でアヴィン達に助けられると、その度に報酬を譲ろうとしたり折半を申し出る。気前が良く律儀。しかも、知り合って間もないアヴィン達を気にかけたり､街では子供に勉強を教えたりなど、勉強時間を割いている。面倒見も良い。自分からしょいこむタイプらしい。そして、そんな彼が物語の最中、めでたく大臣試験に合格。王家に仕える身として初仕事…ミューズの副官になる。秘書、護衛、情報収集係、お目付役など、言わばよろず奉仕だ。今までの、そしてこれからの苦労が目に浮かぶのか、マーティはため息をもらす。しかし、なるべくしてなったかのようなその姿はよく似合っていた。

## Profile

名前：マーティ
年齢：24歳
出身：エル・フィルディン　出身地不明
職業：冒険者兼貧乏学生
性格：温厚、頭脳明晰、ややドジ
設定：上級官吏登用試験に挑戦中
冒険者家業はアルバイト
魔法大学校の卒業生
本番に弱い
押しの強い人間には弱い

# ダグラス

## 迅雷のダグラスの異名を持つ凄腕の冒険者

トップクラスの冒険者で「迅雷のダグラス」の名で知られる剣士だが、それに傲る事なく、気さくで義理堅く人情味溢れる人物。ひょんな事から出会ったアヴィン達の兄貴分的な存在になる。

**Profile**

名前：ダグラス
年齢：28歳
出身：エル・フィルディン 出身地不明
職業：冒険者
性格：義理堅い、三枚目、気さく
設定：「迅雷のダグラス」という異名を持つ
21歳でギルドに入る
剣聖カストルが師
"雷光剣" を持つ
ルキアスは妹弟子（ダグラス談）

**Pick Up**

### 雷光剣に込められた想い

7年前、ダグラスは「自分の力を試したい」と師の元を去り冒険者ギルドに入った。音信不通で2年が経ち、その後、病に倒れたカストルの前にダグラスは現れて形見として雷光剣を譲り受けている。しかし、師の想いが込められた雷光剣はダグラスにとって重過ぎるものだった。力を養い、時が至るまで使わない、という掟をダグラスは心に作った。それから5年経ち、トップクラスの冒険者として名を馳せた後でも雷光剣が使われる事はなかった。その勝手ともとれる行動は、妹弟子のルキアスには許せないものだった。「…いつ、その時が来るんだい？」。そう問う彼女に「アヴィンの旅を手伝うことでその時を見出せそうな予感がしているんだ」とダグラスは答えた。そして、それが現実になる。アヴィン達の加勢の為、オクトゥムの使徒の本拠地であるカテドラールへ現れたダグラスの手の中には、雷光剣が握られていたのである。

# ルキアス

## 常に己を鍛え修練の中に身を置く “サファイア・アイ・ルキアス”

ダグラスと同じ師を持つ女剣士。「サファイア・アイ・ルキアス」と呼ばれる知名度の高い冒険者で、居合い抜きの達人で風の精霊魔法の使い手。自分に厳しく日々の鍛錬はかかさない努力家。

expression

pose

### Pick Up

#### ルキアスの体験を元に作られた物語

売れっ子作家カラムロ・カラムスの作品の1つに「女剣士サフィー」という物語がある。主人公はサファイアのようなブルーの瞳を持つ女剣士。彼女のレイピアは風よりも捕らえにくく、太陽の存在よりも確実だった。この主人公のモデルがルキアスである。まだ駆け出しの冒険者だった頃、偶然出会ったカラムロにせがまれて自身の体験を話した。それが元に作られたのが「女剣士サフィー」なのだ。この物語は国中で大ヒットを記録し、ルキアスは否応なく有名人になった。しかし、当の本人は物語の主人公と自分が混同される事にうんざりした様子だった。

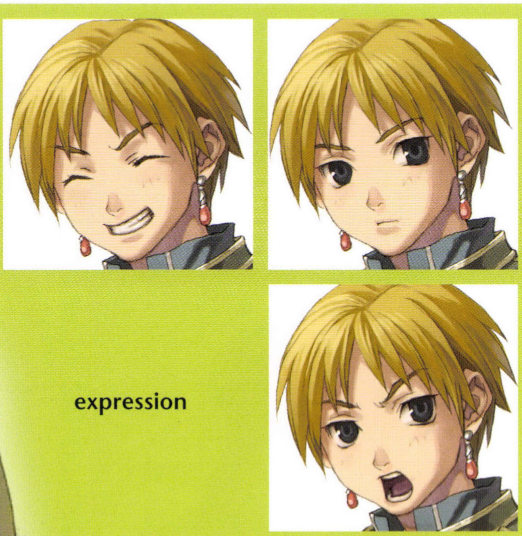
**Profile**

名前：ルキアス
年齢：23歳
出身：エル・フィルディン　出身地不明
職業：冒険者
性格：ストイック、生真面目、優しい
設定：「サファイア・アイ・ルキアス」と呼ばれる冒険者
小説「女剣士サフィー」のモデル
居合い抜きの達人
風の精霊の使い手
ダグラスを嫌っている？

# ラエル

## 無邪気でいたずら大好き
## 自他共に認める天才少年魔法使い？

魔法大学校の生徒。幼いながらも大人顔向けの魔法の才能の持ち主。特に努力をしないでも強力な魔法が扱えるので自信過剰になりがち。無邪気な悪戯好きで、年相応な子供らしい性格をしている。



expression

### Pick Up

#### 大魔法使いの卵

『朱紅い雫』で魔法使いと言えばまず思い浮かぶのがミッシェルである。しかし、実はラエル少年も相当な使い手であった。エル・フィルディン唯一の魔法を専門的に教えている魔法大学校の生徒で、幼いながらも実力から入学を許可されている特待生のような存在なのだ。「おいら天才だからね☆」と自画自賛するも、それはあながち嘘ではない。神聖文字が読める、危ういながらも『生命の書』を使うなど実力は本物。しかし、その大きな力に見合う心の強さはまだまだ未熟で、事あるごとにエレノア先生に心配をかけていた。

**Profile**

名前：ラエル
年齢：13歳
出身：エル・フィルディン　出身地不明
職業：魔法大学校の生徒
性格：やんちゃ、自信家、無邪気
設定：魔法の天才
　　　授業はさぼり気味
　　　「おやつはプティング！」が呪文
　　　ルカとは親友
　　　いたずらが大好き

# 精霊魔法に詳しい 魔法大学校の心優しい女性教師

# エレノア

魔法大学校の教師。古代の精霊魔法における研究では第一人者で、自身も水の精霊魔法を使いこなす。優しく母性に溢れた性格で、全てを慈しむような瞳をしている。ラエルの保護者的存在。

expression

## Pick Up

### マイペースなエレノア先生

エレノアはラエルを追い、ギアの街を捜し回っていた時にアヴィン達と出会う。まるで追いかけっこをする様な2人組にアヴィン達は不思議顔。実は先生と生徒の間柄でエレノアは教師兼、古代精霊魔法研究における第一人者。神聖文字にも詳しく、ラエル曰く頼りになる存在だ。その頭脳はシャムシール団に狙われるほど。度胸もあり、ファティマに誘拐されそうになった時には躊躇なく断りの態度をとる。そんなしっかり者の先生だが逆にしっかりし過ぎたのか、アヴィンに「ちょっと先生、正直すぎるって…」と言われるほどの融通の利かない一面も見せていた。

**Profile**

名前：エレノア
年齢：26歳
出身：エル・フィルディン　出身地不明
職業：魔法大学校の教師
性格：生真面目、母性的、頑固
設定：古代の精霊魔法研究の第一人者
神聖文字に詳しい
ラエルの保護者的存在
水の精霊魔法の使い手
融通がきかない

# コンロッド

## 男爵の治めるバロアの港町が 兄妹の再会を結びつける

バロアの領主を務める男爵。男爵家は代々、バロアの港と銀鉱山を守る指令を与えられており、先代の名を恥じないよう、力を尽くしている。市民からの信頼は厚く平和な街を築いている。

expression

**Profile**

名前：コンロッド
年齢：32歳
出身：エル・フィルディン　ボレアス地方バロア
職業：領主
性格：勇敢、さわやか、常識的
設定：男爵
港、銀鉱山の管理をしている
愛妻家
地の精霊魔法を操る
街の人々からの信頼は厚い

**Pick Up**

### 皆の憧れの夫婦

男爵家は代々バロアの街と銀鉱山を守る使命を与えられている。コンロッドはそれをまっとうしようと、日々尽力している。まだ若いながらも堂々とした風格と誠実さから街の人々から慕われ、皆の憧れの存在となっている。その彼を支えているのが良妻のテレサ。テレサ自身の評判もとても良く、本物のレディーとして誰からも愛されている。また、子供と一緒にかくれんぼで遊んであげるなど、気さくな一面も持つ。コンロッドはそんな妻を愛し、テレサもコンロッドを支える、という『朱紅い雫』いちの素敵な夫婦なのだ。

# ミッシェル

## 単身でガガーブを越えてやってきた 強大な魔力を持つ不思議な異邦人

ティラスイールからガガーブを越えてやってきた魔道師。この歳にして大魔法使いと呼べる能力を持つ。エル・フィルディンでの事件を世界全ての危機と考え、アヴィン達に協力を申し出る。

expression

pose

**Pick Up**

### 敵じゃなくて良かったミッシェルさん

ガガーブトリロジー3作品全てに登場しているミッシェルさん。『朱紅い雫』ではエル・フィルディンに転移魔法でやってきた異邦人として描かれている。ミッシェルの魔法力の凄まじさに改めて驚かされるのだが、アヴィン達から信頼を得られるまでの過程が面白い。真実の島ではアヴィンとルティスに不審な目で見られ、海で漂流中に再会した時なども、正体を怪しまれ「ちょ、ちょっと…かばってくれるのなら最後までお願いしますよ」と言う、珍しい姿を見る事が出来るのだ。しかし最終戦付近で敵に追いつめられた時など、皆を先に行かせて自分は残り、「本気を出す必要がありそうだ」とビシッときめる。アヴィンがマイルを捜して冥府門に入った時には、2人の帰りを待ち望む皆が、熱い思いを叫ぶのに対してミッシェルだけ無言。その割にはアヴィンとマイルが戻る直前、誰よりも先に2人の存在を察知。「やりましたね」と満足気に呟いていた。

**Profile**

名前：ミッシェル・ド・ラップ・ヘブン
年齢：28歳
出身：ティラスイール　出身地不明
職業：魔道師
性格：冷静、マイペース、博識
設定：エル・フィルディンにはない訛りで話す
極めて行動的
常に余力がある
誰に対しても礼儀正しく敬語で話す
転移魔法が使える

## マドラム

神出鬼没の暗殺者で、自らを「亡霊」「光と闇に仇なす者」と表す。15年前、ドゥルガーの娘となった幼なじみのドミニクを守りきれず、死なせてしまう。以来、神々を崇拝するふたつの宗教に疑問を持ち、修羅の道を歩む事に。火の精霊ザールの祠の護人でもある。年齢は36歳。

◀ボルゲイドがドミニクを殺害した張本人だった事が判明。マドラムはドニニクに贈るはずだった、真紅の炎が装飾された指輪を使い、ボルゲイドを道連れにする

expression

## オレシア

ベネキア修道院の院長。昔、カテドラールで幼いアヴィンとアイメルの面倒を見ており、オクトゥムの使徒の襲撃の際にその場に居合わせ、2人を必死に守ろうとした。亡きドミニクの親友でマドラムとも友人だった。聡明で心の強い女性。

expression

expression

【若き時代】

## エスペリウス

かつてバルドゥス教会の最高導師だった人物。カテドラールがオクトゥムの使徒に襲撃された時、命を落とす。

expression

## レミュラス

エル・フィルディン三賢者の1人で、"慈愛の賢者"と称される。アヴィンの親代わり。地の精霊ネフティスの祠の護人。

## ディナーケン

エル・フィルディン三賢者の1人で、"知恵の賢者"と称される。プレアウッドの館に隠居している偉大な学者。

## アバリス大神官

表向きは神官として職務をするも、その性質は金の亡者。ドミニクが命を落とす原因を作り、そのためにマドラムから命を狙われている。

## クロワール

エスペリウスの跡を継いだバルドゥス教会の最高導師。長年に渡るオクトゥムの使徒との戦いに疑問を抱いている。

## ミリガン16世

ミューズの父親でエル・フィルディンを統治している。フルネームはミリガン・ノルド・エル・フィルディニア。

## ディレン将軍

王軍を指揮する司令官。ミューズのわがままに常に悩まされているが、かなりの実力者で将軍自身の知名度も高い。

expression

## カラムロ・カラムス

売れっ子作家。小説「女剣士サフィー」の作者でもある。現在はアヴィンの体験を元に「疾風のラヴィン」を執筆しているとか。

## レイトル

ガーデンヒルに住む行者。風の精霊イドゥンの祠の護人で、イドゥンとの対話を日課としている。

## リタ

キト村に住む小さな女の子。水の精霊スコティアの祠の護人でもある。ジミーと仲良しになる。天真爛漫で無邪気。

## ジミー

生まれつき透明になる魔法を使える少年。身よりもなく厳しい生活をしていた為に手クセが悪い。

expression

## ファティマ

盗賊シャムシール団の女首領。陽動作戦を得意とし、何度もアヴィン達を罠に陥れようとする。

expression

## バスター

ルティスの部下で粗暴な斧使い。オクトゥムの使徒ではあるが、根本的に金や権力に目がない俗な人間。

expression

## 邪神官ボルゲイド

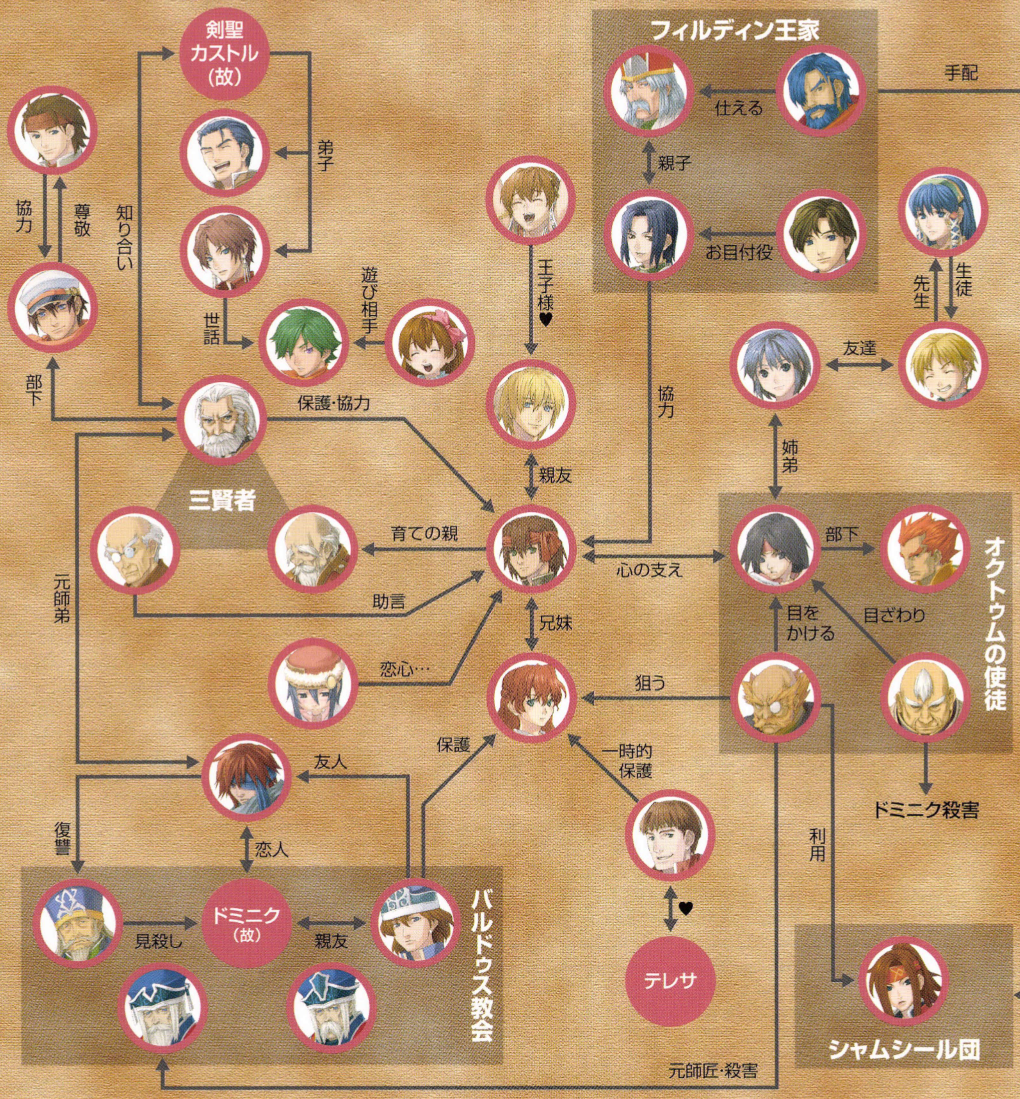
ベリアス卿に次ぐ実力を持った邪悪な魔法使い。非道な性格で、数々の悪行に身を染めている。炎の魔法を得意とする。

## ベリアス卿

オクトゥムの使徒を束ねる神官。ドゥルガーの娘であるアイメルを使い、オクトゥムを復活させて“世界を救うための浄化”を実行しようとしている。かつてはエスペリウスの愛弟子で、次期最高導師として期待されていたが、真実の島で啓示を受けたのを境に、オクトゥムの使徒に身を投じた。

▲ベリアス卿が見た啓示は、世界そのものを消し去ってしまうほどの大いなる災厄だった。ガガーブの二の舞にならないために、オクトゥム復活を目論んだのである

# 朱紅い雫 人物相関図



剣聖カストル(故)
弟子
協力
尊敬
知り合い
世話
遊び相手
部下
保護・協力
フィルディン王家
仕える
親子
お目付役
手配
王子様♥
協力
生徒
先生
友達
姉弟
親友
三賢者
育ての親
心の支え
部下
オクトゥムの使徒
助言
元師弟
目をかける
目ざわり
兄妹
恋心…
狙う
保護
一時的保護
友人
ドミニク殺害
復讐
恋人
利用
ドミニク(故)
見殺し
親友
バルドゥス教会
♥
テレサ
シャムシール団
元師匠・殺害

精霊との関係図
精霊神ドゥルガー
豊穣たる地のネフティス
麗しき水のスコティア
優しき風のイドゥン
猛き炎のザール

## 朱紅い雫　オープニングアニメーション

アイメル…マイル……俺は…
どこに行けばいいんだ…。
情けなくてもいいじゃないか。
貴様のゴタクを聞きに来たんじゃない…
アイメルとマイルを返してもらおうか!
Phildin
…お兄ちゃん。
Vertex

# Story Digest

ストーリーダイジェスト

## プロローグ

**Story** 孤児のアヴィンとアイメルは、バルドゥス教の最高導師エスペリウスに保護され、聖地カテドラールで平穏な日々を過ごしていた。しかし、ベリアス卿率いるオクトゥムの使徒の襲撃を受け、カテドラールは陥落。エスペリウスはベリアス卿の手にかかり、アイメルとはぐれたアヴィンは、賢者ガウェインに連れられ、東の地へ逃れていった。

王都フィルディンより南東にある小さな農村、ウルト村。その外れの見晴らし小屋に住む賢者レミュラスの元にアヴィンは預けられた。最愛の妹を守ることができず、行方すらわからない…深い心の傷を負ったアヴィンだったが、ウルト村の少年マイルとの交流によって元気を取り戻していく。村の収穫祭をきっかけに親友となったアヴィンとマイルはレミュラスの教えを受けながら健やかに成長した。

やがて時は過ぎ、アヴィンが17歳を迎えた春に、レミュラスは静かに息を引き取った。そしてアヴィンは——。

### EVENT

「ありがとう…
アイメルのわがまま、聞いてくれて…」

先生達の目を盗んで拾ってきた子猫を飼おうとするアヴィンとアイメル。アイメルは真っ白い子猫にミミと名付け可愛がる。自分達だけで面倒がみれるか不安になるが、アヴィンはめったにない妹のお願いに「これくらい叶えてやらないとガウェインのおっちゃんに怒られちゃうよ」と強がってみせる。

### EVENT

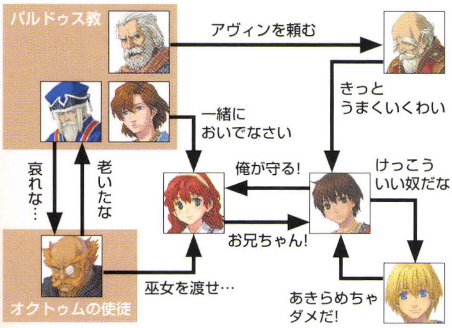
「バルドゥスの力、笑止なり。
これが本当の力というものだ」

オクトゥムの使徒を率いて教会を襲撃したベリアス卿の前に、最高導師エスペリウスが立ち塞がる。エスペリウスは身を挺してアヴィンとアイメルを逃がすが、ベリアス卿との力の差は歴然だった。ベリアス卿はかつての恩師にためらいもなくとどめの一撃を放った。

### EVENT

「ネフティス様、お願い!
アヴィンが、アイメルに
会えますように!」

アヴィンがアイメルに会いたいと願いを込めて流したお札はネフティスの淵の中心に行かず沈んでしまう。再会を諦めかけたアヴィンを元気づけようと、マイルは自分のお札を使って再会を祈った。




### WORDS

**■エル・フィルディンの信仰**

創世記において闇の神と争った光の神バルドゥスを主神として教義を確立したバルドゥス教会。この教えはエル・フィルディンの人々の生活に深く根ざしている。対して闇の神オクトゥムを奉じる秘密結社が存在し、ふたつの勢力は数百年に渡って対立している。オクトゥムの使徒を従えるベリアス卿は、かつては最高導師エスペリウスの弟子で次期最高導師として期待される優秀な神官だったが、ある出来事を境に失踪し、闇の勢力の指導者となった。

**■ウルト村の収穫祭**

エル・フィルディンの人々は、その地方に根付く精霊に毎年の恵みを感謝する祭りを催す風習がある。マイルの故郷、ウルト村には大地の精霊ネフティスの祠があり、村人たちはお札を祠につながる川に流して願い事を祈願する。このお札は賢者レミュラスが作ったものである。

# 第1部　王都の冒険者

**Story**　レミュラスは“バルドゥスの頭”とも呼ばれる神宝カベッサをアヴィンに託すと、プレアウッドにいる賢者ディナーケンに会い、アイメルを捜して守り抜くための教えを請うようにと言葉を遺していた。

マイルと一緒に村を出ようとするアヴィンだったが、長老やマイルの両親に猛反対されてしまう。ふたりは実力を示すため、王都への街道に出没する手配魔獣の退治に向かうことにした。そこで知り合った冒険者マーティと協力して魔獣を倒したアヴィンとマイルは長老たちに精一杯の気持ちを伝えて許しを得る。2人は村のみんなに見送られながら王都を目指して旅立った。

だが、この時期の王都フィルディンはシャムシール団という盗賊の出没で治安が悪くなっており、プレアウッドへ向かう街道は封鎖されて一般人は通行禁止となっていた。2人は今後のことも考え、冒険者になることを決意する。

冒険者ギルドのマイスターは認定試験として3つの依頼を課題としてこなすことを求めてきた。ひとつめの課題、喜捨集めを終えて、次の課題、川に落としたぬいぐるみ探しで地下水道に入ったふたりは、やたらと高慢な謎の美女ミューズと出会う。最後の課題はお目付役としてマーティが同行することとなり、3人は宝石採掘所の魔獣退治に向かった。

すると、ミューズがシャムシール団に取り囲まれているのを見つけて救出する。強引に仲間に加わったミューズと共に魔獣を退治して帰還したアヴィンとマイルは晴れて冒険者として認定された。

## EVENT

### 「僕が思うに問題になっているのは靴下の匂いにおける考察ではなくてですね。夫婦間の家事分担における…」

近所迷惑な怒鳴り声で大喧嘩を繰り広げる夫婦の仲裁を依頼されたマーティ。あまりに庶民的すぎるギルドの依頼に呆れるアヴィンとマイルが見守るなか、必死の説得を試みるが聞く耳を持たない夫婦に翻弄されっぱなしになってしまう。

## EVENT

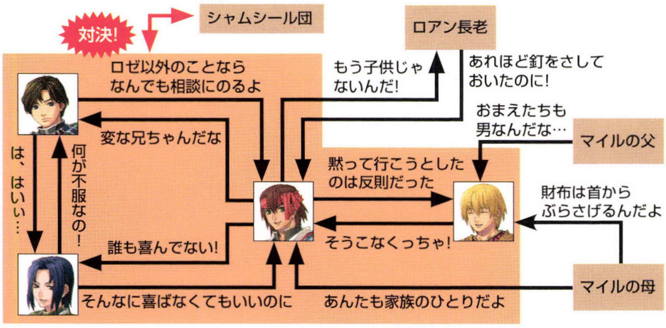
### 「ギルドに苦情を言われたらどうするのさ? 試験に落ちたら冒険者にはなれなくなるんだよ」

冒険者認定試験の最初の課題、教会の喜捨集めを終えた2人。ところが守銭奴の教区長の横柄な態度にアヴィンはたちまち頭に血を上らせてしまう。マイルに厳しく諭されて反省するが、まさしくこれが理不尽なことへの忍耐力を試された試験だったことをあとから知らされる。

## EVENT

### 「ゲラゲラ笑いながら走ってるからこんなことになるんだよ!」

女の子が川に落としたぬいぐるみを探して地下水路に入ると通路の奥から人の声がすることに気付く。アヴィンが耳をすましていると、高笑いをしながら器用に後ろ向きに走ってきたミューズと衝突してしまう。お互いに気の短い2人はたちまち口論になるが、ミューズは追っ手に気付くと、急いでその場を去っていった。




## WORDS

**■護りの鈴**

マイルが旅立ちの際に父親からもらった美しい音色の鈴。父も同じようにマイルの祖父からもらった。どんな時も思いやりを忘れず、仲間を大切にするようにとの想いが込められている。

**■冒険者ギルド**

エル・フィルディンにはフィルディン王家の王軍、バルドゥス教会の僧兵団、そして冒険者ギルドの3つの治安組織がある。軍隊としての王軍と僧兵団に対し、冒険者ギルドは自警団の役割を担っている。ギルドはそれぞれの街に支部を置き、腕に覚えのある民間人を冒険者として雇い、民間レベルのトラブルの解決に努めている。

## ■ 第1部　王都の冒険者 ■

**Story**　世話になったミューズの護衛という形で4人がチブリへ向かうと、村はシャムシール団によって占拠されていた。アヴィンたちは王軍と協力して村人を解放するが、シャムシール団は村娘シャノンを人質に連れて逃げてしまった。この付近で盗賊連中が潜伏できるのはジジキ洞窟ぐらいだと予想できたが、うかつに軍が動くと人質の命が危ない。アヴィン達4人が洞窟へと潜入し、盗賊達を撃退、首領のファティマには逃がしたが、シャノンは無事救出された。

マーティたちと別れ、ディナーケンの館を訪ねたアヴィンはレミュラスの死を伝えると共に神宝カベッサを引き渡す。そして、アイメルはバルドゥス教会でも極秘扱いの“精霊神ドゥルガーの娘”と呼ばれる存在で、そのために闇の勢力に狙われていると説明される。ディナーケンは闇の勢力と関わることの危険さ、アヴィンが探し求めることでアイメルの所在が彼らに知れてしまう恐れがあると語った。覚悟の足りなさを反省したアヴィンだが、再度の説得を決意して館をあとにする。

だが、チブリ村へ帰る途中で遭遇した黒髪の少女と怪しげな男の2人組がカベッサを要求してきた。黒髪の少女の束縛魔法で気絶したアヴィンとマイルはディナーケンの危機を察して再び館へと乗り込む。ディナーケンに詰め寄る男と剣を交えたアヴィンは、少女の束縛魔法もマイルとのコンビネーションで打ち破った。2人組が逃げ去ったあと、アヴィンの決意のほどを知ったディナーケンは、創世から続く光と闇の争いの歴史――バルドゥス教に対立するオクトゥムの使徒の存在を語り、彼らが精霊神の巫女たるアイメルを欲していることを教えた。アイメルを捜し出し、聖地ヴァルクドを目指すよう導きを受けたアヴィンは、再び神宝カベッサを託され旅立つ。

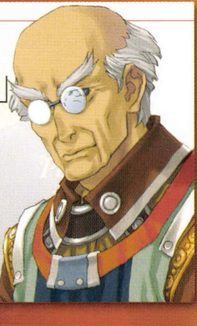
**EVENT**

「ああ、本当に来てくださるなんて！
シャノンは、とっても幸せですわっ！」

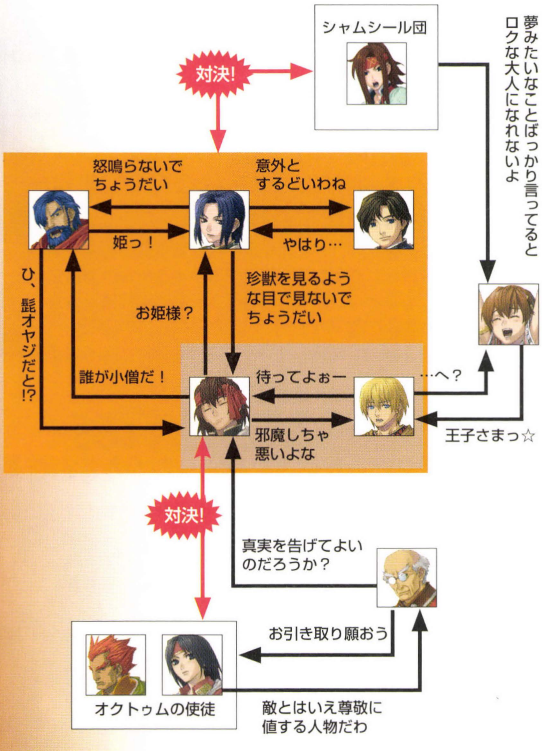
盗賊団に囚われて人質にされている間、悲劇のヒロイン気分に浸りっぱなしのシャノン。助け起こしてくれたマイルにたちまち一目惚れしてしまう。すっかりしらけてしまったアヴィン達は、困り果てるマイルを置いてジジキ洞窟をあとにするのだった。

**EVENT**

「レミュラス殿がうらやましい。
いい弟子に恵まれたようだな…」



アイメルを捜すことは闇の組織と関わる危険も大きくなると厳しい態度をとったディナーケンだが、アヴィンの妹への純粋な想いを知り真実を告げる。そして、アイメルを見つけたら聖都ヴァルクドに行き、最高導師クロワールの助力を求めるようにと忠告した。




**WORDS**

**■ドゥルガーの娘**

世界に大地を創り、多くの生命を育んだ精霊たちを統べる存在、それが精霊神ドゥルガーである。今は眠りについているとされるが、バルドゥス教会とオクトゥムの使徒の間では、精霊神の代理人となり奇蹟を起こす役割を与えられた巫女“ドゥルガーの娘”の存在が信じられている。

# 第2部　遠い面影を求めて

**Story**　王都を北上し、旅を続けるアヴィンとマイルは凄腕の冒険者ダグラスと知り合う。ダグラスの持つ雷光剣がもとで、イドゥン祭りの格闘試合で戦うことになったりと、色々な騒動の末、ダグラスはアイメル捜しの旅に同行してくれることとなる。

木霊の森で聖獣ミーファをかばって猟師たちに抵抗している少女アルチェムと出会ったアヴィンは、ミーファ狩りを推奨するアバリス大神官に抗議するため、ベネキア修道院を訪ねる。そこでオレシアと再会し、つい先日までアイメルがここで暮らしていたことを知る。希望を見出し、アイメルの足取りを追うアヴィンだが、ミーファ狩りが原因でニューボルンの街が瘴気に覆われてしまう。ミーファ達を救出し、街の空気を浄化した一行が、アバリスを問いつめようと修道院に戻ると、そこにはアバリスの命を狙うマドラムの姿があった。

**EVENT**

「実は僕…
姉さんを捜してるんです」

格闘試合を控えたアヴィンとマイルは行方知れずの姉を捜す少年ルカと知り合った。他人事とは思えないアヴィンは、街での聞き込みを手伝う。結局、何も情報は得られなかったが、ルカは感謝しながら、ギアに帰っていった。

**EVENT**

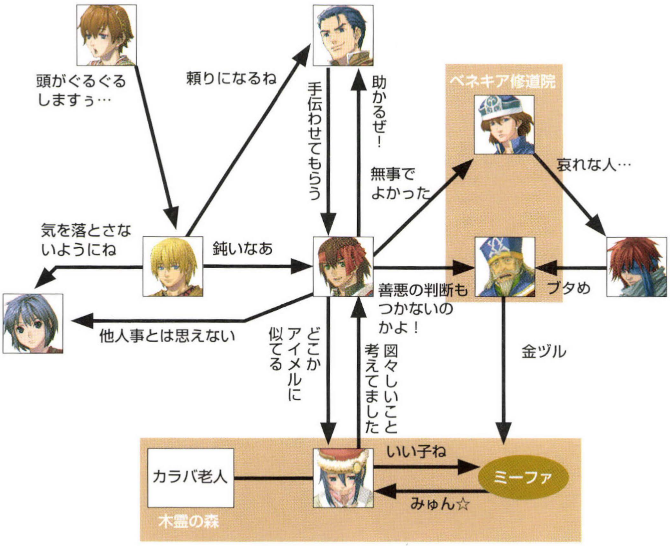
「俺は28だ！　お前たちよりも、
ひと回り年上だろうが！」

不運から格闘試合に敗れ、意固地になって雷光剣を受け取ろうとしないダグラスは、小僧扱いされて怒ったアヴィンと口論になる。すると穏和なマイルがめずらしく声を荒げて2人に説教を始め、ぐうの音も出ないほど反省させられてしまう。

**EVENT**

「思った通り、お前は最低のブタだ。
これで、心置きなく冥土に送れる」

15年前の亡霊と名乗り、アバリスに詰め寄るマドラム。駆けつけたダグラスと一触即発の状況となるが、それを制止したのはオレシアだった。気分を削がれたマドラムはその場を去っていく。



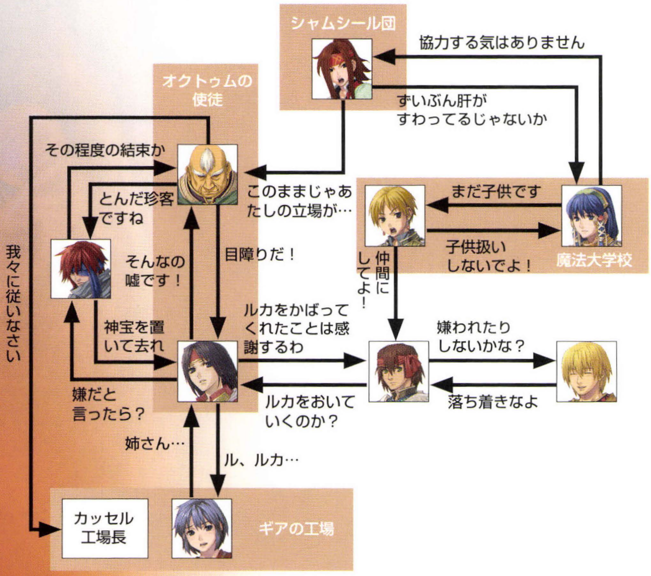
**Story** ギアの街に着いたアヴィンにアイメルからの手紙が届けられる。しかし、それはルティスの仕掛けた罠だった。睡眠薬で眠らされてカベッサを奪われそうになるが、それを阻んだのは意外な人物、マドラムだった。さらに、そこへルカが現れ、弟に顔を合わせられないルティスは逃げ去っていった。

介抱されたアヴィンはアイメルの足取りを追ってコルナ村の氷の神殿を訪ねる。一緒についてきたラエルの魔法によって、壊れたご神体の中から1冊の本が見つかった。それは、シャムシール団が求めている"生命の書"だった。この生命の書をめぐり騒動が勃発、本はオクトゥムの使徒に奪われ、さらにギアの街は邪悪な魔道師ボルゲイドの手によって火の海に沈む危機を迎える。

## EVENT

「な、なあ…。こういう時って、
花でも買って行けばいいのか？
薄汚れた衣装で嫌われたりしないかな？」

突然届けられたアイメルからの手紙を読んで胸をときめかせるアヴィン。気が動転しておろおろするばかりのアヴィンをマイルが冷静にたしなめる。




## EVENT

「この『生命の書』を使いこなして
おいらの実力を、
みんなに証明してやるんだから！」

使役魔法で犬を操って村人にいたずらするラエル。エレノアが懸命に説得するが、生命の書の魔力に魅せられたラエルの耳には届かなかった。だが、そこへ現れたオクトゥムの使徒がラエルを殴り倒し、本を奪い去ってしまう。

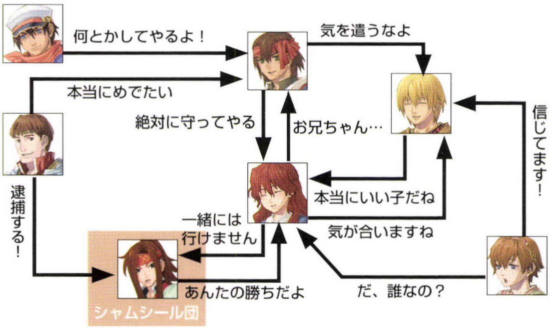
## EVENT

「う、うそ…そんなの嘘です！
ベリアス様が、そんなこと言うはずありません！」

傷ついたルカを前にして動揺するルティス。邪神官ボルゲイドに、自分の甘さを断ち切るため、弟を殺してよいとベリアス卿から命令されていると告げられて強いショックを受ける。

## ■ 第2部　遠い面影を求める ■

**Story**　バロアの港町でアヴィンはついにアイメルとの再会を果たした。穏やかな時間を過ごし、アイメルの背負った宿命を知ったアヴィンは決意を新たにして聖都ヴァルクドをめざす。しかし、幸せな時間は長く続かなかった。アヴィンは突如現れたベリアス卿に為す術なく倒され、マイルは致命傷を負ってしまう。ヴァルクドで目覚めたアヴィンはガウェインからアイメルが連れ去られたこととマイルの死を告げられて絶望にうちひしがれた。
　そして、希望を見失ったアヴィンはマドラムに進むべき道を指し示される。アイメルが囚われたカテドラールへ行くにはベリアス卿の張った結界を破らなければならない。そのために必要な残りの神宝を集めるため、ガウェイン、ルティスと共に真実の島へ向かうのだった。




**EVENT**

「父さんと…約束したんだ…
大切な人たちを…
命がけで守るって…」

アイメルをかばい、ベリアス卿に立ち向かうマイル。ベリアス卿はその魂の輝きに感嘆の声をあげるが、容赦なく力を放つ。岩盤に叩きつけられたマイルは血だまりに沈んでいった。

**EVENT**

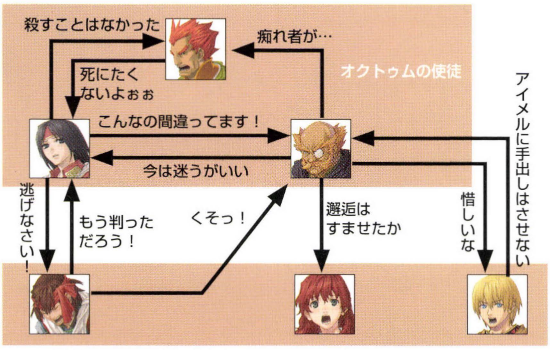
「一緒にいたら、きっと私の運命に巻き込んでしまう。
だから、お兄ちゃんと会うのは諦めたつもりだった」

ドゥルガーとの邂逅を語ったアイメルは、兄を巻き込んでしまったことを謝る。アヴィンはそんなアイメルの頭を撫でながら、自分がそうしたいと思うから、負い目など感じる必要はないと伝える。

**EVENT**

「それでお前は、
妹を助けずにこんなところで
一体なにをしているのだ？」

獄中のアバリスを仕留めようと現れたマドラムはアヴィンの妹がドゥルガーの娘であると知ると、気が変わったと剣を収める。そして、アヴィンが教会を抜け出すのを手伝い、オクトゥムの使徒たちの拠点となるカテドラールを指し示した。




**WORDS**

**■真実の島**

　セータの北、ドークスの沖合いにある島には古代文明の遺産が残されており、遺跡の最奥にある祭壇では、時折不思議な光景を見ることができる。それは何らかの啓示であることが多い。

# 第3部　絆の行方

**Story**　真実の島で受けた啓示を最高導師クロワールに報告したところ、全ての神宝に加え、神の力を宿すための白銀の剣が必要だと分かる。ガウェインはレアメタル製の剣の製造を依頼するためギアに向かい、アヴィンとルティスは神宝のある四精霊の祠を目指して旅立つ。再会したダグラスと、その同門で“サファイア・アイ”の名で知られるルキアスを仲間に加え、水の精霊の祠があるキト村を訪れた一行は、ボルゲイドによって魔獣の姿に変えられた精霊スコティアと戦うことになる。スコティアの呪縛を解きはなったアヴィンは、神宝と共に精霊を使役する力を授けられた。各地で魔獣が大量発生し、聖都の防衛のために残るダグラスと別れた3人は定期船に乗り、ボレアス地方へ向かった。

**EVENT**

「くそ～っ！　離せよ、ルキアス！
これが命の恩人に対する仕打ちかよ！」

プレゴン洞窟でアヴィンたちの窮地を救ったジミーだったが、ルキアスに何かお宝を盗んだことを指摘されて、姿を消して逃げようとする。だが、動きを見切ったルキアスは気配だけを察して捕まえてみせる。

**EVENT**

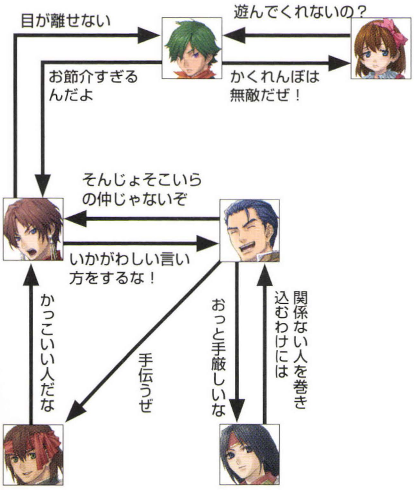
「いい度胸だねぇ…
自慢のオールバックの髪を
盆栽みたいにカットして欲しいのかい？」

モス湖に出現する魔獣の対策に派遣された冒険者としてキト村にやってきたルキアスと再会する。ダグラスが本当は俺に会いにきたんだろうと軽口を叩くと、ルキアスの表情はしかめっ面から殺気だった冷たい眼差しに変わる。

**EVENT**

「打ち合いじゃなかったら、
俺が負けてただろう。
しかし、賭けは俺の勝ちだな」

ルキアスは修行の成果を見せるといってダグラスに勝負を挑む。雷光剣を賭けたダグラスは、自分が勝ったらアヴィンの力になってほしいと頼んだ。互いに一歩ずつ間合いを詰め、周囲の空気に緊張が走った次の瞬間、2人の剣が交差する。一合のみの真剣勝負で膝をついたのはルキアスの方だった。




**WORDS**

**■護人（まもりびと）**

各地にある精霊の祠の入り口は特殊な結界で守られて何人たりとも立ち入ることはできない。その入り口を開くことができる資格も持った者が護人である。太古の時代に精霊と契約を結んだ護人の力は血筋で受け継がれていった。現在に至るまでにその風習は廃れ、資格を持つ子孫もほとんど力を失っているとされている。

**EVENT**

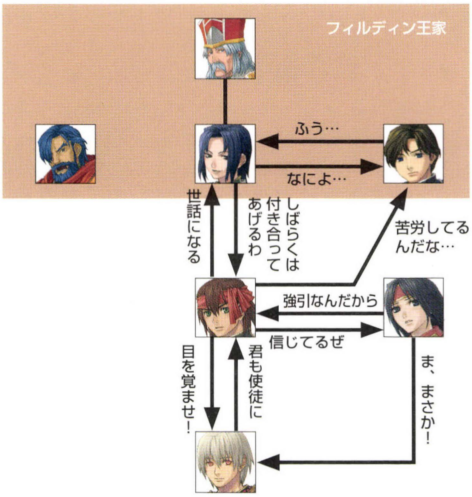
「こんな時は、わが身の出自を呪うことがある。
男爵家に生まれていなければ…
いやせめてバロアの領主でなかったら…」

これまでのことをコンロッド男爵とテレサ夫人に報告すると、男爵は自分の受け持った使命があるために アヴィンの手助けができないことを嘆く。アヴィンはその気持ちだけで充分だと男爵に語った。

**EVENT**

「あああああ…お前…
やっぱり…死んで…」

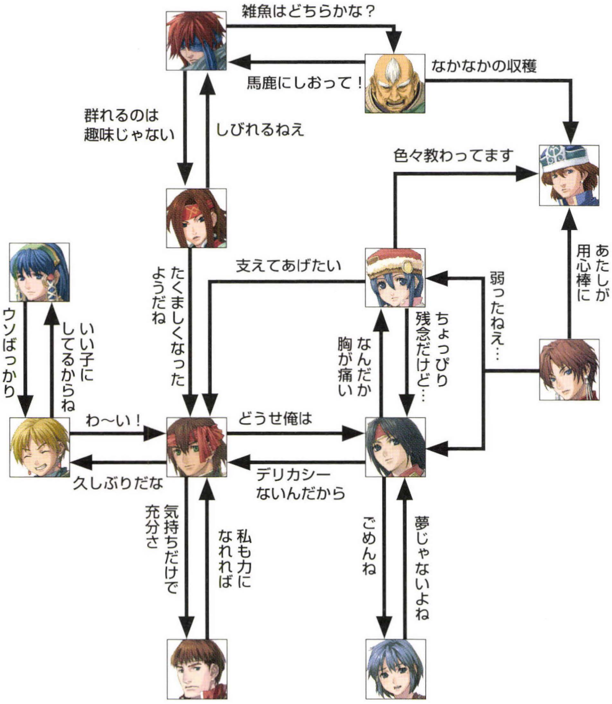
冥府をさまようアヴィンはエスペリウスやレミュラスの魂と対話する。この世を去った者たちが現れては消え、最後に姿を見せたのはマイルだった。信じたくない事実に激昂するアヴィンに優しく語りかけるマイルだが、突然苦しみ出すと姿を消してしまう。




**EVENT**

「…今のアヴィンさんに必要なのは
夜空にあって輝く月のような人だと思うんです」

別れに際してルティスに秘密の相談を持ちかけたアルチェムは、アヴィンに対する想いを正直に打ち明けた。そのうえで、自分よりもルティスの方がアヴィンの支えになることができると告げて木霊の森へ帰っていくのだった。




## Story

ギアに到着しても、弟に会うのをためらっていたルティスだったが、ギア鉱山がオクトゥムの使徒の放った魔獣によって襲撃され、坑内の人々を救助したことで、2人の姉弟はついに再会を果たした。ルカの笑顔に見送られながら出発したアヴィン達は、風の精霊の祠があるガーデンヒルへ。だが、風の精霊イドゥンもまた、魔獣に姿を変えられていた。アヴィンはアルチェムとミーファの力を借り、イドゥンを邪気から解放する。

そして、王都に向かう途中でベネキア修道院に立ち寄ると、ボルゲイドがオレシアとシュナを人質として連れ去ろうとしていた。マドラムとシャムシール団に窮地を救われて事なきを得たが、護衛のためルキアスが修道院に残ることとなる。

王都でミューズ達と再会したアヴィンは懐かしいウルト村でベリアス卿に操られた銀髪のマイルと対峙する。衝撃を受けながらも親友の生を確認できて安堵したアヴィンは地の精霊ネフティスを邪気から解放し、5つめの神宝を手にした。アヴィンとルティスは、クロワール導師の申し付けに従い、一度聖都に戻ることにした。

## 第3部　絆の行方

**Story**　クロワールからレアメタルの剣を託されたアヴィンはルティス、ガウェインと共にプラネトス号に乗って最後の祠へ。航海中に救助した漂流者ミッシェルと協力して荒れ狂う海の激流を鎮め、カナピア島に到着する。そこで待っていたのはマドラムとの決闘だった。アヴィンを倒したマドラムは神宝をすべて奪い、祠の中へ進むが、それを待ちかねていたボルゲイドが襲ってくる。炎の精霊ザールが邪気に染められるのを、アヴィン達は力を合わせて阻止しようとするが、ボルゲイドの無尽蔵な魔力に為す術を失う。傷ついたマドラムが真紅の炎を使って自爆したことでボルゲイドは滅び、アヴィン達は炎の精霊ザールと邂逅した。そして、ザールの力によって神宝とレアメタルソードがひとつとなり、バルドゥスの力を宿した神剣エリュシオンは完成する。こうして長い旅路の果てにアヴィンは、アイメルを取り戻すための力を手にしたのだった。

**EVENT**
### 「どこの世界でも人の好奇心は変わらないものかもしれませんね」

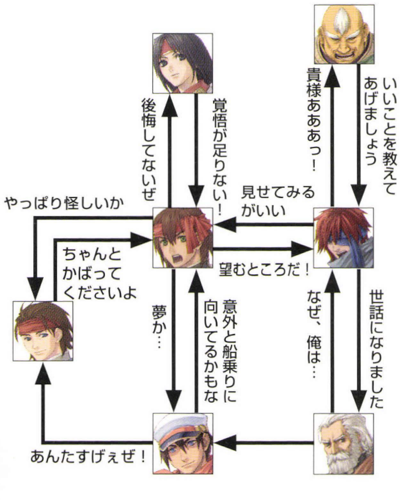
ガガーブを越えてやってきたミッシェル。彼の話を聞き、見知らぬ世界に憧れを抱いた気持ちにトーマスは共感を覚える。だが、ミッシェルがエル・フィルディンにやってきた理由はもうひとつあった。それはオクトゥムの放つ邪悪な波動を感じ取ったからだという。

**EVENT**
### 「あそこで真紅の炎を使うのをためらってたら俺がしこたま殴りつけてやったところだ」

アヴィンは土砂崩れで洞窟に閉じこめられたルティスを救うため、先へ進むために必要な真紅の炎を使ってしまう。覚悟が足りないとアヴィンを怒るルティスにガウェインは今回ばかりはアヴィンが正しいと諭し、互いに思い合ってのことと気付いたミッシェルは若い人はうらやましいと微笑んだ。

**EVENT**
### 「貴様の魔力を吸って成長したものだ…さぞかし、景気よく爆発してくれるだろうよ」

オクトゥムの力を解放したボルゲイドの強大な魔力をマドラムはその身に受けながらもじりじりと歩み寄る。たじろぐボルゲイドを羽交い締めにしたマドラムは禍々しい光を放つ真紅の炎がかつてドミニクに贈るつもりの指輪だったことを語る。




**WORDS**

**■エリュシオン**
6つの神宝とレアメタル製の白銀の剣が炎の精霊ザールによって鍛えられ、バルドゥスの力を宿す神剣となった。これがカテドラールの結界を破り、闇の神に対抗しうるたったひとつの力となる。

# 第4部　朱紅い雫

**Story**　オクトゥムの使徒の大攻勢が始まり、各地で戦いが巻き起こる中、アヴィン達は神剣の力で結界を破り、カテドラールの神殿へと乗り込んだ。一行の前に銀髪のマイルが立ちはだかるが、アヴィンの必死の呼びかけと護りの鈴の音色によってマイルは正気を取り戻す。そして駆けつけてくる仲間に助けられながら神殿の最深部に辿り着いたアヴィンはベリアス卿、闇の神オクトゥムと死闘を繰り広げる。戦いの決着がつき、ついにアイメルを取り戻すアヴィン。だが、オクトゥムが消滅することで、その力に支えられていたマイルの命も消滅してしまった。アヴィンはマイルの魂を取り戻すため、バルドゥスの開いた冥府門へと飛び込む。

## EVENT

「おお…あ、あ、あああ…うう…うう…ア……ア…ヴィ…ン…」

襲いかかってくるマイルを説得するため、アヴィンはエリュシオンをルティスに預け、必死に呼びかけを続ける。もう諦めるしかないというルティスとガウェインの言葉を無視して歩み寄るアヴィンをマイルは容赦なく攻撃した。だが、吹き飛ばされたアヴィンの懐から護りの鈴が落ち、その音色が響いたとき、マイルに変化が生じた。ミッシェルは言葉は届かなくても、音ならば心に届くかもしれないと気付く。

## EVENT

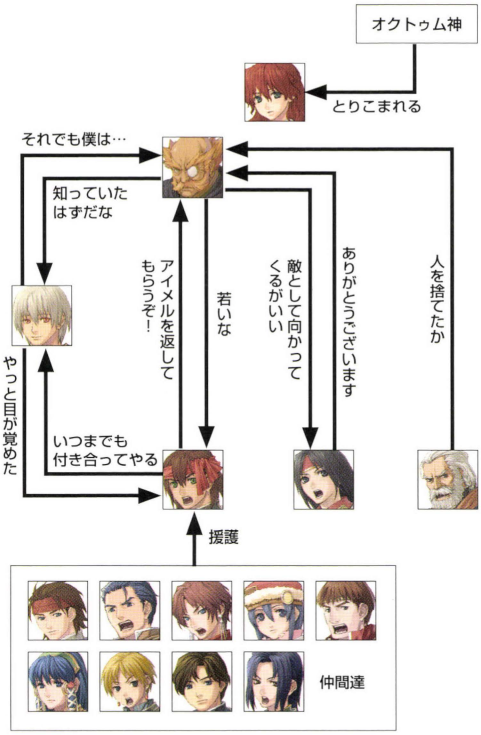
「このままだと50年…いや、10年経たぬうちに大惨事が起きる」

決戦を前に真実を明らかにするベリアス卿。真実の島で近い未来に訪れる大惨事を知ったために、オクトゥムの導きによって世界を破滅から救おうというのだ。人間の力で救える可能性を訴えるアヴィンを青臭いとせせら笑うベリアス卿に、マイルはその青臭さこそあなたにはないアヴィンの強さだと告げる。

## EVENT

「なにが…幸せなもんか！お前がいない世界にどんな幸せがあるんだ！」

ついにオクトゥムを倒したアヴィン達。だが、それはマイルとの本当の別れを意味していた。旅の最後まで一緒にいられたことに満足気な微笑みを浮かべてマイルの身体は崩れ去った。悲しみの声をあげることしかできないアヴィンだったが、バルドゥスから与えられた唯一の機会に全てを賭け、死者の世界へ飛び込んでいくのだった。




## WORDS

**■朱紅い雫**

精霊神ドゥルガーが発した言葉で、人の情熱と想いを意味する。アヴィンとマイルが冥府を抜け出せたのは仲間達の想いに導かれたおかげだった。ほんの小さな一滴が、人々の間に落ちて響き合うことで大きな流れとなり、運命をも動かし奇跡を起こす力となる。

メインビジュアル

Illustration by You Shiina

『海の檻歌』予約特典着せかえジャケット

Illustration by Minako Iwasaki

# 英雄伝説

## ガガーブトリロジー

## 海の檻歌

**美しいメロディーが人の心を洗うように、
美しい曲が涙を誘うように、
時として"音"は、
それ以上の影響をもたらす。**

*Leone Frederik Richter*

## Gagharv trilogy final "A Cagesong of the ocean"

*Before Gagharv is minced by the ground
People do not already have memory of the time when the number of the three worlds was still one.
It is a criminal scar to have been left behind to the ground ....
Probably, people were charged with the crime from when.
The ancient times of hundreds of ...
"The people of a sea bed" who lived in the beach and disappeared to where.
They manipulate a "melody" free.
Sound is changed to all power.
It is said that prosperity beyond imagination was built.
Perfect, pure, and powerful a "melody."
But, tradition is without it tells many.
It was transmitted as one of the empty dreams of the far past.
Then, a certain great musician's hand,
Rumor that the ancient "melody" was reproduced
It spread among those who make music an occupation.
A musician's name is Leone Frederik Richter.
It is known as a player.
The name was driven also as a young genius.
But, the now when 50 years have passed since it is also.
Without the truth is confirmed
.... I have been forgotten soon.
This time,
The itinerant player existed mostly.
In many cases, they are all bright, and are learned, and were playing a role of more than which comforts people by music.
Sometimes, by the time their provincial tour traveled the world, it reached.
This tale is also one of the adventure stories of such players.*

# CONTENTS

## ■キャラクター紹介


フォルト――094
ウーナ――096
マクベイン／ジャン&リック――098
シャオ――100
レイチェル――102
アルトス――104
アイーダ――106
アリア――108
パルマン――110
トーマス／ルカ――112
ミッシェル――114
アヴィン／マイル――115
デュオール――116
海賊王ラモン／リッシュ――117
主なサブキャラクター――118

■人物相関図　123

■オープニングアニメーション　124

■ストーリーダイジェスト

序章――126
第１章――127
第２章――128
第３章――129
第４章――130
第５章――131
第６章――132
第７章――133
最終章――134

■イラストギャラリー　135

# フォルト

## マクベイン一座のキタラ奏者として旅立つしっかり者の少年楽師

音楽の才能に優れたキタラ弾きの少年。練習熱心で楽師であるマクベインを誰よりも尊敬している。奔放な祖父が反面教師のためか、根が真面目で同世代の子供に比べ、かなりのしっかり者。

**Pick Up**

### 音楽やろうぜ！　モテるから

世の中のバンドマンというのは否応なくモテる（らしい）。事実、とある人気バンドマンの証言でギターを手にしたきっかけが「モテたいから」だったとか。その“バンドマン＝音楽をやる人”がモテるという現象は、現実でも物語でも同じようだ。キタラ奏者として旅立ったフォルトは異性からかなり注目されていた。彼の演奏を聴いた娘達から「かっわいー」などと騒がれ、その様子はマクベインが驚くほど。この事からフォルトは演奏するたびに少なからず、女の子を騒がせているのではと想像。その上、幼なじみのウーナから想いを寄せられているわけで、かなりモテているのだ。だが、フォルトの驚くべき点はそこではない。あのジュリオでさえ（2人は同い年）可愛い女の子がいるとポッとなるのに対し、フォルトは異性に騒がれても無反応。“鈍感”では済まされないその様子は一体……。アーティストって奥深い。

**Profile**

名前：フォルト
年齢：14歳
出身：ヴェルトルーナ　レトラッドのラコスパルマ村
職業：旅芸人
性格：真面目、しっかりもの、鈍感
設定：『海の檻歌』の主人公
祖父マクベインとはいつも喧嘩しているが、
一番仲が良く尊敬している
日頃から熱心に演奏の練習をしている
女の子にはまだ興味なし
キタラ奏者

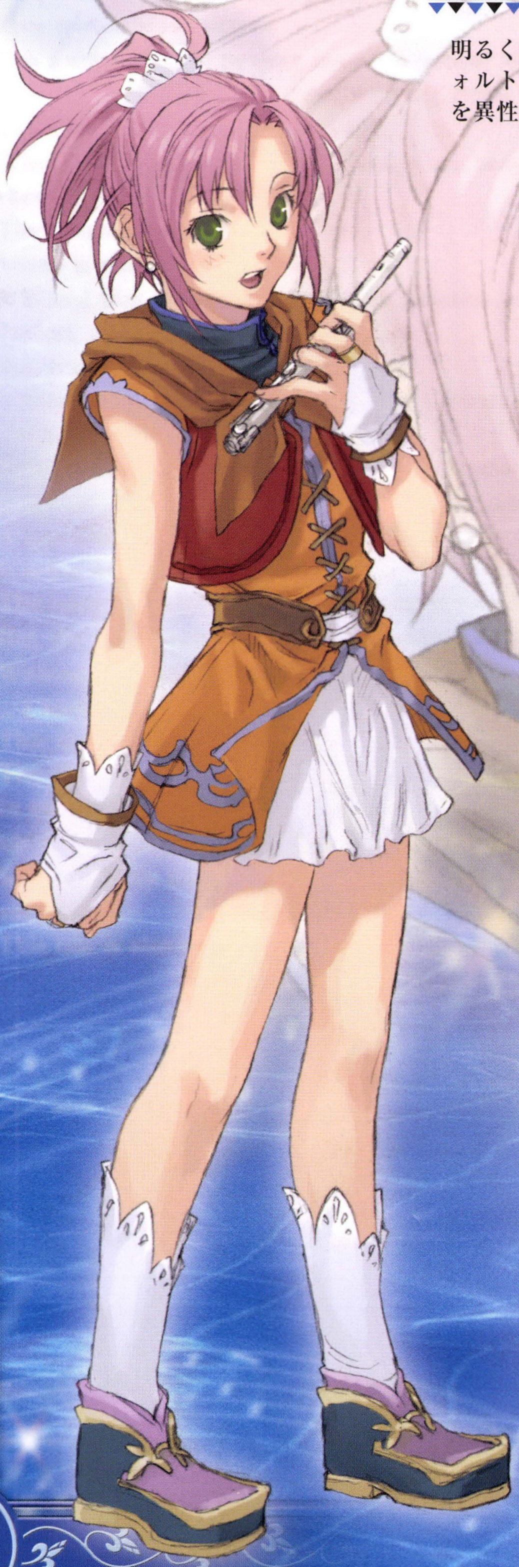
expression

costume

# ウーナ

## 明るく礼儀正しい働き者 幼なじみに想いを寄せる女の子

明るく礼儀正しいピッコロ奏者の少女。すぐに口喧嘩を始めるフォルトとマクベインの仲介役になる事が多い。最近ではフォルトを異性として意識し始め、告白のタイミングを伺っている。



### Pick Up

#### ウーナの恋

劇中で大いに描かれるウーナの恋心。巡業に出る理由もフォルトが行くなら…というもので、端から見るとわかりやすいのだが、肝心のフォルトは気付いていない。「フォルちゃん、あのね」という出だしから始まる告白は何度も見る事に。その様子は少々のじれったさを感じるかもしれないが、他人の助け船には「自分で、やるから…」としっかりとした意思を見せるのだ。彼女はただの夢見る乙女ではない。健気で一途なその想いの行く末は『水底のメロディー』や『世界の行く末』よりも、むしろ気になる所である…ハズ。

### Profile

名前：ウーナ
年齢：14歳
出身：ヴェルトルーナ　レトラッドのラコスパルマ村
職業：旅芸人
性格：照れ屋、元気、働き者
設定：『海の檻歌』のヒロイン
幼なじみのフォルトに恋をしている
マクベイン一座の仲介役
村では染料作りを手伝っている
ピッコロ奏者

back

expression

pose

# マクベイン

## “水底のメロディー”を捜し求めて旅立つ 新生マクベイン一座の頼れる座長

フォルトの祖父で一座の座長を務める手琴奏者。旅の演奏家として人生を通して得た、深い道徳と洞察力を持ち、顔も広く各地に知り合いが多い。老体ながらも屈強な身体は岩をも砕く威力を持つ。

**Pick Up**

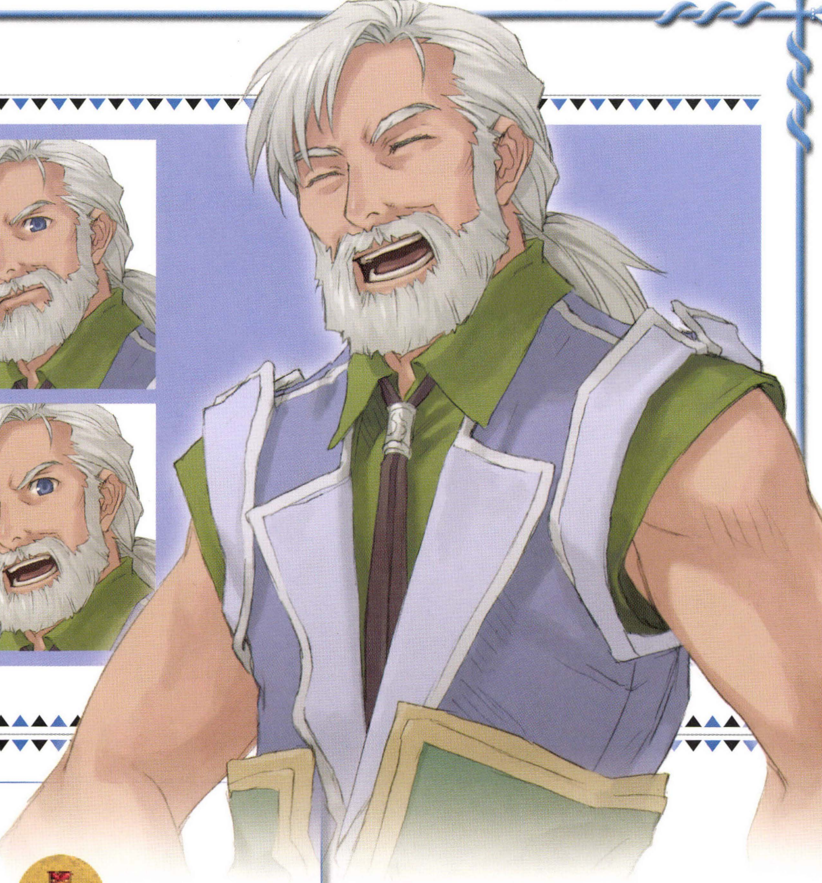
### 62歳の主人公!?

すでに3作品全てをプレイした人なら気付いているかもしれないが、英雄伝説の注目すべき点のひとつに、素敵なお年寄りが多く登場するという事が言える（よね？）。『白き魔女』ではデュルゼル、『朱紅い雫』ではガウェインであったり…と、物語の重要な立ち位置におり、若き主人公の強力な助けとなっていた。そしてついに『海の檻歌』では、主役級のおじいちゃんが登場。それがマクベインである。一座の座長としても、旅人としてもまだまだ現役。威厳たっぷりなのかと思えば、孫とのじゃれ合いは日常茶飯事で、マクベインは色んな意味で大活躍している。旅立ちの発端はそもそも彼が長年、強い思い入れを持っていた『水底のメロディー』探しであるし、フォルトに負けないくらい存在感抜群なのだ。そんなわけで『海の檻歌』はおじいちゃん好きにはたまらないストーリーになっている。

**Profile**

名前：マクベイン
年齢：62歳
出身：ヴェルトルーナ　オースタンのオアシス
職業：旅芸人
性格：豪快、ロマンチスト、洞察力が鋭い
設定：マクベイン一座の座長で手琴奏者
演奏以外の表現が苦手
孫のフォルトとは仲良し
水底のメロディーに想い入れがある
老犬ジャンは10年来の相方

expression



## Link Character

# ジャン&リック

ジャンはマクベインの愛犬で、10年来の相棒。今は老犬で暇な時は寝ているが、マクベインと同じく歳を重ね、動くツボを経ているので魔獣と闘っても渡り合える実力を持つ。リックは今回の旅で仲間になったトビネズミ。ジャンの頭の上が定位置。2匹ともマクベイン一座の大事なマスコットである。

◀ジャンが初めから使う回復技の『ペロキュア』。あれはジャンが怪我した相手を舐めて治しているに違いない。可愛い……

back

# シャオ

## 口が達者で陽気なおじさん 現役ばりばり凄腕アコーディオン奏者

娘と2人で旅回りをしているアコーディオン奏者。マクベインとは昔の旅仲間で「師匠」と慕っている。陽気で口が達者で、やや調子の良い所もあるがどこか憎めない不思議な人柄の持ち主。

**Pick Up**

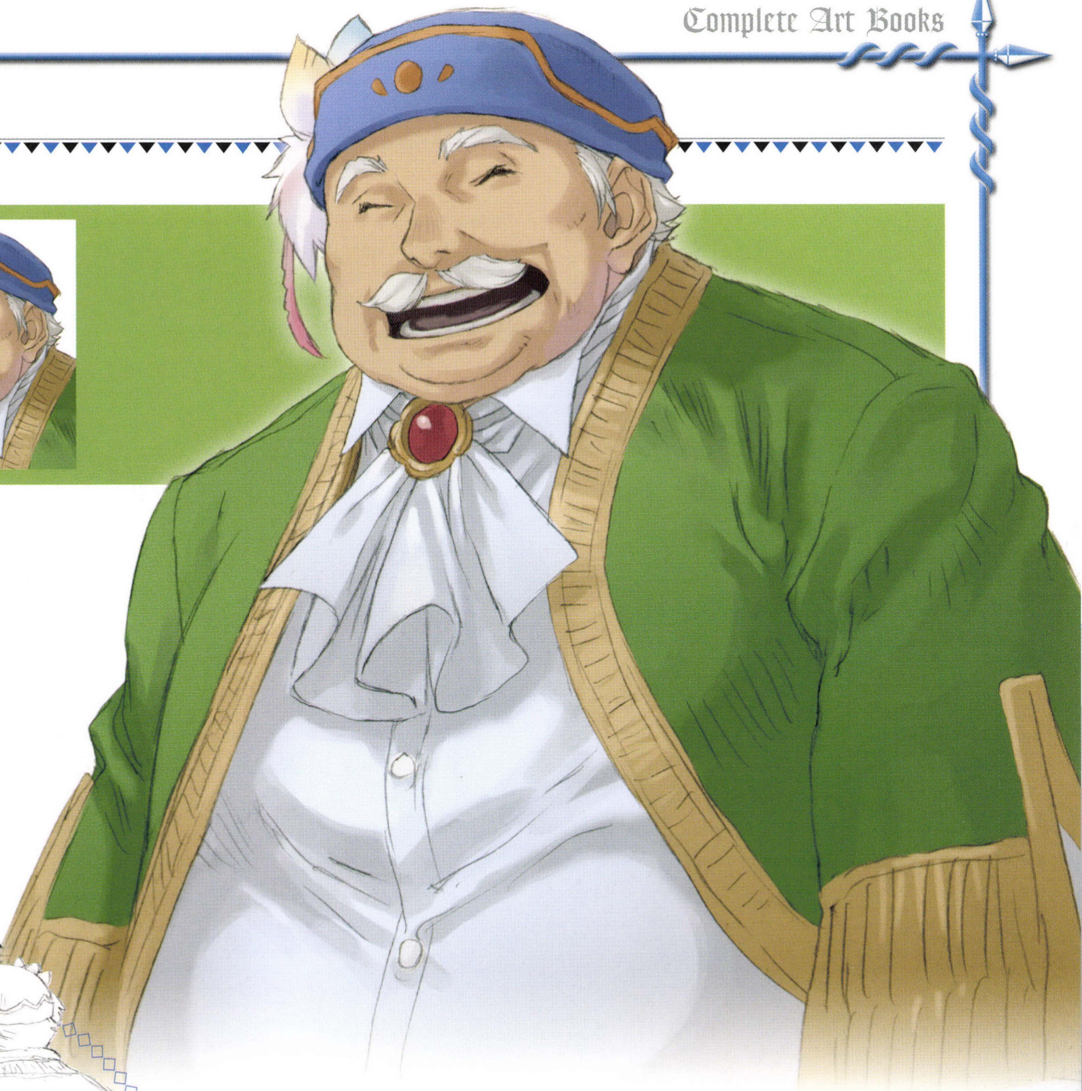
### 一度聞くと忘れない？ シャオ口調

「あ～ん、愛情の裏返し」「だしょう、だしょ、だしょう」「ドキがムネムネしちゃう!」など、シャオはとても41歳の男性とは思えない言動が多い。しかしそこが彼の魅力の1つ。旧友達の様子を見るとその性格は昔からのようで、シャオが若い頃に出会っていたであろう奥様はそんな所に惹かれたのかもしれない。その魅力が如実に現れている場面がある。一行がグリシス洞窟に入った時、シャオがおもむろにウーナのものまねをするのだ。「早く、行こぅ」。これにはフォルトも大喜び。何とも微笑ましい光景が目に浮かぶ。

**Profile**

名前：シャオ
年齢：41歳
出身：ヴェルトルーナ　出身地不明
職業：旅芸人
性格：明るい、お調子者、口達者
設定：口上が大得意
娘のレイチェルと旅回りをしている
マクベインの昔の旅仲間
金銭がらみの話にちょっと弱い
アコーディオン奏者

expression



back

## Pick Up

1

2

3

4

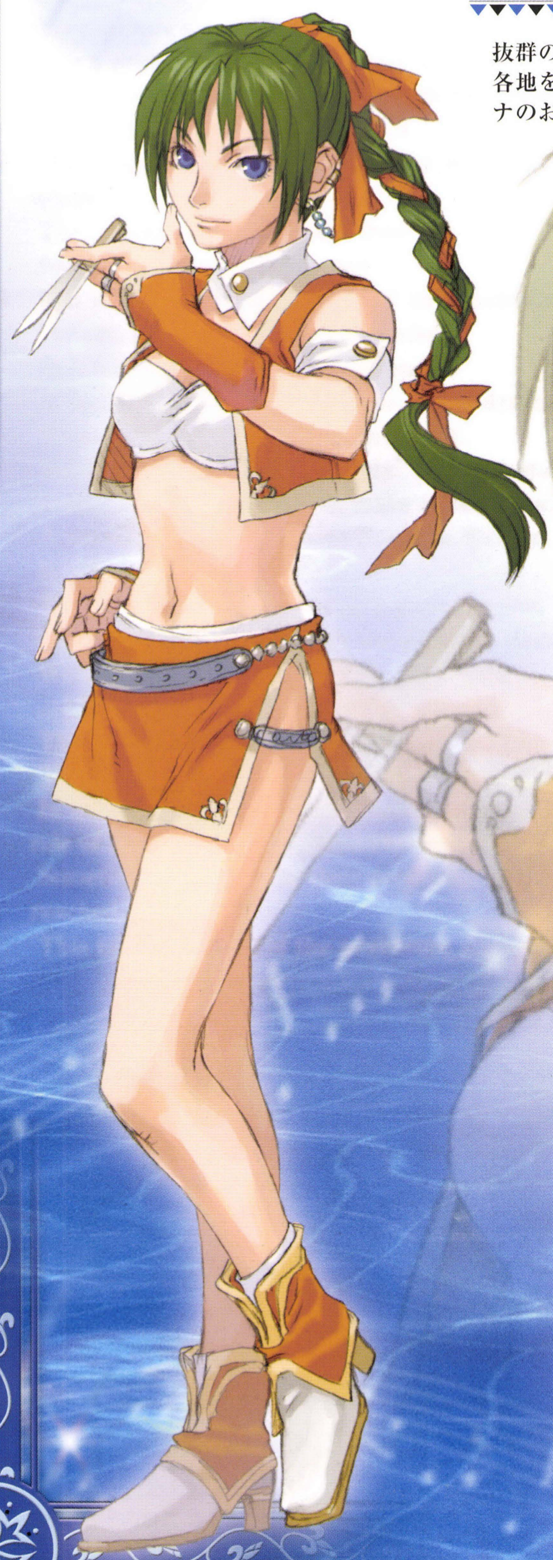
### ケンカする程仲が良い？

シャオとマクベインは何度も共に旅をした事がある仲。マクベインからすれば「お前が勝手についてきた」らしいのだが、どちらにしろお互いの性格を知り尽くしている様子。劇中では、コントのような楽しいやりとりが見る事ができる。旅芸人だけあり（？）、若々しい2人である。

# レイチェル

## 凛とした透き通る美声を持つ歌い手 皆の頼れるおねいさん

抜群のプロポーションと美貌を誇るシャオの娘。コーラス担当で、各地を巡業している。様々な経験を積んでおり、フォルトとウーナのお姉さん的存在だが、父親ゆずりの調子のいい所もある。



### Pick Up

#### プロであり、年頃の女の子

レイチェルは旅芸人として立場的にフォルトとウーナの先輩として登場する。妨害により、公演に人が集まらなかった時に皆がしょぼくれる中、「ピシッとして。芸に自信があるなら誰に何を言われたって胸を張ってられるでしょ」と周囲を一喝。この言葉からわかるように、経験を積んだ1人の芸人として、誇りとプロ意識をしっかりと持っているのである。そんなかっこいい彼女だが、バイトをさぼってこっそりお菓子をつまみ食いをする、実はぬいぐるみが作れるなど、年相応で可愛らしい一面ものぞかせていた。

### Profile

名前：レイチェル
年齢：18歳
出身：ヴェルトルーナ 出身地不明
職業：旅芸人
性格：明るい、前向き、ちゃっかり者
設定：美形でスタイルも抜群
投げナイフが得意
裁縫が得意
お菓子が大好き
コーラスを担当

back

expression

pose

# アルトス

## おいしいパンを作る事に情熱を注ぐ職人 そして、バイオリン奏者でもある不思議な少年

ボザールの街で両親と共にパン屋を営んでいる少年。パン職人見習いで仕事に情熱を注ぎ熱心に働いている。そんな一方、バイオリン奏者としてピンゼルの独奏会で優勝するほどの実力を持つ。

### Pick Up

#### パンが食べたくなるRPG

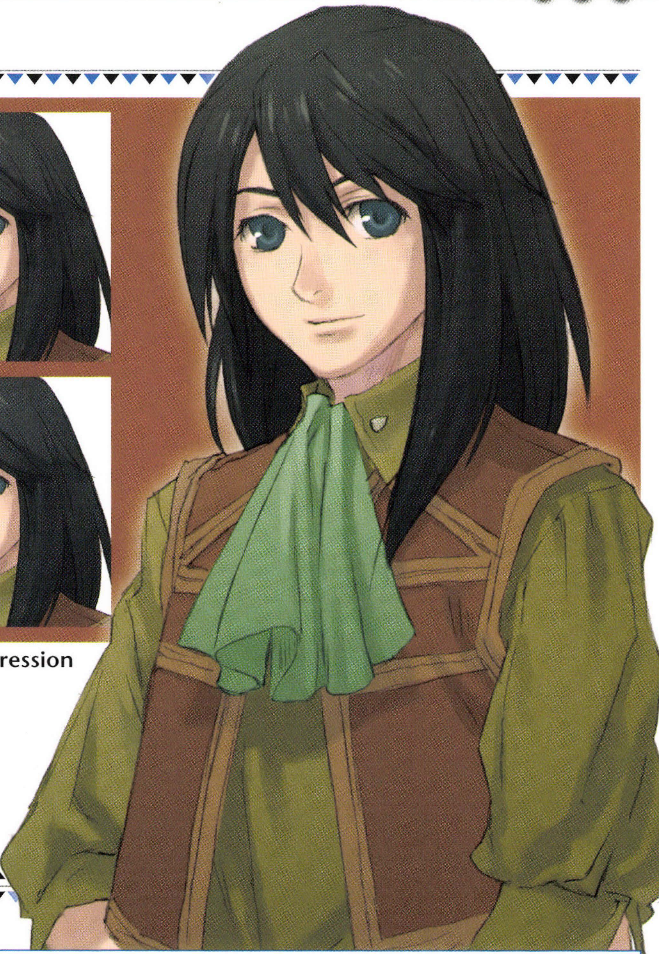
パン職人がパーティメンバーに入るゲームは未だに珍しいのではないだろうか。その張本人のアルトスはバイオリンの腕前もプロ並み、実はシュルフ出身などかなり重要な人物だが、彼について最初に思い浮かぶのはパン。「…あっちっち。よおし、いい具合に焼き上がってる!」と言いつつパンが一座の面々に手渡され、それを食べた彼らの「最高! 幸せ!」「ほっぺが落ちそぅ」「うまい!」「くおんく…」「くきゅくく…」という感想を見ていると無償にパンが食べたくなる。食と音楽。こんなにも五感に響くゲームはあまりない気がする。

**Profile**

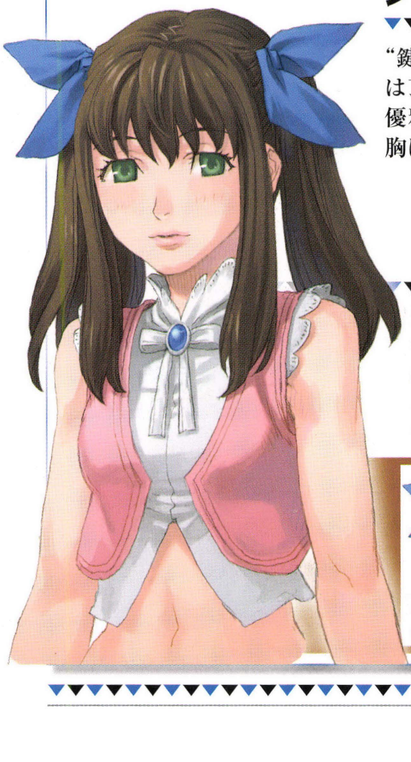
名前：アルトス
年齢：16歳
出身：ヴェルトルーナ　グレイスール共和国ボザール在住
職業：パン職人見習い
性格：礼儀正しい、家族想い、働き者
設定：幼い頃からバイオリンを演奏している
パン作りにかける情熱は人一倍
職人・商売人として責任感がある
実は剣も扱える
生き別れの姉がいる

back

expression



## Link Character



### シド・バルタザール

“鍵盤の魔術師”と謡われ、若手の中では頂点に位置する実力派のピアニスト。優雅な洗礼された演奏をするが、どこか胸に迷いを秘めている。

### ウェンディ

美しく可憐な歌声と容姿は多くの人を魅了するカヴァロ芸術劇場のトップアイドル。アルトスとは、シドも含め芸術劇場の舞台で一度きりの共演をする事に。

expression

# アイーダ

## パワフルさなら誰にも負けない!
## カプリとペドロに愛情を注ぐ人形使いの少女

祖父で人形技師のロゼットと一緒に人形工房で暮らしている。腹話術とからくり人形を自在に操る腕を持ち、その腕前は祖父をも上回る。常に明るく元気いっぱいで思いやりにあふれている。

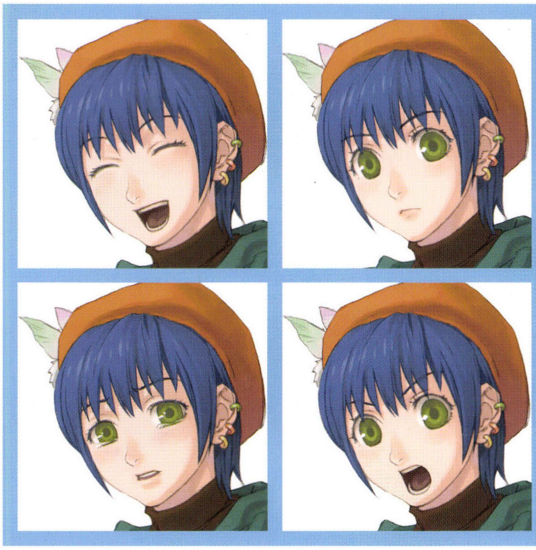
**Pick Up**

### 優しいアイーダ

パワフルな女の子としても強烈な印象をフォルト達に与えるアイーダ。場を盛り上げるシャオ仕込みの口上も得意で、人々を楽しませる事に関しては天才的。知り合いのレイチェルが「あの子のパワーを甘くみないことね」と言うほど。しかし、元気なだけではない所がアイーダの魅力で、ゲザルグでは親から引き離された子供達を元気づけようと奮闘する。それは、両親のいないアイーダ自身が寂しい気持ちを痛いほどわかっているから。人を楽しませるという事は他者を思いやる事。彼女はそこをきちんと理解しているのだ。

**Profile**

名前：アイーダ
年齢：15歳
出身：ヴェルトルーナ　メルヘローズのエキュル
職業：人形使い
性格：明るい、元気いっぱい、優しい
設定：祖父ロゼットの創る人形は有名
腹話術とからくり人形を自在に操る
祖父と2人暮らし
高いところが苦手
口上のコツはシャオに教わった



expression

pose

back

# アリア

## “共鳴魔法”の正統な継承者
## 美しい黒髪と歌声を持った神秘的な女性

美しい黒髪と精霊のように透き通った声を持つ女性。水底の民の技術の正統な後継者で、歌声によって共鳴魔法を使えるただ1人の人物である。その美しい歌声は多くの人々の命を救う。

**Pick Up**

### 世界を救う鍵となった2人の恋

アリアとパルマン。物語の後半の軸となる彼らは、ヌメロス帝国の陰謀を通じて出会う事に。アリアは『水底の民』として追われる立場にあったのだが、彼女自身の「私の力で救える人がいるなら私にとって…それは何より優る使命なのです」という思いがパルマンに変化をもたらしていく。そんな複雑な関係にも関わらず、惹かれ合う2人の様子は各場面でさり気なく表されている。随所で見られる「………」という間の中にどんなドラマが繰り広げられていたのだろうか。アイーダとウーナが2人の恋にうっとりしていたのも頷ける？

**Profile**

名前：アリア
年齢：21歳
出身：ヴェルトルーナ　シュルフ
職業：ー
性格：神秘的、儚げ、芯が強い
設定：歌声は治癒能力を持つ
行動力がある
自らの危険には無頓着
歌声により共鳴魔法を扱える
アルトスのお姉さん

back

expression

pose

# パルマン

## 今は亡き正統な王家の皇子

ヌメロス帝国の将校で、隠密部隊の隊長。生真面目で礼儀正しい性格。自国の真の繁栄と世界平和を信念として固く誓っており、上層部に睨まれる反面、部下達の信頼は厚い。実は帝国の正統な家柄の王子である。

**Pick Up**

### 語られないパルマンの過去

ヌメロス帝国の正統な王子エクトルであった、パルマン。現皇帝ラウゼンの策謀で王家は陥れられていたのである。これは約8年前の出来事で当時、パルマンは17歳。その頃から急速に体制が軍事帝国へと変貌するわけだが、一体どんな経緯を経てヌメロス帝国は変わっていったのだろうか。前国王に仕えていたナレサ隊長が未だに現役である事や、正統な跡取りだったパルマンが軍人として仕えている事を考えると、複雑かつ壮絶で血生臭い過去が想像できる。だが、パルマンからは「まあ、確かに、そういう家に生まれた記憶もあるが、今は関係ないさ」としか語られないのである。そしてラウゼン達が死に、ヌメロス帝国が本当に再生すべき時、パルマンはこう言う。「エクトルと言う人間はもう、どこにもいない（略）私はパルマン。この国と世界を想う、ただの男です」。ここまでの心情に行き着くには一体どれほどの思いがあったのだろうか。考え深い所である。

**Profile**

名前：パルマン
年齢：25歳
出身：ヴェルトルーナ　ヌメロス帝国
職業：軍人
性格：真面目、礼儀正しい、責任感が強い
設定：帝国上層部からは煙たがられている
パルマン隊の隊長
部下からの信頼が厚い
血筋、血統にこだわらない
ヌメロス帝国の正統な後継者“エクトル”

back

expression

costume

## Link Character

### ナレサ隊長

ヌメロス帝国の首都プカサスで共鳴石探しの命を受けていた帝国軍隊長。パルマンを一目見た時からエクトルだと理解し、影から支援する。

pose

# トーマス

## 白い帆船を足にして海を駆けめぐる 正義の海賊、キャプテン・トーマス

エル・フィルディンからやってきた、キャプテン・トーマスの名で知れ渡る海の英雄。ヴェルトルーナで起きる異変を調査する為に、姿や立場を変えてフォルト達の前に現れる。

expression

### Pick Up

#### みんなが待ってた？ トーマス参上

ミッシェルと同じく3作品に登場するトーマス。とりわけ彼は、『海の檻歌』で大活躍していた。まず最初は外交官として、軽いフットワークで動く姿をまざまざと披露。変わって、オースタンの砂漠では詐欺師フロードとして登場。飄々としながらも、古代文字を解読するなど博識な一面も垣間見せる。それらの正体が「悪い海賊をやっつける正義の海賊（船乗り談）」のキャプテン・トーマスであった。ある意味フォルト達を欺き続けていたわけだが、嫌な感じは全くなく、むしろその逆。『朱紅い雫』の時の熱血好青年から歳を重ね、お茶目でかっこ良い大人として魅力的に描かれているのだ。「フッフッフッ…ある時は、ブロデインの外交官。またある時は、酒場のバーテン。またまたある時は、小説で活躍する詐欺師。だが、その正体は…プラネトスⅡ世号を駆り、七つの海を駆け巡る…」などの口上を始めとした、ヒーロー的なその姿は随所で見る事が出来る。

### Profile

名前：トーマス
年齢：34歳
出身：エル・フィルディン　出身地不明
職業：船長
性格：博識、陽気、気さく
設定：プラネトスⅡ世号の船長
伝書鳩ポッポをいつも連れている
海賊王ラモンとはライバル
諜報活動も行う
操船技術に長けている

【スレイド外交官・詐欺師フロード】

Link Character

## ルカ

プラネトスII世号の副長。21歳という若さにありながら留守にしがちな船長の代わりを務めるなど、トーマスは元より周囲からもかなり信頼されている。プラネトスII世号の設計から関わっており、搭載された高性能エンジンはルカにしか扱えない。

▲海賊王ラモンの船に対抗すべく、現れたプラネトスII世号。船から現れた年若い副船長はルカだった。スレイド外交官に扮するキャプテンが目の前でしゃあしゃあととぼけるのに対し、慣れた様子で対応している？

# ミッシェル

## プラネトスⅡ世号一行の影の要
## 大魔法使いミッシェル・ド・ラップ・ヘブン

ティラスイール出身の魔道師。ヴェルトルーナから不吉な波動を感じ取り、調査の為にトーマス達とガガーブを越えてやってきた。プラネトスⅡ世号メンバーの参謀であり、頼りになる存在。

expression

pose

### Pick Up

#### パワーアップミッシェルさん

ガガーブシリーズ随一の策士と言っても過言ではないミッシェルは、『海の檻歌』でも相変わらず。一座との初対面は、常人では入り込めない隠れ里シュルフ。フォルト達に名乗りはするが、思わせぶりな台詞だけ残しどこかへ消えてしまう。異界では言葉巧みにメルヴィール女王と面会まで行き着き、レバス13世とは無言の牽制をし合う。皆がスティグマの束縛の魔法により大ピンチになった時も転位魔法でひょっこり登場。杖ひと振りで助けてしまうなど、只者ではない行動は健在…というよりも以前より磨きがかかっていた。

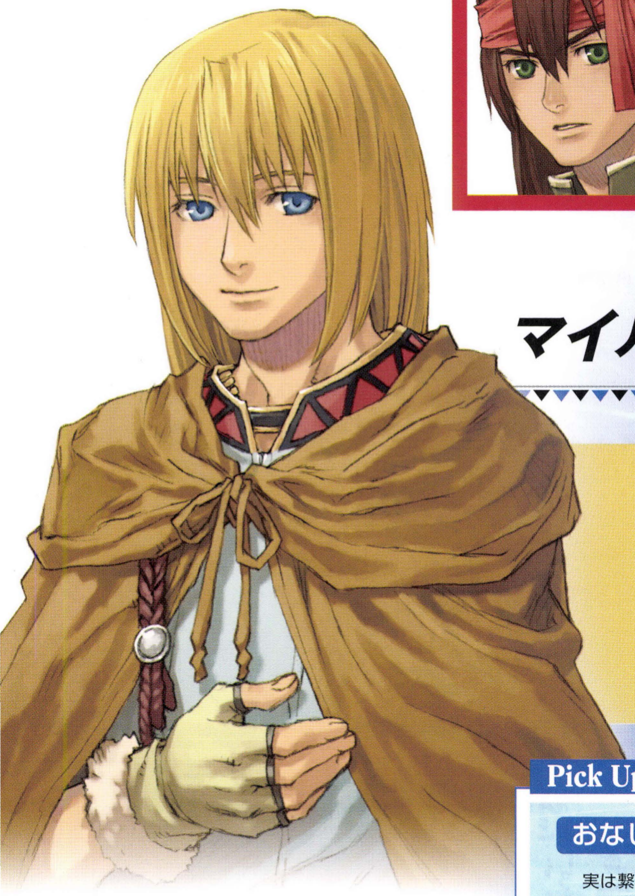
**Profile**

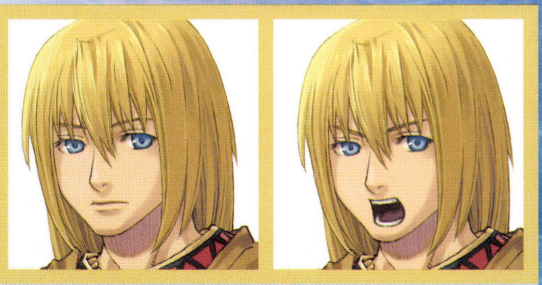
名前：ミッシェル・ド・ラップ・ヘブン
年齢：35歳
出身：ティラスイール　出身地不明
職業：魔道師
性格：冷静、マイペース、博識
設定：極めて行動的
常に余力がある
礼儀正しく敬語で話す
若々しい
魔法力を含め、全体的に磨きがかかった

# アヴィン

expression

# マイル





expression

**Pick Up**

## おなじみの2人組再登場

実は繋がり合うガガーブの世界。前作の舞台エル・フィルディン出身のアヴィンとマイルがプラネトスⅡ世号に乗り、ヴェルトルーナにやってきた。あの頃からかなり成長しているようで冒険者として貫禄も現れている。アリア救出作戦では「見過ごしには、できないだろ」とさりげなくフォルト達を助ける、その後のカヴァロの解放まで首をつっこんでみたりなどの人の良い性格は2人とも変わりなく、嬉しいところ。しかもアヴィンの、アリアとパルマンの仲について全く気付かないという、鈍感ぶりも変わりないようだ。

トーマス達と世界を越えてやってきたエル・フィルディンの冒険者のアヴィンとマイル。2人は親友同士で、いつもコンビで行動している。昔の新米冒険者時代よりも遙かに腕前と貫禄を得てフォルト達の良き協力者として彼らをサポートする。

# デュオール

## 世界に平和と繁栄をもたらす為に 祖先の大いなる遺産を扱わんとする王子

善政を誇るブロデイン王国の王子。事実上、国王になるのだが、即位はしておらず摂政のスティグマと共に国民の為の政策を行い民からの信頼を得ている。勇敢で、美丈夫といった雰囲気を持つ。

expression

pose

**Pick Up**

### これからがんばれデュオール王子

物語終盤で登場するブロデイン王国のデュオール王子。実は今回の騒動の黒幕であると同時に、本人も摂政のスティグマに利用されていたという複雑な人物だった。スティグマは冷酷にも自分が育てた王子に対し「……今にして思えば父親のように、冷酷な暴君に育て上げた方が良かったのかも知れぬな。（略）おまえも用済みだ」と告げる。王子自身が、償うべき罪だと感じていた父のルザークⅡ世共々、スティグマの手の上で転がされていたのである。王子のこれまでの行動は国を想えばこそであり、単純に"悪"とは言えない。それだけにスティグマの真意が判明するシーンは哀しい。王子のその後を考えると辛い所だが、パルマンの「私も協力します。ブロデインもヌメロスも一からやり直しです」という言葉や、エピローグでのカヴァロの演奏会にて、客席で王子の姿を確認できた所を見ると少しだけホッとできるのであった。

**Profile**

名前：デュオール
年齢：28歳
出身：ヴェルトルーナ　ブロデイン王国
職業：王子
性格：勇敢、鉄砲玉、古風？
設定：両親は他界
フルートで『青き葬送』を奏でる
摂政のスティグマが右腕
国民から信頼されている
父は暴君として有名

## 海賊王ラモン

黒竜号を駆り、ヴェルトルーナの海を荒らしまわる大海賊。気の荒い性格だが、仁義をわきまえており、気にいった相手には礼儀を尽くす。キャプテン・トーマスのライバルだが海の男同士、ある意味気の通じる所があるらしい。最終的にフォルト達に協力する事になる。

◀『闇の太陽』の出現により世界が危機的状況に陥った。ラモンとトーマスは一時、協力し合う事に。何だかんだと言って仲が良さそうな2人？

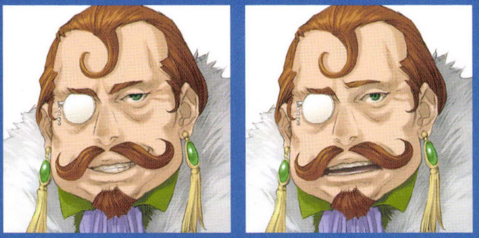
expression

## リッシュ

自他共に認める悪徳商人。リュトム島に邸宅を建て、落成記念パーティーを開催した。裏で海賊王ラモンやヌメロス帝国とつるんで金儲けを企んだりなど、利欲に走る行動ばかりなのだが、妙な愛敬があり憎めない所も。噂ほど悪い印象がないという不思議な人物。

◀自分の事を「筋金入りの悪徳商人」と高らかに謳うリッシュ。フォルトでさえも思っていたほど悪人じゃないなとの感想。しかし、やっている事は結構ガメツイので注意

expression



## エグール子爵

ペニソラ公爵とは重臣にして親友の間柄。心優しく民からも慕われている。公爵とリッシュの迎合に憂いを感じている。

expression

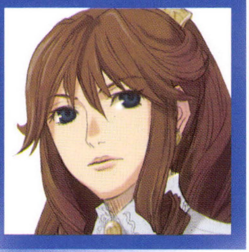
## ペニソラ公爵

ペニソラ公国の統治者。豪商リッシュと手を組み、リュトム島のパーティーに入れあげているために内政が疎かになっている。

## ルプシャ女史

討伐隊を結成してスイング団と戦う勇ましいボザールの名士。リュトム島のパーティーの招待客の1人。

expression



## デミール市長

カヴァロの市長。カジノの魅力とメリトス女史への対抗意識でリュトム島のパーティーに出席した。

## アーガス

セルバートに住むシャヌーン一族のシタール奏者。パーティーのオーディション出場者の1人。

expression

expression

## カチュア

アーガスの妹。兄の奏でる演奏に合わせて華麗な剣舞を見せる。人見知りをしない、人懐っこい性格。

## メリトス女史

カヴァロに本社をかまえるメリトス・グループの総帥。デーミル市長とは犬猿の仲でいつも言い争っている。

expression

## ゼノン司令

ヌメロス軍を束ねる司令長官で皇帝の次に力をもつ権力者。アリア捕獲とカヴァロ占拠を企み、さまざまな工作を仕掛けてくる。

expression

expression

## ブレガー大使

ヌメロス帝国の大使。リッシュ、ラモンと共謀してパーティー襲撃を企てた他にも、木人兵の量産を目論む。

## ラウゼン皇帝

ヌメロス帝国の皇帝。数年前に革命を起こし、穏健派を失脚させ、ヌメロスを軍事国家に再編した。

## ネクロス

ヌメロス帝国の魔術師。ゴーレム技術を応用して木人兵を作り上げた。笑い方は「イーッヒッヒッヒッ…」。

## スティグマ

ブロデイン王国の摂政として、デュオールの教育係として仕える忠実な家臣…というのは仮の姿だった。その正体は、本人曰く、スティグマ家から託宣の役という栄光を奪い、異界へと去ったレバス家に復讐しようと王家に仕えていたという。闇の太陽とビオラリュームを利用しようとする。

expression

pose

## レオーネ・フレデリック・リヒター

多くの名曲を残して姿を消した伝説の音楽家。ブロデイン王国に捕まり、レクト島で獄死したと伝えられているが、実は異界に渡り、メルヴィール王家の楽士として仕えていた。占星術師レバスと並んで、女王の相談役となっていたが、今は銀髪の少女を連れ、ひっそりと暮らしている。

▲ブロデイン王国に護送される最中に、青年レオーネと少年マクベインは偶然に出会いをはたしていた。この出会いがきっかけで、マクベインは音楽家を目指す事になる

▶生まれたばかりの頃に、宣託によって次期女王候補に選ばれた銀髪の少女。レオーネに命を救われた

## メルヴィール女王

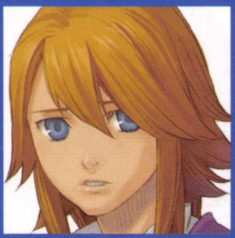
メルヴィール王家を治める異界の女王。水底の民の末裔でもあり『異界の月』の行く末を見守っている。エスフィンにある女王宮で暮らしており、行方不明となったレオーネともう1人の女王の適格者に戻ってきてほしいと願っている。

◀レバス13世が刺客を放ち、もう1人の女王の適格者の抹殺を企てた事実は、メルヴィール女王自身も知らぬ事だった

## レバス家

元はブロデイン王家に仕えていた占星術師の家系。レバス家の託宣の技術をかわれ、異界に渡来することになった。実質、王家の実権を握っている。レオーネと銀髪の少女の命を狙い、刺客を放つ。レオーネから信条は違っても同じ平和を願う者の証として『誕生』の共鳴石を託されている。

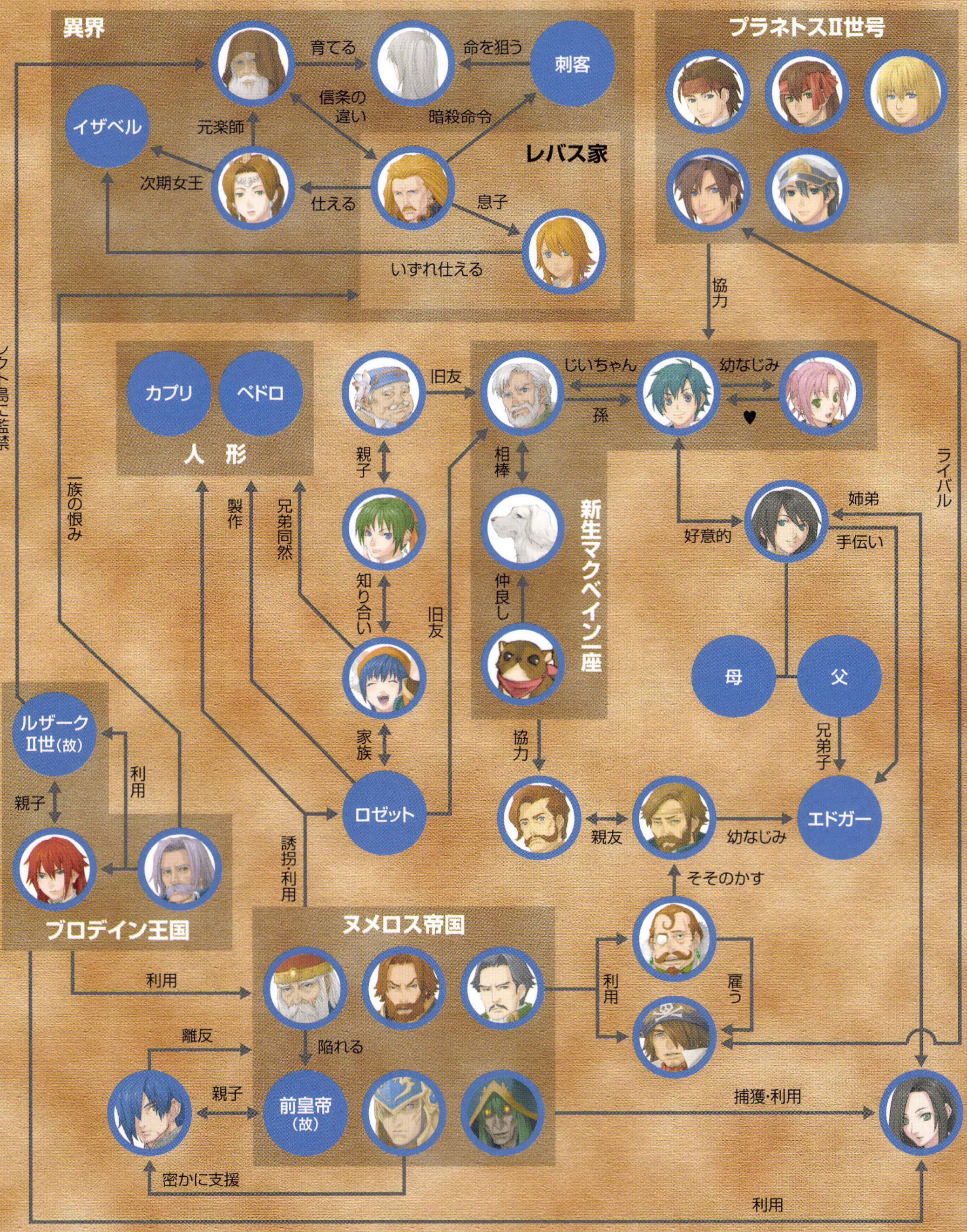
▶レバス13世。実質、王家の実権を握る宮廷占星術師の13代目



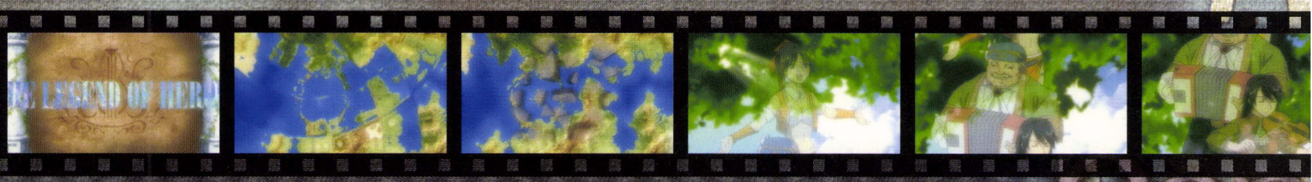
▶レバス14世。イザベルに仕えるため、英才教育を受けている

expression

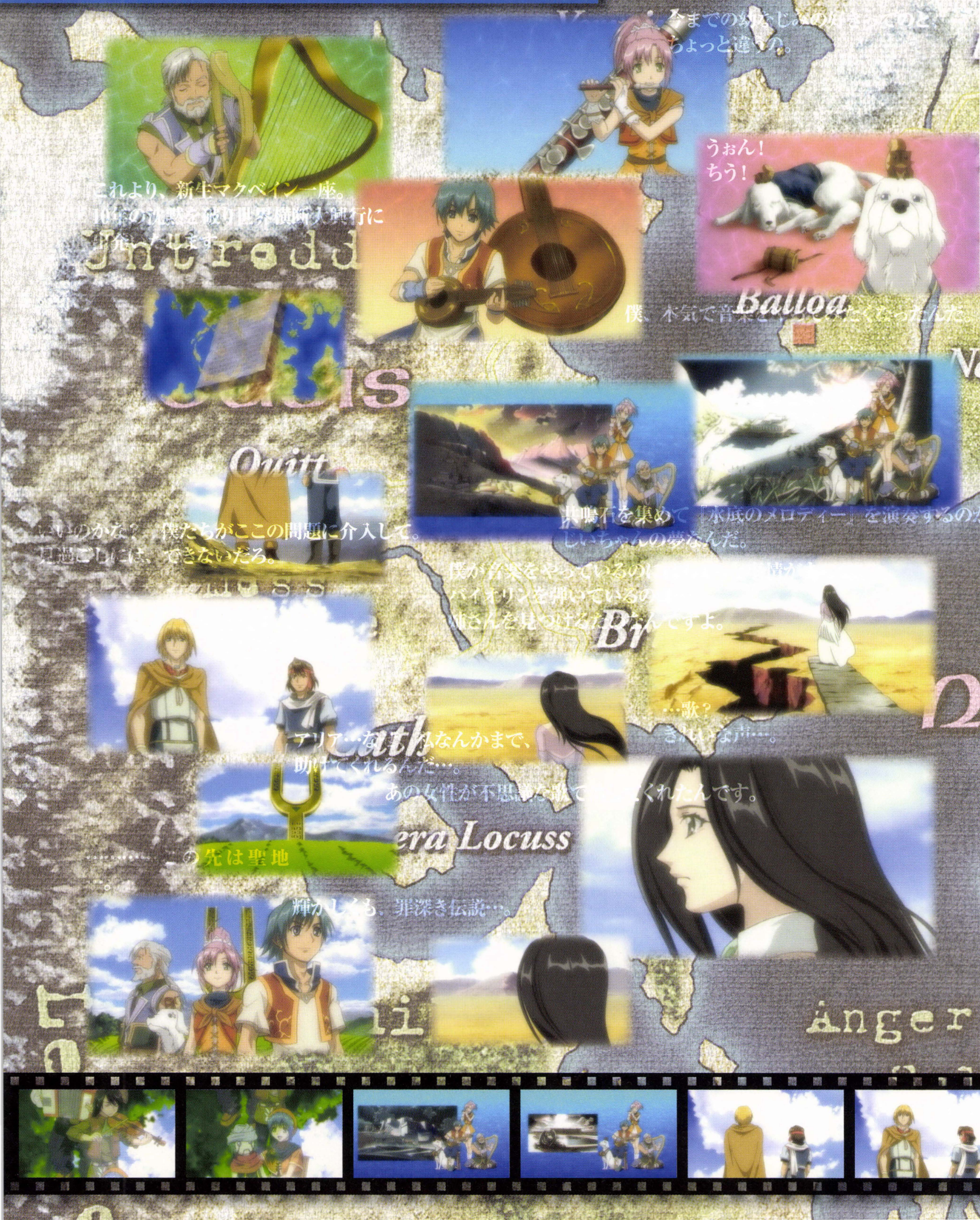
# 海の檻歌 人物相関図



異界
育てる
命を狙う
刺客
信条の違い
暗殺命令
イザベル
元楽師
レバス家
次期女王
仕える
息子
いずれ仕える
プラネトスII世号
協力
レクト島に監禁
カプリ
ペドロ
人形
旧友
じいちゃん
幼なじみ
孫
♥
親子
相棒
新生マクペイン一座
一族の恨み
製作
兄弟同然
知り合い
旧友
仲良し
好意的
姉弟
手伝い
ライバル
母
父
兄弟子
ルザーク II世(故)
利用
親子
家族
協力
ロゼット
親友
幼なじみ
エドガー
誘拐・利用
そそのかす
ブロデイン王国
ヌメロス帝国
利用
利用
雇う
離反
陥れる
親子
前皇帝(故)
捕獲・利用
密かに支援
利用



## 海の檻歌　オープニングアニメーション

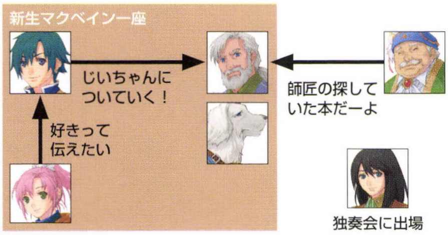


『水底のメロディー』が、わしらを待っとる！
Borun
Tibri
アリアよ。この恐怖に堪えられるかな。
ふふふふ…。
ひとつの文明が滅びる説きにあらわれる、
災いの波。私の国では、こう呼ばれています。
ラウアールの波と。
…この力を継承したときから覚悟は決めていました。
参りましょう、フロティンへ。
…吹いてみせる。この曲を、フォルトに届けてくれ。
人の絆を紡ぐ…自分のまわりだけじゃなくって
この世界のみんなのね。
それがこれから僕にとっての演奏……『祈り』かな。

# Story Digest ——■ 序章 旅人たちの前奏曲（プレリュード）

## Story

ラコスパルマの少年フォルトと幼なじみの少女ウーナ、そして祖父マクベインはふとしたことから、魔法の地図を手にする。伝説の音楽家レオーネ・フレデリック・リヒターによって作られたその地図は、彼が残した共鳴石の在処を示していた。それぞれに旋律の刻まれた共鳴石を全て集めれば、レオーネの再現した"水底のメロディー"が完成する。長年、旅の演奏家として世界を渡り歩きながら、水底のメロディーに想いを抱いていたマクベインは、生涯最期の旅として共鳴石探しの旅に出ることを決意する。そして祖父に憧れ、立派な演奏家になりたいというフォルトと、フォルトにほのかな想いを秘めるウーナ、愛犬のジャン、3人と1匹によるマクベイン一座が結成され、巡業の旅へと出発する。




### EVENT
#### 「キスい…。フォルちゃん、あのね」

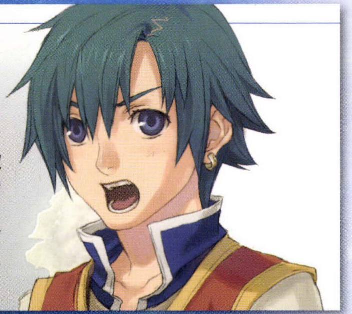
シェラ婆さんがお膳立てしてくれたお使いの途中で思い切って告白しようとするウーナ。だが、肝心なところで魔獣たちに邪魔されてしまう。鈍感なフォルトはウーナの様子がおかしいことには気付くものの、それ以上のことを察することはできなかった。

### EVENT
#### 「おお、感謝するぞ、ヘスター！ちゅっ」

共鳴石の手掛かりを求めて、村人たちに聞き込みをするフォルト達。村人のヘスターは死んだ父親が地下水路にそれらしいものを見つけたと説明すると、ご機嫌になったマクベインがヘスターの頬にキスのお礼をする。

### EVENT
#### 「よくも…あんなに辛い唐辛子をカジらせてくれたね」

フォルト達は盗まれた旅券手帳を取り返すため、泥棒たちのアジトを突き止めた。いつのまにか目的が変わり、唐辛子の恨みを晴らそうと殺気立っている3人に泥棒達は戸惑ってしまう。



## WORDS

### ■レオーネ・フレデリック・リヒター

50年前に数々の名曲を残した偉大な音楽家。ピアノとバイオリンの名演奏家としても有名だが、彼が伝承にある共鳴魔法の究極の形"幻のメロディー"の再現に取り組み、その音楽家としての感性をもって、残されたわずかな資料をもとに"水底のメロディー"として完成させたことは、一般的には知られていない。各地方を旅して回っていたが、その足取りは途絶え、現在に至っては生死も定かではない。

### ■共鳴石

レオーネが水底のメロディーの譜面をフレーズごとに分けて刻んだ石。そのフレーズだけでも力を持っており、奏でることで共鳴魔法が発動する。共鳴魔法の悪用を危惧したレオーネは24個の共鳴石を信頼のおける人物に託したり、洞窟の奥などに封印した。そして、共鳴石の位置を指し示す魔法の地図を1枚だけ残している。

# 第1章　盗賊どもの奇想曲（カプリッツォ）

**Story**　ストマック号で海を渡り、トリムに到着したマクベイン一座。しかし、旅の演奏家に扮した盗賊スイング団の横行に苦しむ町の人々は、一座を含めた旅芸人たちに厳しい目を向ける。人々の誤解を解くため、一座とシャオ&レイチェル親子が協力して興行を行うが、町の人々の心を動かすことはできなかった。行く先々でスイング団が誘拐や窃盗など事件を起こし、それを解決していくマクベイン一座。また、その道中で訪れたカントス音楽学校はレオーネと交流のある人々によって創られたものだったことを知る。ボザールのパン屋でアルトスと再会した一座は、盗まれた共鳴石を取り返すため、スイング団と全面対決に入る。

## EVENT

### 「いやぁん、フォルト。何とかしてよ」

新曲を完成させた一座は興行のポスターを手分けして貼ってまわる。だが、こっそりさぼっておやつを食べていたレイチェルはジャンに怒られてしまう。「あんたみたいな真面目な犬は見たことない」とぼやきながら、しぶしぶ作業に戻らされるのだった。

## EVENT

### 「真面目に働く気があるのなら働き口を考えてあげましょう」

一座に懲らしめられたスイング団。その下っ端は頭目を助けようとルプシャ女史に泣きすがった。彼らの改心を見届けたルプシャ女史は厳罰を行わずに寛大な処置を施し、採石場での仕事を命じた。

## EVENT

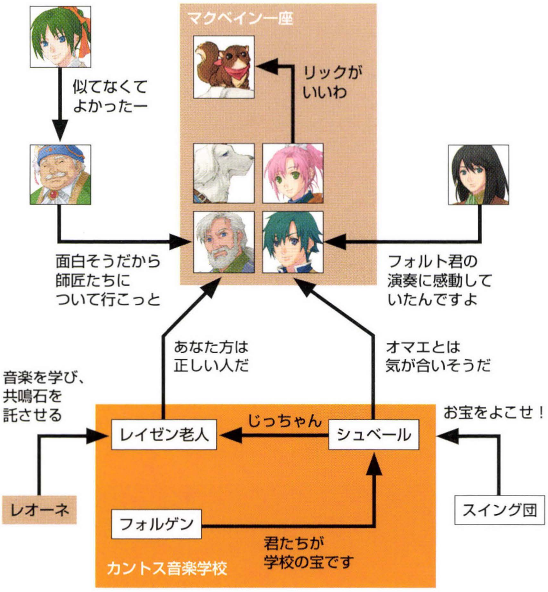
### 「あはは…これなら新しいメニューに入れても良さそうだね」

匂いにつられて入ったパン屋リップルリングでアルトスと出会う。両親を手伝ってパン職人として働いてるアルトスは、自分の作った焼きたてのパンを一座に振る舞う。その絶品の味にマクベインはすぐにおかわりしてしまう。

## WORDS

**■カントス音楽学校**

グレイスール共和国にあるレオーネゆかりの学校として有名な音楽学校。ここの卒業者から多くの優秀な音楽家が出されている。校内にはレオーネ直筆の楽譜が大切に保管されている。年に1度、学校主催の発表会が開かれ、生徒達が日頃の練習の成果を町の人々に披露する。学生中心の演奏会だが、外部の人間の飛び入り参加も認められているお祭りのような催し物である。



# 第2章　海賊どもの行進曲(マーチ)

## Story

ペニソラ公国に入国したマクベイン一座は、君主であるペニソラ公爵の悪政に苦しむ住民のために孤軍奮闘するエグール子爵と知り合う。一座は子爵の使者となり、ペニソラ公爵を説得して目を覚まさせるに至った。そして、悪政の原因が豪商リッシュによるものであることを知り、リュトム島のオーディションに乗り込む。

リュトム島には各国の有力者と演奏家達が集まり、盛大なオーディションが行われるが、その裏ではリッシュが海賊王ラモン、ヌメロス帝国の大使ブレガーと手を組み、大規模な誘拐計画を実行していた。ブロデイン王国の大使ガレンノ、外交官スレイドと協力して真相を突き止めた一座は海賊との全面対決に挑む。

## EVENT

「そうか…あれが私のルール違反の始まりだったのか…」

欲にかられていたペニソラ公爵は、エグール子爵との思い出の品であるビー玉を見て、当時の話を語る。親友に本気で怒られたときの気持ちを思い出した公爵は、フォルトのまだ間に合うという忠告を聞き、リッシュとの関係を断ち切ることを決意した。

## EVENT

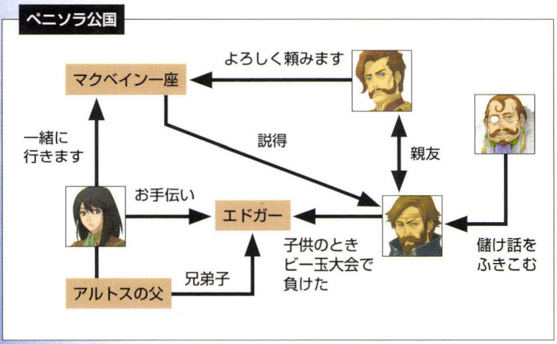
「あの村長は立派な奴だった俺たち海賊を相手に島民のために島を守ろうとしやがった」

リッシュとラモン、ブレガーの密談に聞き耳を立てるフォルト達。そこで、かつての悪行が語られると共に、「そういう奴には礼儀を尽くすもんだ」というラモンの意外な義理堅さもわかる。

## EVENT

「10000ジェントだ10000ジェント！うひゃひゃひゃひゃひゃ…」

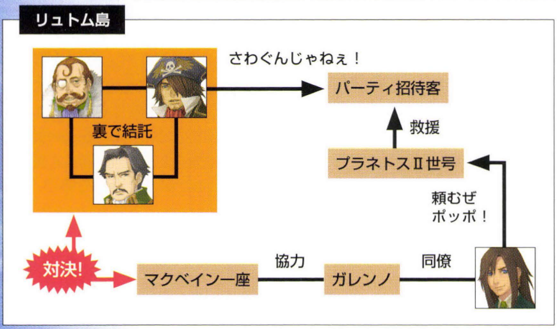
リュトム島オーディションがついに始まった。各国の出場者たちが控え室で出番を待っている中で、賞金目当てのシャオが、やたらとはしゃいでしまう。まわりのみんなの視線を受けてフォルト達は目をそらすしかなかった。




## WORDS

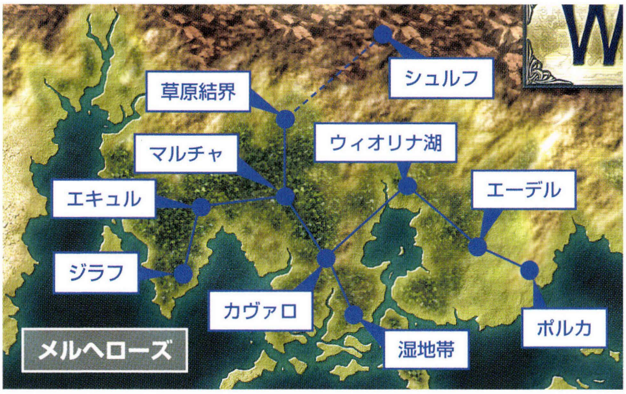
### ■オーディション

リュトム島を買い取った豪商リッシュが築いた豪邸の落成記念パーティーの余興として催した音楽家のオーディション。参加するには招待客である各国の名士の推薦が必要で、優勝者には高額な賞金と、船上パーティーでの演奏を任される。



# 第3章　隠者たちの小夜曲（セレナーデ）

**Story**　共鳴石を探してメルヘローズの地を旅して回る一座。そこで不思議な歌声を持つ女性、アリアの存在を知る。アリアの捕獲を企み、芸術の都カヴァロを占拠するヌメロス帝国。フォルト達はカヴァロの演奏家たちと協力してアリアを救出する。アリアに導かれて"水底の民"の末裔が住む地に辿り着いた一座は、共鳴石と水底のメロディーが持つ本当の役割を知る。気持ちを新たにして共鳴石探しを続ける一座は、マクベインの旧友で人形職人のロゼットの元を訪れる。しかし、ロゼットの技術を軍事利用しようとするヌメロス帝国がロゼットと彼の作ったカプリを誘拐する。一座の活躍でロゼットは救出したものの、カプリは持ち去られてしまった。一座はロゼットの孫娘アイータと共にカプリを奪還するため旅立つ。




## EVENT

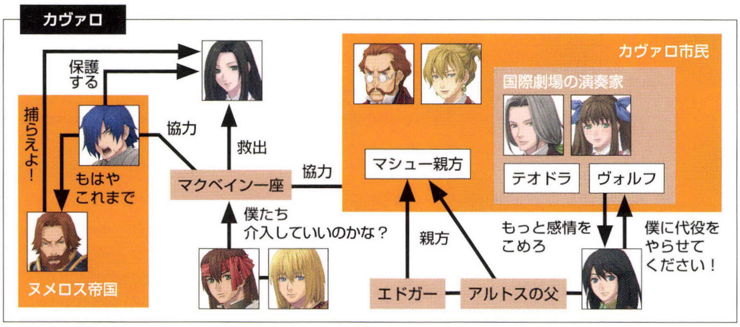
### 「フォルトくんたちはちゃんと実力のある演奏家なのよ」

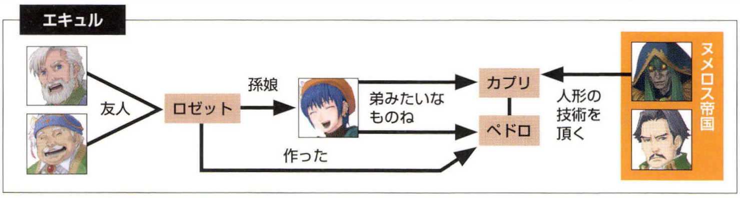
国際劇場の見学にきたフォルトとウーナはリュトム島で競演したバルタザールとウェンディと再会する。するとバルタザールをライバル視しているバイオリニストのヴォルフは、バルタザールを負かした2人に突っかかってきた。

## EVENT

### 「勘違いするな。私は保護に向かうと言ったんだ」

ヌメロス本国からのアリア捕獲命令に逆らうことを決意するパルマン。部下たちに隊の解散を告げるが、その場を去る隊員はいなかった。カヴァロ急襲の報告を受けたパルマン隊は木人兵の掃討に向かう。



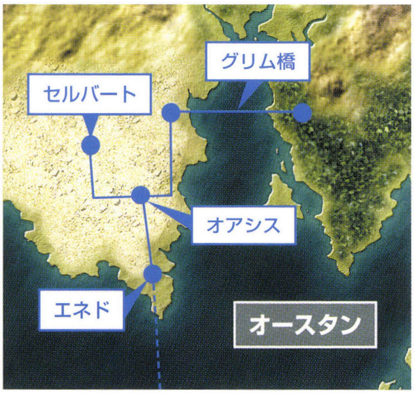

## EVENT

### 「やっほー。おまたせ～！今日のゲストはね、スッゴイわよぉ」

アイータの元気いっぱいな口上でエキュルの町の人たちが集まってきた。アイータの圧倒的なパワーと一座の演奏に昂揚した観客は輪になって踊り、大盛況となる。興行が終わると、それでも元気なアイータを横目に、へとへとになったフォルト達と燃え尽きてしまったマクベインとシャオの姿があった。

# 第4章　流離(さすら)い人の間奏曲(インタールード)

**Story**　グリム橋を渡ってオースタンへ入国した一座は、マクベインの故郷である砂漠のオアシスで偽物のスレイドと再会する。シャヌーン族の村を訪れた一行は、共鳴石を求めて地下神殿へ足を踏み入れるが、地底深くに封じられた悪しき力の残り火"闇の太陽"を目にして戦慄する。その闇の太陽を狙ってヌメロス軍が村を襲撃した。そして遺跡の封印を破ると、大地は揺れ、落雷が降り注いだ。その力の完全な解放を防いだのはアリアだったが、闇の太陽ともどもヌメロス軍に奪われてしまう。軍を追うフォルト達の救援に駆けつけるプラネトスⅡ世号。そして、海の英雄キャプテン・トーマスがついにその正体を明かすのだった。




**EVENT**

## 「やせると思えば一石二鳥よぅ」

一座は延々と続く砂漠の道を灼熱の太陽に照りつけられながら進むことになる。さすがのアイーダもグロッキー気味だが、ウーナの乙女心効果で気を取り戻す。そんな2人のやりとりをフォルトは不思議そうに眺めていた。

**EVENT**

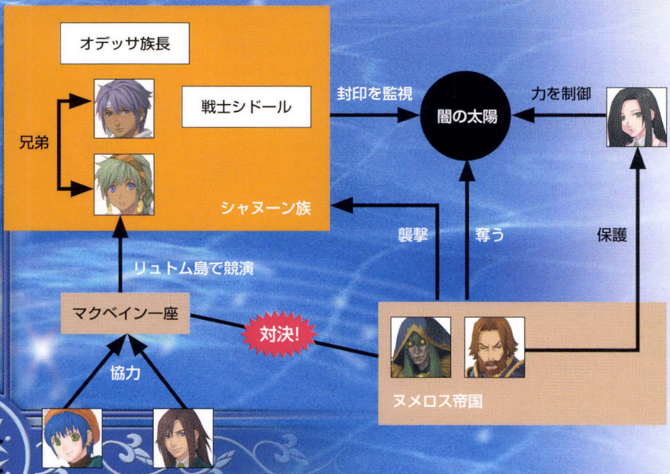
## 「…キャプテン。早く乗らないと置いていきますよ」

木人兵に囲まれた一座を救ったプラネトスⅡ世号。そしてついにキャプテン・トーマスがその正体を明かす。素直に驚くフォルトとウーナ、何となく知っていたマクベイン、そして海の英雄トーマスそのものを知らないアイーダ。華麗に決めたのに肩すかしをくらったトーマスに、副官ルカは冷静につっこみを入れる。

**EVENT**

## 「レオーネの口笛こそ、わしの演奏家としての原点だったのだからな」

マクベインは幼なじみのガートンと話しているうちに、何か大事なことを忘れていることに気付く。子供の頃に住んでいた廃屋に隠された共鳴石を掘り起こしたマクベインは幼い日に出会った青年こそレオーネだったことを思い出した。




## WORDS

**■害周波**

共鳴魔法を使う際に術者の心の濁りから生まれる周波。魔法が発達していた水底の民の時代に、この害周波が蓄積して世界を滅ぼすほどの脅威となってしまった。フォルト達の使う共鳴魔法は共鳴石が媒介となって補正されているため、害周波の発生は抑えられている。

**■闇の太陽**

セルバートの溶岩窟の奥に封印されている黒く巨大な害周波の塊。水底の民が残した"悪しき力の残り火"と称されている。祖先の時代から使命を与えられたシャヌーン族が監視を行っている。水底の民が害周波の塊を別の世界に転送するために作った共鳴魔法の増幅装置の補助として、害周波の一部を抽出して使用した。現在は封印されているが、1度解放されれば、周囲の負の想念を吸収して、世界の脅威となる恐ろしい力である。

## 第5章　闇に向かう狂詩曲（ラプソディー）

**Story**　アリアと闇の太陽の行方を追って、ヌメロス帝国に乗り込んだ一座。虐げられる国民の指導者となっていたパルマンと協力して、木人兵の量産工場から強制労働させられていた人々を解放する。そしてアリアを救出するために首都プカサスに潜入した。だが、健闘も空しく、ヌメロス軍の行った実験によって闇の太陽が暴走し、帝国は崩壊。そして世界中が闇に包まれてしまう。

### EVENT

**「…なるほど、確かに鋭い子ですね」**

一座はプラネトスⅡ世号の船室で今後の行動をトーマスらと話し合う。ふと、フォルトはトーマス達がヴェルトルーナの人間でないことを尋ねると、ミッシェルもその洞察力に感心する。

### EVENT

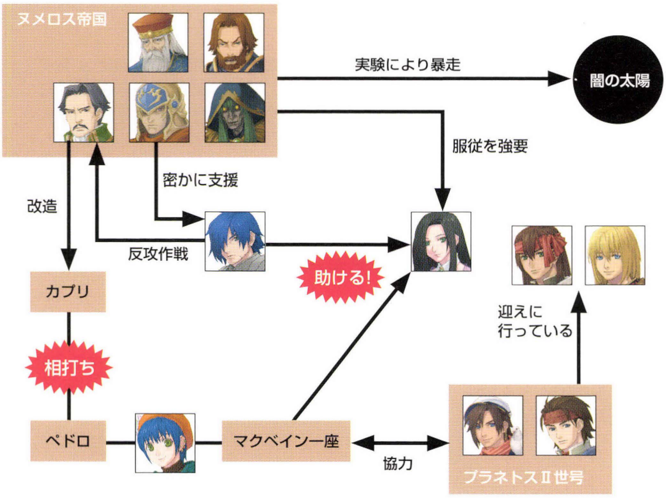
**「まあ、確かに、そういう家に生まれた記憶もあるが、今は関係ないさ」**

木人兵工場に潜入して接触を試みようとしていたエクトルという人物は実はパルマンのことだった。パルマンがヌメロス帝国の正統な血筋であることに驚くが、当人は気にもしていない様子を見せる。

### EVENT

**「私はピーマンが嫌いだと配膳係に伝えろ」**

新兵として帝国に潜り込んだフォルトは食事運びを命令され、ゼノン司令やネクロスの部屋に入ることになる。何か話しかけられる度におっかなびっくりのフォルトは、心臓に悪い思いをしながら食事を運ぶのだった。




### WORDS

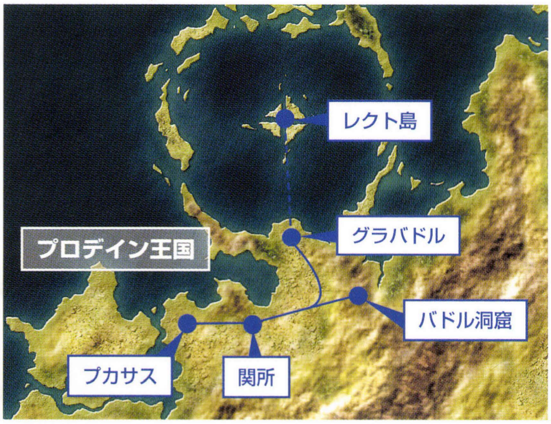
**■ヌメロス帝国**
ラウゼン皇帝の治世になってから強大な軍事国家へ変貌を遂げた。政情は不安定で、国民は生活を圧迫されるばかりでなく、徴兵や強制労働に苦しんでいる。

**■エクトル**
パルマンの本名。本来、彼はヌメロス帝国の正統な王位継承者の立場にあったが、8年前にラウゼンの一派の謀略にかかって失脚、皇帝の座を奪われてしまっている。そのことを知る一部の民衆はエクトルこそ、指導者にふさわしいと考えている。

# 第6章　過ぎた日の夜想曲（ノクターン）

## Story

闇の太陽の影響で各地に異変が起こり始めた。プラネトスⅡ世号の冒険者達と合流した一座は、闇の太陽が引き寄せられているブロデイン王国に向かう。王都グラバドルの地下には、水底の民が残した闇の太陽を鎮めるための遺跡が眠っているという。この遺跡に反応したアリアは瞑想状態に陥り、様々なヒントとなるメッセージを伝え始めた。一刻も早く共鳴石を集めるため、レオーネが監禁されていたというレクト島へ渡ると、そこに残されたレオーネの言葉から、彼は獄死しておらず異界へ旅立ったことが判明、一同は異界へ渡る決意をする。




### EVENT

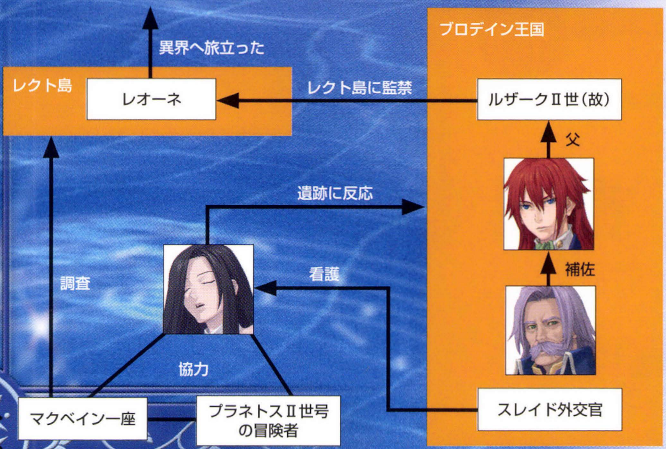
「うぉん!」
「ちぅ!」

トーマス達と合流したフォルトたちはそれぞれチームに分かれて調査を行うことにした。一座にはアヴィンとマイルが仲間に加わり、アリアを連れてブロデインを目指す。そして出発しようとすると、突然ジャンがトーマスにじゃれついてきた。船が気に入ったらしいジャン&リックはトーマス達と一緒に行くことに。

### EVENT

「うぬっ! またしても、わいて出たか!」

単身で木人兵の巣に乗り込んだデュオール王子を捜しにバドル洞窟に入った一座。孤軍奮闘するデュオール王子の助太刀に入り、木人兵を撃破する。すると木人兵の出現が途切れた今こそ好機と猪突する王子に、フォルトは「本当に鉄砲玉な人だなあ」と漏らした。




### EVENT

「一緒に旅をしている仲間でも、見えてくるものは少し違う。それは、その者が背負った役割によるものかもしれんな」

異界に渡ればレオーネの所在がつかめるかもしれない、その機会をマクベインはフォルトとウーナの2人に託した。戸惑うフォルトに優しく語りかけるマクベインの胸中にあるものとは…。

### WORDS

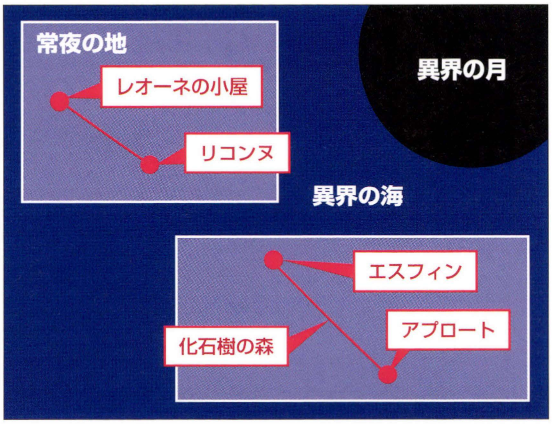
**■異界**

水底の民が害周波の塊を転送するために発見した世界で、そこでは負の想念が蓄積されることはない。その世界へ外周波の塊を送ると共に、それを見守る役目と責任を負った者も移住した。異界とは空間のひずみでつながっており、監獄島であったレクト島がその場所にあたる。レクト島から時折光の柱が立ち上る現象は空間が歪んで異界とつながっていることを意味している。

# 第7章　異界の月の鎮魂歌(レクイエム)

## Story

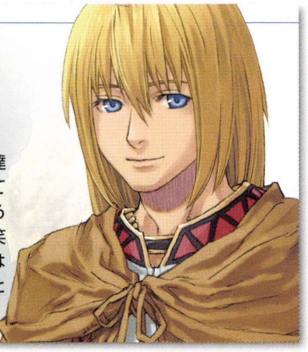
時空の歪みに突入したプラネトスⅡ世号は異界の海へと辿り着く。そこで待っていたのは、過去に送り込まれた巨大な闇の太陽だった。業の役割を担い、移住していった水底の民の末裔達が生きる大地へフォルト達は足を踏み入れる。この世界もまた終焉の危機を迎えていることを知ったフォルト達は、常夜の地でついに伝説の音楽家レオーネと出会う。レオーネの話からヴェルトルーナ側の闇の太陽を消滅させれば、異界の延命につながることがわかり、最後の共鳴石を手にしたフォルト達は、2つの世界を救うため、ヴェルトルーナへ帰還する。




## EVENT

### 「アヴィンが蛍の光を見て『綺麗だ』なんて、なんだか、似合わないよ」

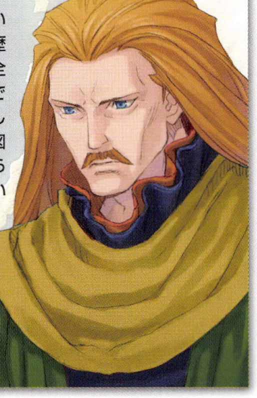
化石樹の森に足を踏み入れたフォルト達は、美しい光を放つ蛍のような虫を目にして感激する。アヴィンも正直な感想を口にするが、普段のがさつぶりをよく知るマイルは笑いのツボを刺激されてしまった。アヴィンは「美しいものを愛でる気持ちぐらいある」と拗ねるのだった。



## EVENT

### 「だが今は、あなた方が元の世界に戻り『闇の太陽』を終息させてくれることを心から祈ろう」

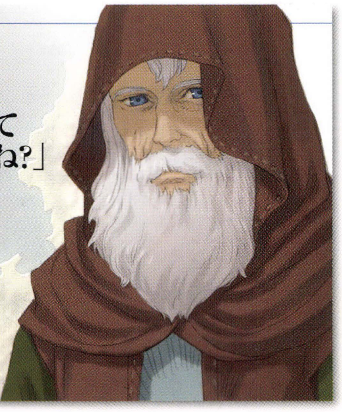
ミッシェルと向かい合ったレバス13世は歴史の違いから互いを全て理解しあうことはできないだろうと語る。しかし、レオーネの意図を少しは理解し、彼らにもう危害を加えないことを約束した。

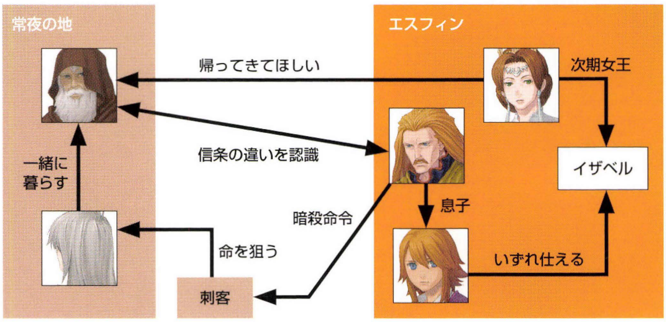


## EVENT

### 「君の顔に見覚えがあるような気がする。おじいさんに似てるって言われたことはないかね?」

フォルトの顔をじっと見つめていたレオーネは、数十年前護送中に出会った少年の面影を思い出したと言った。それがマクベインのことだとわかったフォルトとウーナは感動する。レオーネはお互い生きているうちに会って、楽器を片手に酒を酌み交わしたいと優しく微笑んだ。






## WORDS

**■異界の月**

異界での害周波の塊の呼び名。過去に害周波の塊と共に移住してきた水底の民が命名した。闇の太陽と同質のものだが、その大きさは異界の月のほうが何倍も大きく、許容限界を迎えている。

**■女王の選定**

異界の月の監視を使命とするメルヴィール王家は、女帝制だが世襲ではなく、誕生時の資質によって選定される。それを行うのが、政治的実権を握る宮廷占星術師（レバス家）の人間である。女王は害周波を生まないことを条件として選ばれ、現在はイザベルが次期女王として育てられているが、彼女の選定時、過去にも例のないもう1人の適格者が存在していた。王家の取り決めでは選ばれなかった適格者は命を断たれることになっている。

# 最終章　大海に響く奏鳴曲（ソナタ）

## Story

グラバドル城の地下に乗り込んだマクベイン達は遺跡を探索する。そして、異界から戻ってきたフォルト達と合流し、ビオラリュームのもとへ辿り着く。石碑に刻まれた曲の構成から、ついに水底のメロディーは完成した。起動したビオラリュームは辺りの地層ごと地上へと浮上する。そこで、本性を現すデュオール王子と摂政スティグマ。一方を滅ぼしてこちらの世界を救うか、共存の道を探すか、2つの思いがぶつかり合う。わずかに残された時間の中でフォルト達の奏でるメロディーがビオラリュームに届くとき、奇跡は起こる。

### EVENT

「異界が存在すれば、
この世界の未来に
禍根を残すのだ。
なぜ、そんなことがわからん!」

真意を明かしたデュオール王子は、異界を滅ぼしてこそ、世界の平和が保たれることを主張する。だが、異界の人々に会ってきたフォルト達が彼らの苦悩を伝えることで、王子の信念に迷いが生じる。

### EVENT

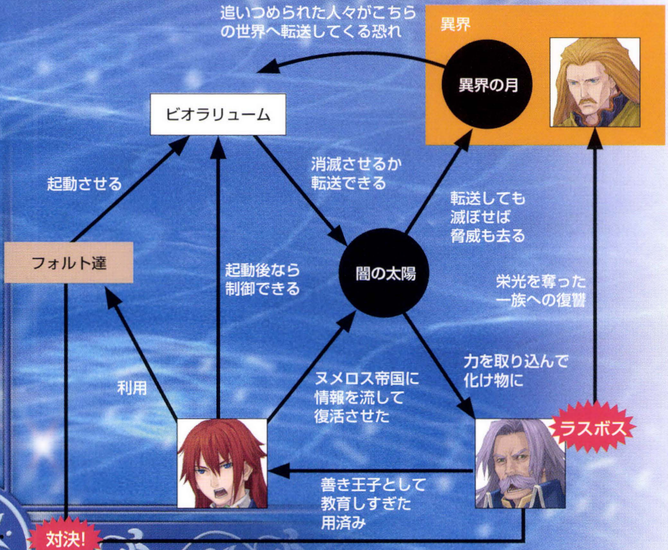
「聴こえる。この曲を
演奏すればいいんだね」

崖下からデュオール王子が奏でるメロディーをマクベインたちはリレーで演奏をつないで最上層のフォルトに届ける。そのメロディーをフォルトが奏でるとビオラリュームが反応を示した。

### EVENT

「そういえば……
あの子の名前を聞くのを
忘れてしまいましたね」

闇の太陽が消滅し、世界に平和が訪れた。しかし、異界の脅威は残されたままである。トーマス達とできうる限りの準備をしておこうと話し合う中、ミッシェルはふとレオーネの側にいた銀髪の少女の顔を思い出した。




### WORDS

**■ビオラリューム**

水底の民が造った共鳴魔法の増幅装置。レクト島の地下深い海底に封印されており、起動のためには完全な幻のメロディーと共鳴魔法を継承した歌姫の存在が必要となる。異界の月の転送に使われたものであり、今回の闇の太陽を制御できる唯一の切り札となる。

メインビジュアル

Illustration by You Shiina

# Connection of the world

# 3つの世界のつながり

3つの世界にはキャラクターやアイテムなどで数多くの接点がある。ここでは、それを詳しく解説していく。

## アヴィン

『朱紅い雫』の主人公アヴィンは、エル・フィルディンでの活躍後、トーマス達とヴェルトルーナに渡ってきた。外見上はそれほど変わらないが、少しだけ後ろ髪が伸びている。

## マイル

アヴィンの永遠の相棒は当然ながら旅に同行。磨きのかかったコンビネーションでフォルト達を助ける。金髪もロングになり、美少年から美青年へと成長した。

## トーマス

ガウェインから受け継いだプラネトス号の改造に成功し、念願のガガーブ越えを果たす。キャプテン・トーマスとしての華やかな活躍後、ティラスイールで気ままな隠居生活を過ごしている。

## ルカ

技術者としての能力を発揮し、プラネトスⅡ世号のエンジンを開発、そのまま船乗りとなり、トーマスの右腕として活躍した。アヴィンとルティスが結ばれていれば義兄弟のはずだが…？

### ガガーブ 朱 海 白

3つの世界を分断する大断層。水底の民が異界へ害周波の塊を転送した際に利用していた害周波の一部が制御不能となり、その共振によって世界が引き裂かれることになった。海面では巨大な渦が、上空では乱気流があらゆるものの進入を阻んでいる。

### 真紅の炎 朱 白

ブリザックのアイトン洞窟で真紅の炎が養殖されているのを見たミッシェルは、地質がネガル島と似ていることに気付く。貧しいネガル島の人々の助けになればとティラスイールに養殖の技術を持ち帰り、その性質の詳細を文献に残している。

### 異界の月 海 白

『海の檻歌』で残されたままの異界の月は、闇の太陽が消滅したことで、多少は膨張を抑えることができたが、それも十数年後に限界を迎える。残された手段は他の世界へ転送するしかなかった。こうして『白き魔女』ではラウアールの波をこちらの世界へ引き寄せる作戦が実行された。

### 共鳴石と銀の短剣 海 白

『海の檻歌』の重要アイテムである共鳴石はマクベインがミッシェルに渡して力の封印を頼んだ。ミッシェルの魔力で封印を施された共鳴石は銀の短剣に形を変えた。そして銀の短剣はラグピック村の巡礼の旅に使われ、『白き魔女』でジュリオの手渡る。

### 小説サフィー 朱 白

カラムロ・カラムスがルキアスをモデルに書き上げたエル・フィルディンで流行った娯楽小説。誰が持ち込んだかティラスイールでも愛読されている。

## フォルト

ヴェルトルーナの危機を救ったあと、ミッシェルを手伝いたいと考えて一緒にティラスイールへ。オルドス建国に協力して神官となる。そしてジュリオとクリスの到着をまろうどの賛歌で祝福した。

## ラモン

海賊王は、どうやらライバルであるトーマスを追ってティラスイールへ渡ったようだ。バロンと名を改め、ダイスの大統領となりカジノ政策で町を発展させている。ルーレ（トーマス）とも友情が芽生えて仲良くやっている。

## イザベル

女王として育てられたイザベルは、異界を救うため、自らがティラスイールに渡る決断をする。ルドルフ王に見初められて王妃になると、占星術師レバスを呼び寄せ、ラウアールの波を引き寄せる計画を実行した。

## レバス（14世）

父レバス13世から英才教育を受けて成長し、イザベルと共にティラスイールに渡って、フォルティアの占星術師となった。世界に争いの火種を巻き、負の想念を天球儀に集めてラウアールの波を引き寄せた。

## ミッシェル

『朱紅い雫』『海の檻歌』では頼りになる相談役となり、『白き魔女』では物語の冒頭と結末をびしっと決めてみせた。物語の中心にいつも身を置く彼は、まさしく真の主人公と呼ぶに相応しい活躍を見せている。

## ゲルド

レオーネの元で成長したゲルドは、イザベル王妃の計画を止めるため、ティラスイールに渡り、数々の言葉を残して短い生涯を終えた。その足取りをジュリオとクリスが辿ったことで大きな奇跡が起こることになる。

## エスペランサー 朱 白

神剣エリュシオンは光の神バルドゥスが消滅したことによって力を失った。アヴィンは「別の大地で必要としている人に渡してほしい」とミッシェルに剣を預けた。ミッシェルはエリュシオン（神々の楽園）という名が神々の消えた時代には相応しくないと考えてエスペランサー（希望を拓くもの）と改名した。そしてエスペランサーは若き日のデュルゼルに託されている。その後、白き魔女の墓前に突き立てられたエスペランサーは夜露にさらされて錆びつくが、ゲルドの力によって再生し、ジュリオの手に渡ることになる。ラウアールの波の危機が去ったあと、ジュリオはデュルゼルに剣を返したが、ローディとの手合わせの最中に役目を終えたかのように折れてしまう。

## プラネトス号 朱 海 白

エル・フィルディン最速の船脚を誇る純白の帆船は、ガウェインからトーマスへ譲られたあとに、ルカやミッシェルたちの協力でプラネトスⅡ世号に生まれ変わる。フレームにレアメタルを使用した高性能エンジン「HF-Ⅱ型」を搭載し、船によるガガーブ越えを実現させた。ヴェルトルーナへ渡ったあと、海賊王ラモンの黒竜号と幾度となく戦闘を繰り広げて、その武勇伝は多くの人に語り継がれる。やがてその話が小説となり、ティラスイールの人々に愛読されることになる。ジュリオもキャプテン・トーマスの物語を夢中になって読み、憧れのヒーローとなった。

## それ見よわが元気 海 白

『海の檻歌』でフォルトが得意としていた曲を、『白き魔女』ではキタラ弾きのトロバが演奏している。2人の間につながりがあるのかは不明。

## バンバン 朱 海 白

フィリーの友達である小熊のバンバンは、『朱紅い雫』『海の檻歌』では女の子が大事にしているぬいぐるみとして登場している。

# ガガーブ世界の歴史と大魔道師のあゆみ

ガガーブの世界を全て渡り歩いた魔道師ミッシェル・ド・ラップ・ヘブンのあゆみと共に見る歴史を紹介！

## ガガーブ暦年表

| | |
|---|---|
| 創世記 | かつて巨大な蛇と巨人が戦い、その結果生まれたとされる地形が各地に存在する。 |
| B.G.以前 | バルドゥス神とオクトゥム神が戦いオクトゥム神が封印の地に封じられる。 |
| B.G.以前 | オクトゥムとバルドゥスが眠りについた後、『青の民』と呼ばれる一族が独自の魔法文明を築き、地上を支配した。 |
| B.G.59 | 神々の干渉がなくなったのを受けて、『青の民』が共鳴魔法を完成させる。 |
| B.G.56 | ヴェルトルーナを中心に共鳴魔法が広まる。転位門を建造するなど世界各地に影響を与える。共鳴魔法による魔法文明が栄華を誇る。 |
| B.G.47 | 異界の存在を確認。 |
| B.G.2 | 『害周波』を発見。共鳴魔法の使用禁止を決定。 |
| 元年 | 建造中のビオラリュームと害周波の一部を利用して、害周波の塊を異界に転送。制御を失った害周波の一部の共振によって、大断層『ガガーブ』が生まれる。残された害周波の一部をオースタンのセルバートに封印。『闇の太陽』と命名。 |
| 異G.0 | 転送した『害周波』の監視のため、青の民の一部の者が異界に移住。転送された害周波の塊を『異界の月』と命名。 |
| 異G.50 | 生まれつき魔法が使える体質の子供が生まれ始める。 |
| 異G.75 | 『異界の月』の影響が表面化。 |
| 異G.147 | 『歪み』の存在を再認識。 |
| 異G.149 | 『歪み』を通り、祖先のもといた世界を訪問。シャリネの巡礼が始まる。 |
| A.G.149 | 異界の人々が『歪み』を通り、頻繁に来訪するようになる。ティラスイールの各地にシャリネを作り魔女の巡礼が始まる。 |
| A.G.200 | この頃、妖術師テンペストの陰謀によって、赤の部族内の対立が激化。エル・フィルディン全土が戦乱の渦に巻き込まれる。 |
| A.G.210 | 魔女の巡礼を真似て、ティラスイールの各地の村で巡礼の儀式が広まる。 |
| A.G.251 | 戦士ミリガンと、騎竜アルブレヒトによって、テンペストが倒される。 |
| A.G.258 | 戦士ミリガン、抗争を続ける赤の部族を統合して連合王国を創建。教会の支持を受け、初代国王として即位し、後に『火焔王』と呼ばれる。 |
| A.G.417 | ボレアス地方北部にて、氷漬けのドゥルガー神殿が発見される。 |
| 異G.276 | 『異界の月』の内部の『害周波』に活性化を確認。魔法使用による『害周波』の直接放出を確認。 |
| 異G.464 | 飽和した『異界の月』の膨張が確認される。 |
| A.G.502 | ヴァルクドの大聖堂が落成し、以後バルドゥス教会の総本山となる。カテドラールは、神官が修行するための聖地として扱われるようになる。 |
| A.G.703 | ベイル船長によって南方航路が発見され、ガガーブが発見される。以後、数多の船乗りがガガーブに挑戦するが、ことごとく失敗に終わる。 |
| 異G.739 | 『異界の月』の影響により土地の一部が汚染されて『常夜の地』が広がる。エスフィンに遷都。 |
| A.G.802 | 王家の援助を受けて、魔法大学校が創立される。以降、エル・フィルディンにおける魔法体系が急速に発展する。 |
| A.G.873 | グラバドル十日間に渡る大火に見舞われる。この火事により町と城は焼き尽くされ、また多くの財産が失われた。 |
| A.G.890 | レオーネ『幻のメロディー』を再現した『水底のメロディー』を完成。悪用されないため、フレーズごとに24個の石に刻み、共鳴石と名付ける。 |
| A.G.893 | レイゼン老人、レオーネと出会う。 |
| A.G.893 | レオーネ、国際劇場で活躍。カヴァロは『芸術の都』としての名を揺るぎないものにする。 |

| | |
|---|---|
| A.G.893 | セルバートにレオーネが訪れる。 |
| A.G.893 | マクベイン、レオーネと出会う。この出会いがきっかけでマクベインが音楽家を目指す。 |
| A.G.923 | レクト島監獄、閉鎖される。 |
| A.G.898 | 賢者レミュラス、教会の顧問役をディナーケンに引き継ぐ。同年、ノトス連峰中腹に見晴らし小屋を建てて隠棲する。 |
| 異G.908 | 海を漂流していたレオーネがアプロートの村民に助けられる。 |
| 異G.908 | レオーネ、メルヴィール王家の楽士として仕える。 |
| A.G.913 | 7年間の遊歴の旅を経て、ミリガン16世が即位する。 |
| A.G.915 | 海の英雄ガウェイン、王家と教会から賢者の称号を贈られる。同年、ディナーケンに代わって教会の顧問に就任する。 |
| A.G.916 | 神官ベリアス、真実の島で啓示を受け、バルドゥス教会を脱退する。 |
| A.G.921 | カナピア島が、オクトゥムの使徒によって襲撃される。 |
| A.G.924 | アヴィンとアイメル、両親を亡くし孤児となる。最高導師エスペリウスに拾われ、カテドラールでの生活を始める。 |
| A.G.924 | カテドラールがオクトゥムの使徒によって襲撃される。同年、闇の結界がカテドラールを覆い、聖地は禁断の地と化す。 |
| A.G.932 | カヴァロの新市長にデミール氏が当選する。 |
| A.G.933 | グレイスールの採石場に凶悪な魔獣が現れる。以降この採石場を封鎖。 |
| A.G.933 | リッシュ・キャンベル氏、カヴァロ訪問。 |
| A.G.933 | 湿地帯で子供が迷子になる。しかし一人でカヴァロに戻る。 |
| A.G.935 | ラウゼン、策謀により王家を陥れ皇帝の座を手に入れる。 |
| A.G.936 | アヴィン、マイルと共にアイメルを捜す旅に出る。 |
| A.G.936 | アヴィンと仲間たち、約一年の旅の果てに人類の巣立ちを見る。 |
| A.G.940 | リュトム島、毎日のように海賊に襲われる。リュトム島、リッシュの私有地となる。 |
| 異G.954 | 銀髪の少女とイザベル誕生。 |
| 異G.955 | イザベルが次期女王に選ばれる。レオーネ、銀髪の少女を連れて失踪。 |
| A.G.943 | シャオからマクベイン宛てに小包が届く。中身はマクベインが長年探していたレオーネ著『水底のメロディー』。 |
| A.G.943 | シェラ婆さんからクランカへのお使いを頼まれ、クランカのカペロ婆さんに染料を渡す。 |
| A.G.943 | ルース街道の川原でウーナのピッコロを聴かせてもらう。 |
| A.G.943 | 入り江の灯台屋上にてマクベインが魔獣を撃退。その拍子に開いたテラスの穴から入り江の灯台の隠し部屋に侵入。 |
| A.G.943 | ラコスパルマの井戸の底に潜り「古い鍵」を手に入れる。マクベインの「ロックラッシュ」で井戸の底から脱出。 |
| A.G.943 | 入り江の灯台の隠し部屋の奥の宝箱から魔法の地図を見つける。 |
| A.G.943 | クランカの水路に大量の毒があふれ出す。 |
| A.G.943 | クランカの水路の水を止め、クランカの地下水路で『楔』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | 新生マクベイン一座によるヴェルトルーナ巡業の旅始まる。 |
| A.G.943 | 水門小屋のドルソに演奏を聴かせたお礼に、ドルソからレオーネ直筆「陽気な旅人」の楽譜をもらう。 |
| A.G.943 | 新生マクベイン一座、クランカにて初公演を行なう。 |
| A.G.943 | マクベイン一座、フォルトの女性ファンのためにピンゼルの噴水前で演奏会を開く。 |
| A.G.943 | ファゴットの酒場で演奏を行なう。 |
| A.G.943 | ファゴットの船着場で旅券手帳を盗まれる。 |
| A.G.943 | ファゴットの港からストマック号に乗船。マクベイン一座ストマック号甲板で演奏会を開く。 |
| A.G.943 | トリムでシャオとレイチェルに出会う。 |
| A.G.943 | グリシス洞窟前で子供を助ける。 |
| A.G.943 | グリシス洞窟で『心眼』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | トリムで演奏会の宣伝ポスター貼りを行う。 |
| A.G.943 | マクベイン一座トリムで『心を開いて』演奏会を行う。 |
| A.G.943 | 森道でトビネズミを助ける。 |

## ミッシェルさんの軌跡

### 0歳

ティラスイールの地で産声を上げる。

### 16歳

フォルティアのラグピック村を訪れる。

### 28歳　朱紅い雫

西の彼方から邪悪な波動を感じ取る。転位魔法によって単独のガガーブ越えに成功。西のエル・フィルディンに辿り着き、波動の源を調査し始める。

「そのう…やっぱり信用して頂けませんかね？」

**真実の島でアヴィン達と遭遇**。アヴィンとルティスから不審の目で見られてしまう。しかしガウェインがフォローしてくれる。その後、遺跡の啓示を受けようと四苦八苦するアヴィン達に「ちょっとしたコツが必要でして」と協力をする。

「(あれ…この人。どこかで見たことがあるような…)」

カテドラールの裏手から島に入ろうとするが**結界に阻まれ**失敗。カナピア島の沖合いで**漂流**中、トーマス達に発見される。

「俺が知る限り、そんな訛りで喋る地方は無いはずだ」

意識を取り戻し彼らにお礼を言う。和やかに場が進むかと思われたが、言動、格好、行動についてトーマスが不審がる。一旦はアヴィンが助け船を出すものの、**やっぱり怪しまれる**。

「ミッシェルさん…あんたスゴイぜ！」

ブリザックの酒場にて。改めてティラスイールからやって来た事をアヴィン達に告白する。トーマスはガガーブの向こうに別の世界があった事に大興奮。「偉業を果たしたんだ！」と**尊敬される**。エル・フィルディンにやって来た2つの理由を明かす。

「こんなものが採れたら、ネガル島の人々の暮らしもずいぶん楽になると思うのですが…」

アイトン洞窟の泥炭で養殖された**『真紅の炎』の存在に驚く**。

「いやぁ、若い人はうらやましいですね」

洞窟内で落盤が発生。閉じこめられたルティスを助けるためにアヴィンは真紅の炎を使う。この時の一連のやりとりでわかったアヴィンとルティスの仲を見てひやかし、**おっさんくさい事を言う**。アヴィンにちょっと嫌がられる。

| | |
|---|---|
| A.G.943 | ビエントでシャオの決めたアルバイトをやる羽目に。 |
| A.G.943 | お屋敷の地下でネズミにお菓子をあげる。 |
| A.G.943 | ウーナがスイング団に誘拐される。 |
| A.G.943 | 水琴窟でウーナを救出。ネズミが助けてくれた。 |
| A.G.943 | 水琴窟で『水』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | アーベンコトルでトビネズミ『リック』がマクベイン一座に仲間入り。 |
| A.G.943 | カントスのシュベールと出会う。 |
| A.G.943 | 音楽学校の発表会をスイング団が襲撃する。 |
| A.G.943 | 音楽学校の発表会でマクベイン一座演奏。『生命』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | ボザールでアルトスと再会する。 |
| A.G.943 | 採石場でダンケ親方と対決、採石場に入る許可をもらう。 |
| A.G.943 | 採石場で『大地』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | 採石場でスイング団に眠らされ、『大地』の共鳴石を盗まれる。 |
| A.G.943 | 旧採石場でスイング団と対決、『大地』『子守唄』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | ルヴァンパッソで魔獣に襲われているエグール子爵を助ける。 |
| A.G.943 | エグール子爵から『忍耐』の共鳴石を手にいれる。 |
| A.G.943 | 洞窟道で行方不明になったユートを発見する。 |
| A.G.943 | エグール子爵から子爵の紹介状と公爵への手紙をもらう。 |
| A.G.943 | エグール子爵に報告。ビロードの小袋をもらう。 |
| A.G.943 | エンボリオンの町の人にパンを配り、演奏会を開く。 |
| A.G.943 | ペニソラ公爵にビロードの小袋を渡す。 |
| A.G.943 | エドガーから『技』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | リュトム島へ出発。 |
| A.G.943 | マクベイン一座グランブル号の甲板で演奏会を行う。 |
| A.G.943 | リュトム島で『束縛』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | マクベイン一座リュトム島の演奏会に出場する。 |
| A.G.943 | リュトム島でブレガー、ラモン、リッシュの会話を盗み聞きする。 |
| A.G.943 | バンケット号が海賊ラモンの襲撃を受ける。 |
| A.G.943 | マクベイン一座黒竜号へと乗り込みラモンと対決。 |
| A.G.943 | プラネトスⅡ世号が現れ、海賊を完全に追い払う。 |
| A.G.943 | ポルカにて本物のスレイド外交官と出会う。 |
| A.G.943 | ウィオリナ湖で澄んだ歌声の少女を見る。 |
| A.G.943 | 湖畔の祠で『的』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | 湿地帯でパルマン部隊と出会う。 |
| A.G.943 | 湿地帯の雷の祠でヌエを撃退。『光』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | カヴァロでゼノン司令を見かける。 |
| A.G.943 | 湿地帯で負傷したパルマン隊長を発見する。 |
| A.G.943 | アリア救出作戦開始。 |
| A.G.943 | アリアを連れてカヴァロを脱出する。 |
| A.G.943 | 草原結界を抜けた先で、『行進』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | 隠れ里シュルフに到着する。 |
| A.G.943 | ガガーブの裂け目を見る謎の男と出会う。 |
| A.G.943 | シュルフの族長オラトリオから、水底の民についての話を聞く。『力』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | ロゼット工房でシャオたちと再会する。 |
| A.G.943 | エキュルの地下水路でジャンがバンバンの匂いをかぎつける。 |
| A.G.943 | ジラフの洞窟でバンバンを発見。 |
| A.G.943 | ロゼットがさらわれる。 |
| A.G.943 | ジラフの灯台でブレガー、ネクロスと対決。ロゼットを救出し、『風』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | マクベイン一座、グリム橋にて新婚カップルのために演奏を行なう。 |
| A.G.943 | マクベイン一座セルバートで演奏会を開く。 |

「ミッシェル殿には、
驚かされてばかりいるな」

真紅の炎に魔力を注ぎ込んで膨らませるという**妙案をひらめく**。ガウェイン、トーマス、アヴィン達からますます一目置かれるが「ただの奇策好きというだけですよ」と普通に返す。

「トーマスさんの腕を
信用してましたからね」

トーマスと荒れ狂う海に小舟で出る。魔法を使い真紅の炎を爆発させて地脈に衝撃を与える。海を鎮める事に成功。お互いを信じての共同作業の末、**トーマスとの信頼度アップ！**

「詩人だな、ミッシェルさん」

死者との別れを惜しみながら、ひたすら歩む道と言われている、**惜別の道**。強くなる雨を仰ぎ見て、ミッシェルは「まるで、天が涙を流しているかのようだ」と呟く。ちょっと意外。

「この戦いはエル・フィルディンだけの
問題ではないと思います」

最終決戦前の**決意**。オクトゥム神が蘇れば、故郷であるティラスイールも無事ではすまないと考え、手伝いたいと言う。

「はは…ずいぶんと、にぎやかな
お嬢さんですね」

マイル様命のシャノンを見て微笑む。

「行きましたか…しかし、
さすがにこの数は骨が折れますね」

カテドラール内部で、押し寄せる使徒たちの足止めを引き受ける。「本気を出す必要がありそうだ」と、おもむろに**本気モードに突入**。

「ほう…あの魔道師、なかなか
やるようだな」

ダグラスとルキアスのピンチにひょっこり現る。2人に助太刀し、形勢逆転。それを見ていたベリアス卿に**一目置かれる**。

「ミッシェルさん、どうかよろしくご教示下さい」

**青の民の文明の研究**を始めるというエレノアに頼まれる。快く承諾。

トーマスたちに協力してガガーブの調査を行いながら**南の世界を目指す**。アヴィンから託された神剣エリュシオンを『エスペランサー』と改名。

## 35歳　海の檻歌

トーマスたちと共に南のヴェルトルーナに辿り着き、この地から感じる不吉な波動の調査を開始。転移魔法を使って、各地を飛び回る。

「あるんですよね…って」

マクベイン**一座と遭遇**。ガガーブの断崖に立ち、おもむろに世界について語り始め、言いたい事を言って突然去る。

「どこにでもってわけじゃ、ありませんが」

合流後、落ち着く暇もなく、闇の太陽について1人で調べに行くと言うと、アヴィンからミッシェルは1人なら**どこでも転移できる**、と言われる。本当のところは不明だが否定する。

| | |
|---|---|
| A.G.943 | 溶岩窟を抜けた地下遺跡で『炎』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | 地下遺跡で闇の太陽を発見する。 |
| A.G.943 | オアシスで『闇』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | グリム橋の湖底洞窟で『精霊』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | セルバートにヌメロス兵、ゼノンが現れ、闇の太陽とアリアを奪っていく。 |
| A.G.943 | エネドでヌメロスの船に追いつくも逃げられる。窮地のところをプラネトスⅡ世号に助けられる。 |
| A.G.943 | クロトの糸を用いた偽木人で脱出。 |
| A.G.943 | クルダでカプリを発見する。 |
| A.G.943 | 鏡の洞窟で『鏡』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | クルダで共鳴木人兵と対決、『戸惑い』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | ブレガーと対決。カプリ、ペドロが壊れる。 |
| A.G.943 | マクベイン一座、ヌメロス兵に志願する。 |
| A.G.943 | 泥濘洞窟で、『泥濘』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | 闇の太陽暴走。 |
| A.G.943 | ナレサ隊長より、『泥濘』『愛』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | グラバドル城北壁にて魔女の島現象を見る。 |
| A.G.943 | アリア、グラバドル城で倒れる。 |
| A.G.943 | デュオール王子から『刻』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | 共鳴石を求めレクト島に渡る。 |
| A.G.943 | レクト島で『隠者』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | 暦の間で異界への道を知る。 |
| A.G.943 | プラネトスⅡ世号で異界へ。 |
| A.G.943 | ミッシェル・ド・ラップ・ヘブン、魔女の島にわたる。 |
| A.G.943 | 異界の女王メルヴィールと会う。 |
| A.G.943 | 古の遺跡を抜け、レオーネの小屋にたどり着く。 |
| A.G.943 | レオーネを襲う三人の暗殺者と対決する。 |
| A.G.943 | 化石樹の森で魔獣と化したレバス14世と対決。レバス13世から『誕生』の共鳴石を手に入れる。 |
| A.G.943 | デュオール王子、気圧調整装置を作動させる。 |
| A.G.943 | 水の回廊でみんなと合流する。 |
| A.G.943 | 水の玉座でビオラリュームを浮上させる。 |
| A.G.945 | ミッシェル・ド・ラップ・ヘブン、シャリネを巡る。 |
| A.G.955 | 妖術使いゲッペウス、大魔道師オルテガとの技くらべに破れる。 |
| A.G.955 | 大魔道師オルテガ、竜退治を行う。 |
| A.G.955 | 大魔道師オルテガ、妖術使いゲッペウスと協力し、悪魔を倒す。 |
| A.G.958 | 大魔道師オルテガ、賢者の都オルドスを開く。 |
| A.G.961 | 大魔道師オルテガ、オルドスを離れてラグピック村へ隠居。銀の短剣をラグピック村、村長に託す。 |
| A.G.961 | 修行中のデュルゼルがオルテガを訪ねる。デュルゼル、エスペランサーをオルテガより託される。以降オルテガはラップの名を名乗る。 |
| A.G.964 | デュルゼルがフォルティアの宮廷剣士になる。 |
| A.G.969 | 異界のイザベルが、魔女の海岸に流れ着く。フォルティアのルドルフ王と結婚。半年後、レバスがルード城の占星魔術師として招かれる。 |
| A.G.971 | ゲルドが異界よりティラスイールに渡る。予言を残しながら旅し、白き魔女と呼ばれるようになる。 |
| A.G.972 | 白き魔女、18歳の若さでこの世を去る。 |
| A.G.972 | デュルゼルによりゲルドの杖はラップに託される。 |
| A.G.977 | ネガル島海域でレバスとカジムが海獣ガルガの制御実験。 |
| A.G.982 | ラップ、狼の群れに襲われるシノン一家を救う。 |
| A.G.989 | デュルゼル、ドルフェスの塔に幽閉される。 |
| A.G.992 | ジュリオとクリス、ラグピック村から巡礼の旅に出る。 |
| A.G.992 | ジュリオとクリス、三ヶ月の旅の末巡礼を終える。 |

「残りし者…去りし者…」

暦の部屋。水の民の末裔であるアリアがトランス状態になり、謎を解くが疲労から昏倒してしまう。一部始終を見ていたミッシェルが駆け寄る。**「あとは私が」。**

「王室では『異界の月』が許容量を超えるのは、いつ頃だと計算しているのですか？」

異界の女王宮で**はったりをかます。**

「………」

挨拶に来たレバス13世と対面する。お互いにただならぬ波動を感じ、静かに**見つめ合う。**

「うん」

異界から元の世界へ。見送りに来たレオーネ立ちと挨拶。ミッシェルは**銀髪の少女に**「お元気で」と、優しく話しかける。

「ラップの奴、今、現れたら最高のタイミングなんだけどな」

魔法に束縛されたフォルトたちの前にひょっこり転移してくる。**タイミングばっちり**。マイル、思わず「出た」と呟く。

「あなたには『闇の太陽』の脅威から世界を救った英雄として善政を続けてもらいます」

全てが終わり、**迷うデュオールに対して**言い放つ。

「これはうらやましい」

パルマンとアリアを皆で、祝福する。**うらやましがる。**

マクベインに共鳴石の処分を頼まれる。**共鳴石の力を封印**して、銀の短剣に変える。

**47歳**

得度して、名を『オルテガ』と改める。

**50歳**

力の均衡を考えて魔法をカンドとチャッペルのふたつに分け、人々に伝授する。また、地方のシャリネに賢者を配置する。

**64歳**

持てる魔力を使い、ゲルドの杖に封印を施す。これにより魔法力はほとんど失う。

**84歳　白き魔女**

ラグピック村のはずれで、変わり者の爺さんとして暮らす。

「物干し代わりに使っとったんだから遠慮する必要はない」

巡礼の旅にでるジュリオとクリス。自分に会いに来た2人にお話。封印したゲルドの杖をクリスに渡し、子供達の旅に**希望を託す。**

「どうして、そんなにすごい人だったことをみんなに黙ってるの？」

ラップの偉業を知った子供達。近寄って来た彼らに、ゲルドの事、**これからの世界の事**、必要な力とは何か、を話す。

永倉由紀：コンプティーク（角川書店）で『白き魔女』のコミックを連載。

竹山祐右：「ガガーブトリロジー公式ホームページ」と「Side-BN」で『海の檻歌』のコミックを連載。

## 海の艦歌コミックは巻末から

巻末より竹山祐右先生の『海の艦歌』コミック（公式ホームページとSide-BN誌上で連載）を特別収録。恋に頑張るウーナの健気な勇姿（？）をその目に焼きつけよう。

# 英雄伝説　ガガーブ トリロジー コンプリート アート ブックス


2006年5月11日　初版発行

発行者　大貫尚雄
発行所　株式会社新紀元社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-19　楠本第3ビル4F
TEL：03-3291-0961　FAX：03-3291-0963
郵便振替 00110-4-27618

制　作　新紀元社編集部

デザイン　津浦幸子（マイム）
デザイン／DTP　株式会社明昌堂
印刷・製本　東京書籍印刷株式会社

協力　株式会社バンダイ
株式会社ベック
株式会社日本ファルコム
株式会社メディアワークス
株式会社角川書店

ISBN4-7753-0460-7
定価はカバーに表示してあります。
Printed in Japan



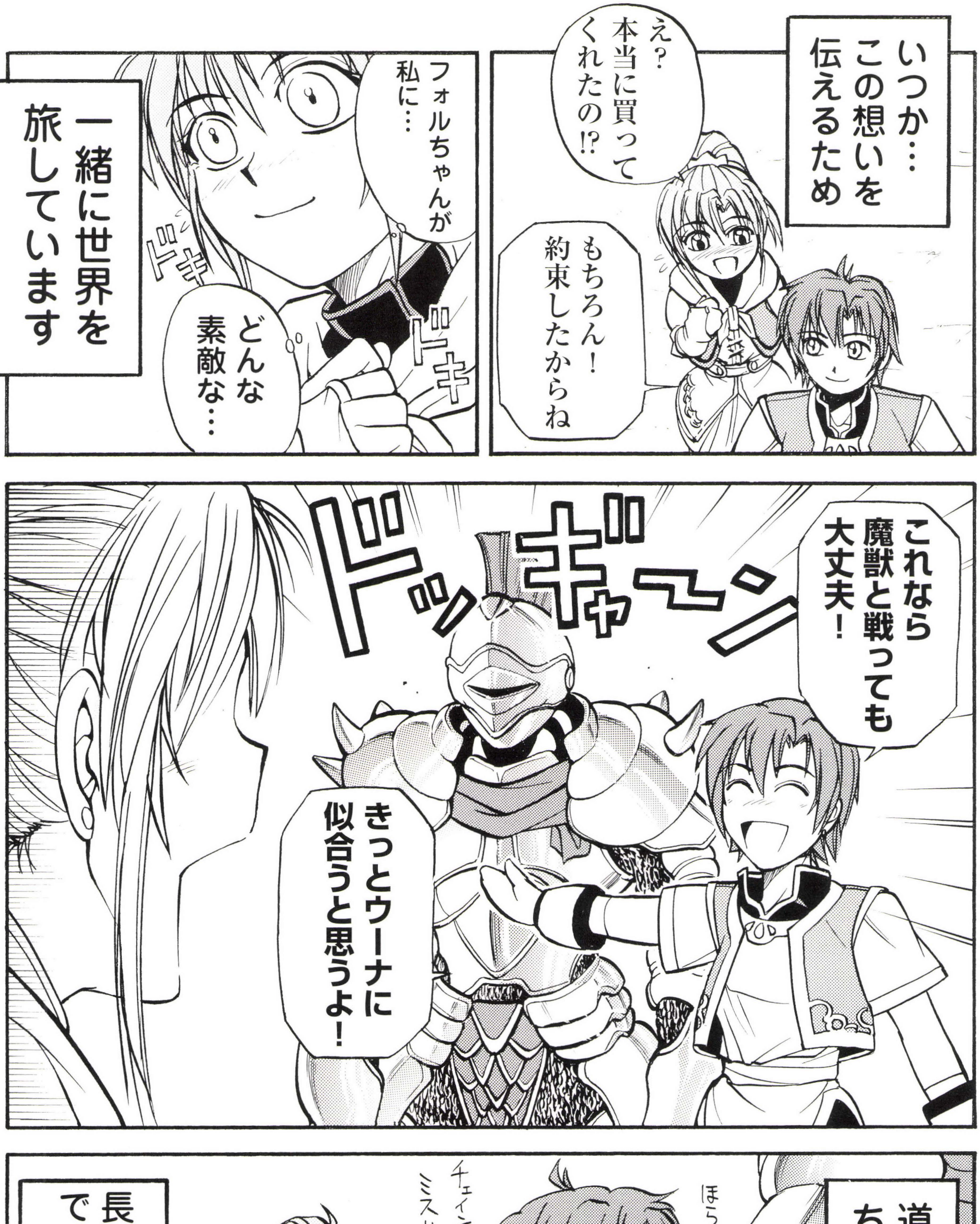
「英雄伝説 ガガーブ トリロジー 白き魔女」
©Nihon Falcom Corporation.　©BANDAI 2004
「英雄伝説 ガガーブ トリロジー 朱紅い雫」
©Nihon Falcom Corporation.　©BANDAI 2005
「英雄伝説 ガガーブ トリロジー 海の檻歌」
©Nihon Falcom Corporation.　©BANDAI 2006

Falcom
日本ファルコム(株)のライセンス許諾商品です。

## おまけ4コマ「ウーナ　恋の舞台裏」その③

### ウーナと予行演習

### フォルトと災難

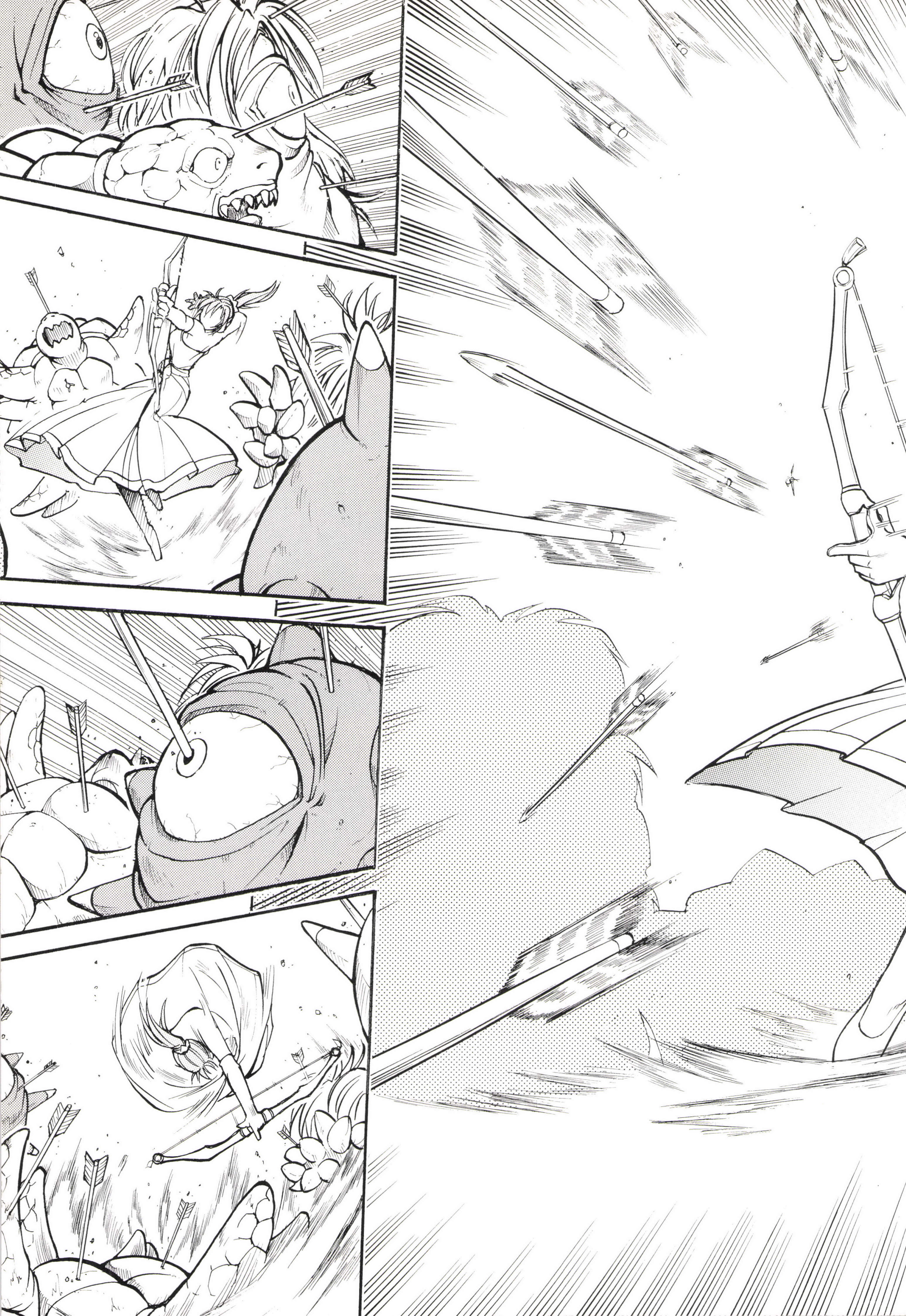

いつか…この想いを伝えるため
え？本当に買ってくれたの!?
もちろん！約束したからね
フォルちゃんが私に…
ドキドキ
どんな素敵な…
一緒に世界を旅しています
これなら魔獣と戦っても大丈夫！
ドッギャーン
きっとウーナに似合うと思うよ！
道のりはちょっと
ほら見て見て
チェインメイルはミスリル銀なんだ
とほーっ
男の子の感性って…
長そうですけど…

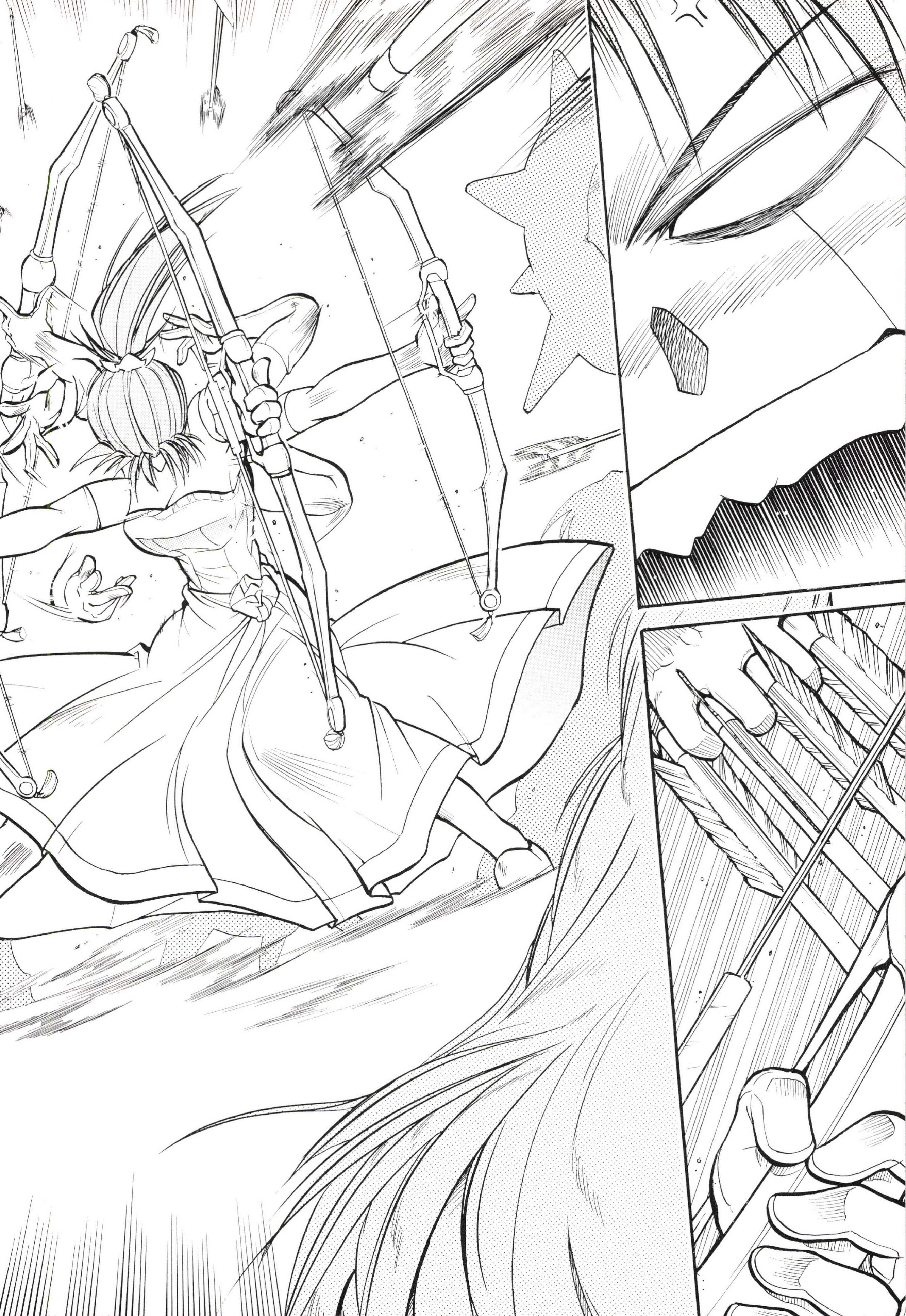
Fin.

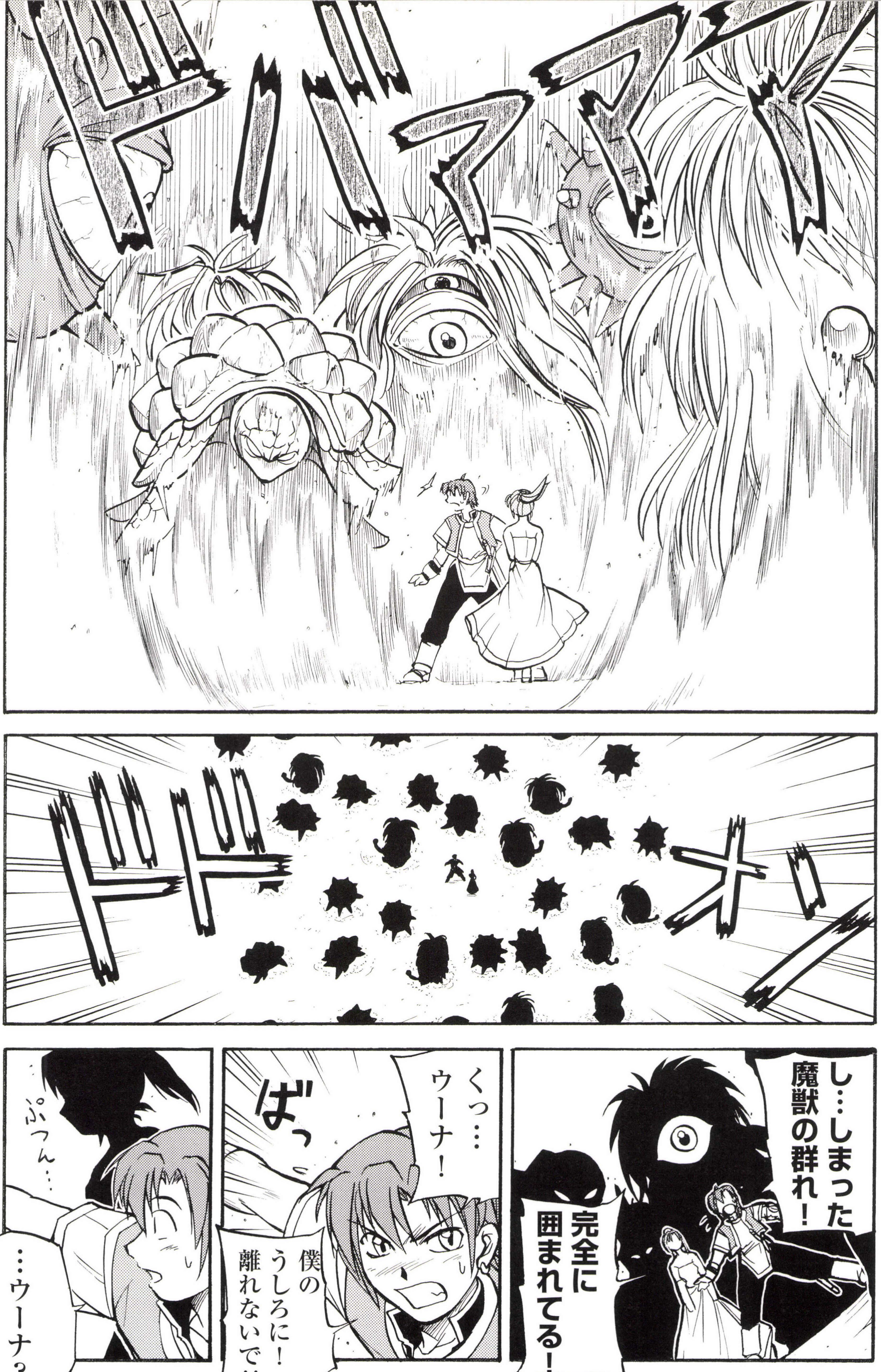
僕が…
もっとウーナに
似合うのを
買ってあげる
だから…ほら
元気を出してよ
フォル…
ちゃん…
私には…
好きな人が
います…
小さな頃から
一緒だった
とっても
優しい
男の子

あ……
じわっ
へたっ
うわあああん
ウ…
ウーナ!?
ぐすっ
わたしの…
わたしの
ドレス……
ぐすっ
フォルちゃんが
素敵だって
言ってくれた
わたしの…
大切なドレス…
らしくないよ
ウーナ
いつも元気で
笑顔なのが
君じゃないか…

コォォォオオオ
ハッ
ボロッ
はーっ
はーっ






ドバァアア
ドドオッ
し…しまった
魔獣の群れ！
完全に
囲まれてる！
ばっ
くっ…
ウーナ！
僕の
うしろに！
離れないで!!
ぷつん…
…ウーナ？

……
嬉しい…
その…飾らない言葉が一番…嬉しい！
ありがとう
ありがとう…
飾らないあなたが
一番…好き…
フォルちゃん…
今こそ
伝えよう…
フォルちゃんあのね…
私ねずっと前から…
あなたの事が…
私の…
本当の気持ちを…
好き…

…ど……
…どう……かな？
フォル…ちゃん…
お…
驚いたな…！
…あ…えと…ごめん
気の利いた言葉が
浮かばなくて…
でも…
とっても素敵だよ!!

ガギィーン
ねぇアイーダ…こんな所に何があるの？
いいからいいからちょっとそこで待っててね
ササッ
ウーナ…がんばって！
フォルちゃん…
ザザッ

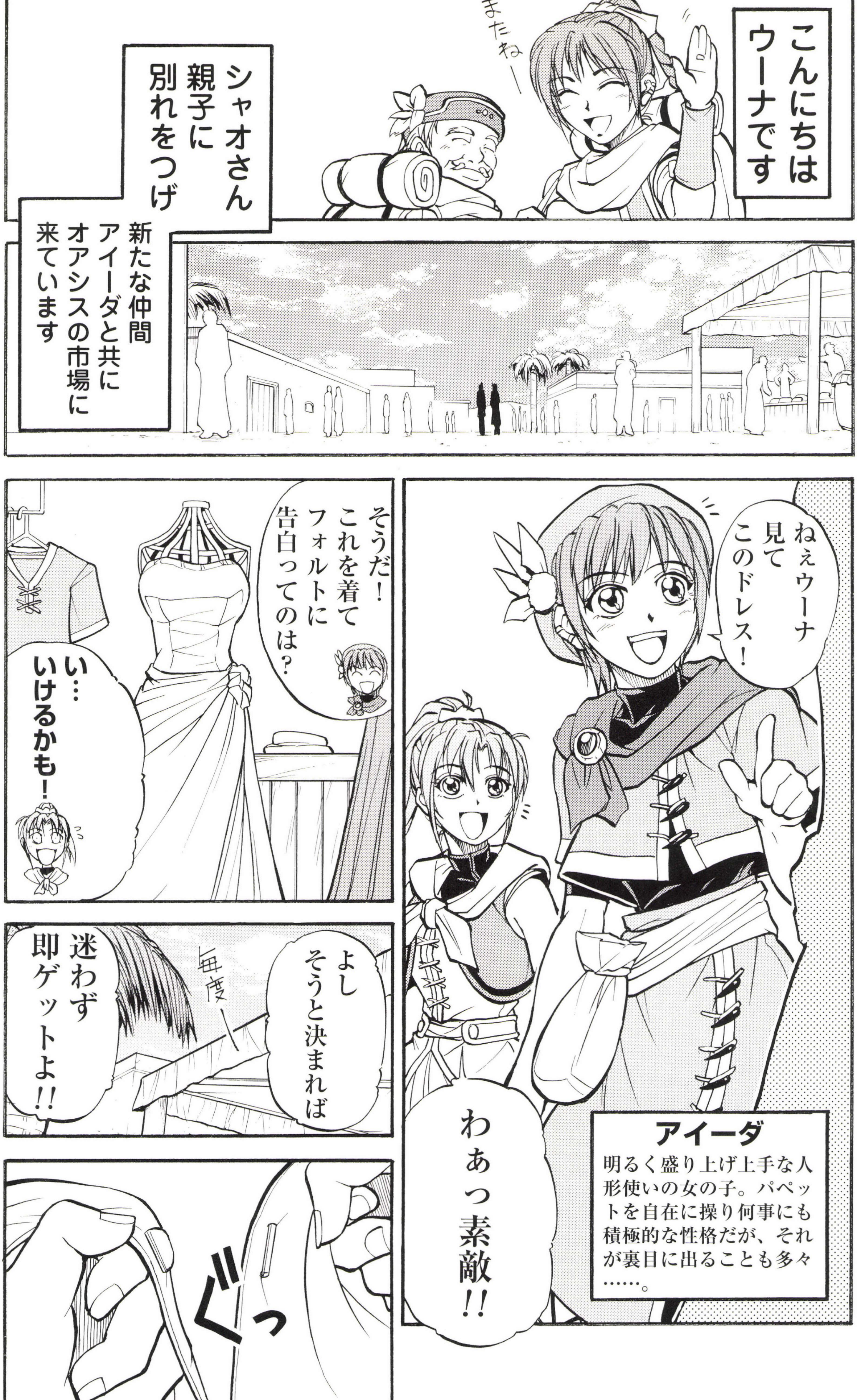
でも…
そのやさしさが
ダッ
今の私を
苦しめるの！
タタタタタタ
…僕
何か悪い事
した？
今は…ただ
見守って
あげて…
シュッ
シュッ
このリンゴ
一つだけ
頂きます…。
モグ
48
49
50！
アイーダ!!
私を縛って！
お願い
早く!!

でも…負けないわ
今まで邪魔ばかり入ったけど今度こそ…
フォルちゃんに私の想い伝えてみせる
それも完璧(パーフェクツ)な形で!!
わおっ!ウーナ燃えてるぅ!!
ガンバレ!ガンバレ!
パク
パク
…う…
ぐー
あ…
ウーナは暑さで食欲がないみたいだから
これなら
たくさん食べられるよ
やわらかくて胃にもたれない物を作ったよ
ウーナアイーダ
晩ごはんだよ
…フォルちゃん…あなたはいつでも
やさしいヒト…

ふぅ
夜は冷えるね
うむ
昼との温度差が
激しいからのう
どう？
ドレス着れた？
んー…
もうちょい
…あらら…
ウーナって見た目
スマートなのにね
はーっ
前回カニを
食べすぎた
からかな…
大きいの
丸々一匹
旅してると
各地のおいしい物とかも
つい食べちゃうしね
※第2話参照

ぐぐぐっ
は――…
砂漠は暑いよ
じいちゃん…
しっかりせんか
フォルト
ウーナなんて
泣き言一つ…
ウーナ
14歳
…と言うか…
何か鬼気迫る
ものが…
…う…む…
がんばれー!
ただいま
ダイエット中
です

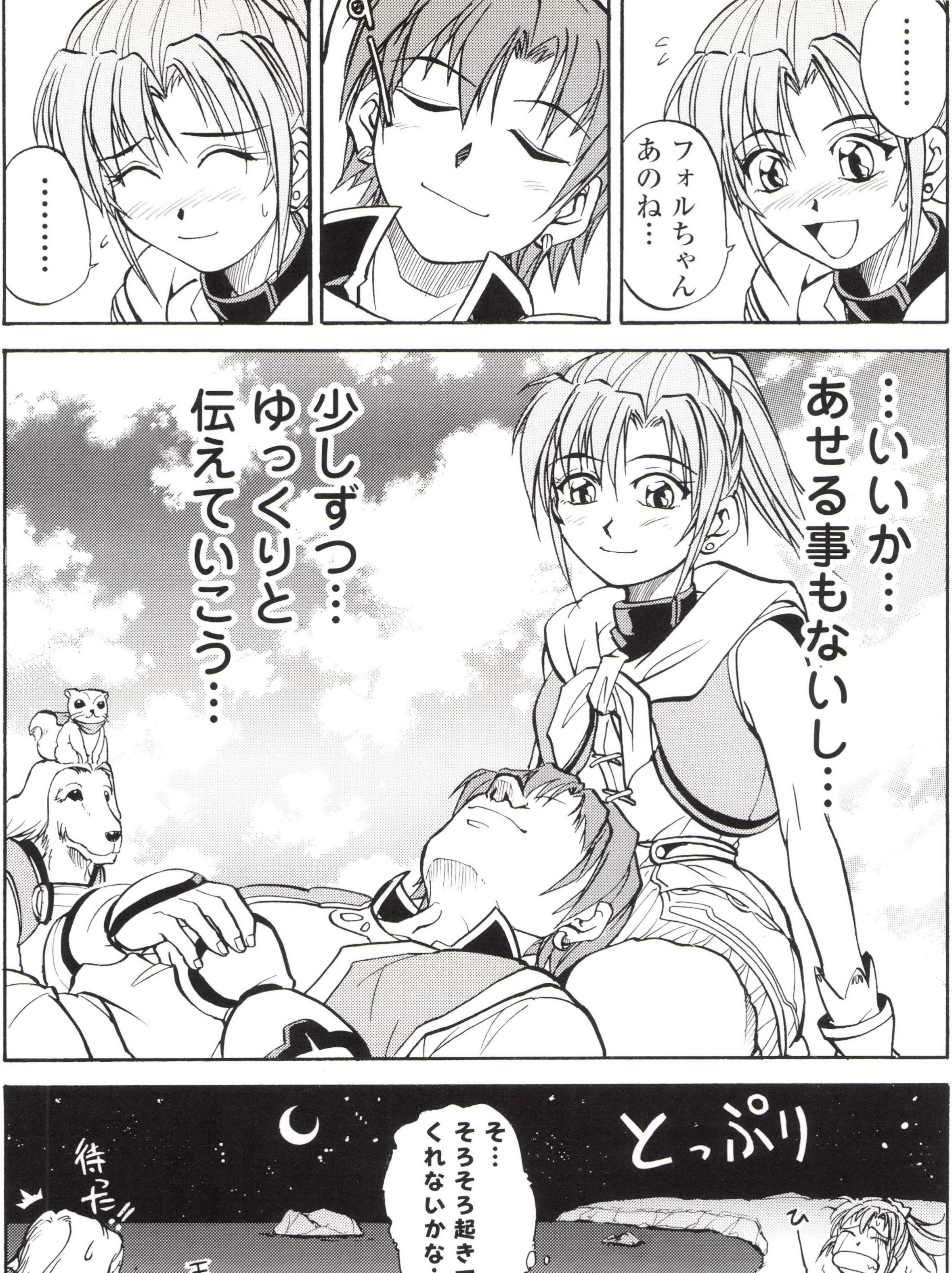
第3話


こんにちは ウーナです
またねー
シャオさん親子に別れをつげ
新たな仲間アイーダと共にオアシスの市場に来ています
ねぇウーナ 見て このドレス！
わぁっ素敵!!
アイーダ
明るく盛り上げ上手な人形使いの女の子。パペットを自在に操り何事にも積極的な性格だが、それが裏目に出ることも多々……。
そうだ！これを着てフォルトに告白ってのは？
い…いけるかも！
よし そうと決まれば
毎度ー
迷わず即ゲットよ!!
ぐっ

# おまけ4コマ「ウーナ 恋の舞台裏」その②

## レイチェルと色じかけ

## ウーナとコスプレ


……
フォルちゃん あのね…
……
…いいか… あせる事もないし…
少しずつ… ゆっくりと 伝えていこう…
とっぷり
そ… そろそろ起きて くれないかな…
王手!
待った!!

ぽ
ぷっ
ウーナ？
そのまま寝たら
頭が痛いよ
フォルちゃん
このまま
休んでよ
成功！
やった！
旅の疲れも
たまってる
頃だしね
……
ありがと
ウーナ
…えーと…
成功…したけど…
この後は…
どうしよう…

カニを食べると
無口になります
語らいどころじゃありません
食べた食べた
御馳走さまでした
まぁ…よく考えたら
カニを食べながら告白ってのも…ちょっとね
ふう
お腹いっぱいになったら
ん
何だか眠くなってきちゃったたな
ザッ

パキッ
モグ
モグ
!!
おいしい！
すごいよ
ウーナ!!
魔獣が
こんなにまろやかに！
いっぱいあるから
どんどん食べてね
…やった
手料理は成功！
肉ジャガじゃないけど
パキッ
ここから
雰囲気をもり上げて
…あ…ああ…
愛の…語らいを…！
パキッ
モグ
ペキッ
パキッ
モグ
パキッ
ペキッ
パキッ
モグ
パキッ
モグ
ペキッ

ロック
はぁっ!!
ラッシュ!!
ガラ
ガラ
おお! あったあった 共鳴石だ!!
エリーゼさん ありがとう!
いえ どういたしまして
いやーありがとう お礼に御食事でも どうですか
え?
…て じいちゃんは まだ…
お主らは 二人でカニでも 食っとれ
ささ エリーゼさん
は… はぁ…

ちーーーん
ぐつ
ぐつ
ぐつ
ぐつ
フォルちゃんカニ好きだったよね
う…うん
じゃあうんとおいしく煮てあげる
と…ところでレオーネの残したものというのは？
あ…はいあちらの岩場に…

魔獣だ!!
きゃあ!
ドシャッ
しかもエリーゼさんが襲われてる!
ガアァアア!!

…んん…
この辺で待ってればいいかな
ん――
いい風が吹いてるね
周りには誰もいない
ぐっ
チャンス!
ねえフォルちゃん
ササッ
ん 何?
がんばれウーナ
フォルちゃんあのね…
今が…その時よ!
上目づかい
この人に
私…
私の…
フォルちゃんの事が
想いを…!!
好…

ねえ
ウーナ
コンコン
一体何やってんだろ
そろそろ
エリーゼさんと
待ち合わせの
時間だよ
！
…じ…
じゃあ
行ってきます
うん
ウーナなら
大丈夫！
この島
愛を語らう場所が
いっぱい
ありそうよ？
あ…
愛って
そんな…
チャンスは
最大限に生かせ！
いいわね？
ザザーン

まとりあえずは一番目の
「色じかけ」から軽く実践してみましょう
ポイ
は…はあ…
「男は眼で殺せ！」瞳をうるませ上目づかいで
私を大好きなフォルトだと思って見つめてごらん
えっと…こ…
こう…ですか…？
ドッギャーン
す…凄いじゃない…
ドキドキ
思わずスールにしたくなったわ
あ…ありがとうございます
おめでとう卒業よ！
もはや私が教える事は何もないわ!!
早ッ!!

「色仕掛け（セクシャル）」！
うっふん
年頃の男子の頭はこんな事でいっぱい！でもやりすぎには気をつけて！
わぁ大人だぁ…
…フォ…フォルちゃんもそうなのかなぁ…？
「手料理（クッキング）」！
十八番は肉ジャガです！
家庭的な女性をアピール「え？ いつもは男勝りなあの子が!?」となると破壊力も高いぞ！
うん！
…これは…うまく行きそうかな？
「癒し（キュア）」！
はーい動かないでね
男をとろかす膝まくら！横より縦の方が頭の収まりがいいぞ!!
よりも
傾奇者曰く
カブキ者？
その状態にもってくまでが難易度高そうですね
「仮装（コスプレ）」！
ヲカエリナサイご主人さま！
非日常的演出でディープな殿方も一発ＫＯ!!
ちょっと待てー!!
フォルちゃんにそんな特殊な趣味はありません！
ネコミミメード!!

レイチェル女史の
男を陥落す特別講座!!
おと
スーパーレッスン
ざばん
Lesson.1
◎男の弱点
基本項目
1. 色じかけ
2. 手料理 家庭
3. 癒し 母性
連動
Lesson.2
◎属性対策
①内面的分類例
幼なじみ
委員長
姐さん(姉)
ツンデレ
素直クール
(クーデレ)
妹
逆転の発想
②外面的分類例
ツインテール
バランスに注意
メガネ
実践
フラグ発生
あの…レイチェルさん?
先生と呼びなさい!!
…は はい レイチェル先生…
ふふふ 心配無用
ポイントをおさえた無駄のない授業だから
じゃあ始めましょう
まずは基本項目!

こら ウーナ
女の子が暗い顔してちゃダメよ？
さーてはフォルトの事ね
よーし 私が段取りしてあげるわ
い…いいよぅ レイチェル 自分でやるから…
いいから お姉さんに まかせなさい
はーい 男性陣は 出てった出てった！
こっから先は 女性の時間
独占！ 女の60分よ
レイチェル
マクベインの弟子である
「シャオ」の娘。父親とは
似ても似つかぬ美貌の持
ち主だが、その調子のよ
さは間違いなく父親譲り

神様って残こく
二人も増えてとっても賑やか
…お願い…
お主のせいで船場帰じゃヒドイ目にあったぞコラ
ひー 師匠かんべん
どたどたどた
二人だけにさせて…

第2話

こんにちは ウーナです
レオーネが残した 伝説の〃共鳴石〃を 探して
私達は今 リュトムという 島に来ています
島で働いている エリーゼさんの 話では
確かにこの島には レオーネの残した ものがあるらしく
後で案内して くださるとの事です
…でも私には 共鳴石以上の 目的があります
それは… フォルちゃんに 私の想いを伝える事
マック じいさんは いつもあんな 感じなので
では お嬢さん お近づきの印に 愛のバラッドでも
は… はぁ…
あんな
フォルちゃんと 二人きりになる チャンス♥
だからこそ 一緒に旅に 出たのです
でも… でもね…!

**おまけ4コマ「ウーナ　恋の舞台裏」その①**

## ウーナと年の功

## ウーナとピッコロ

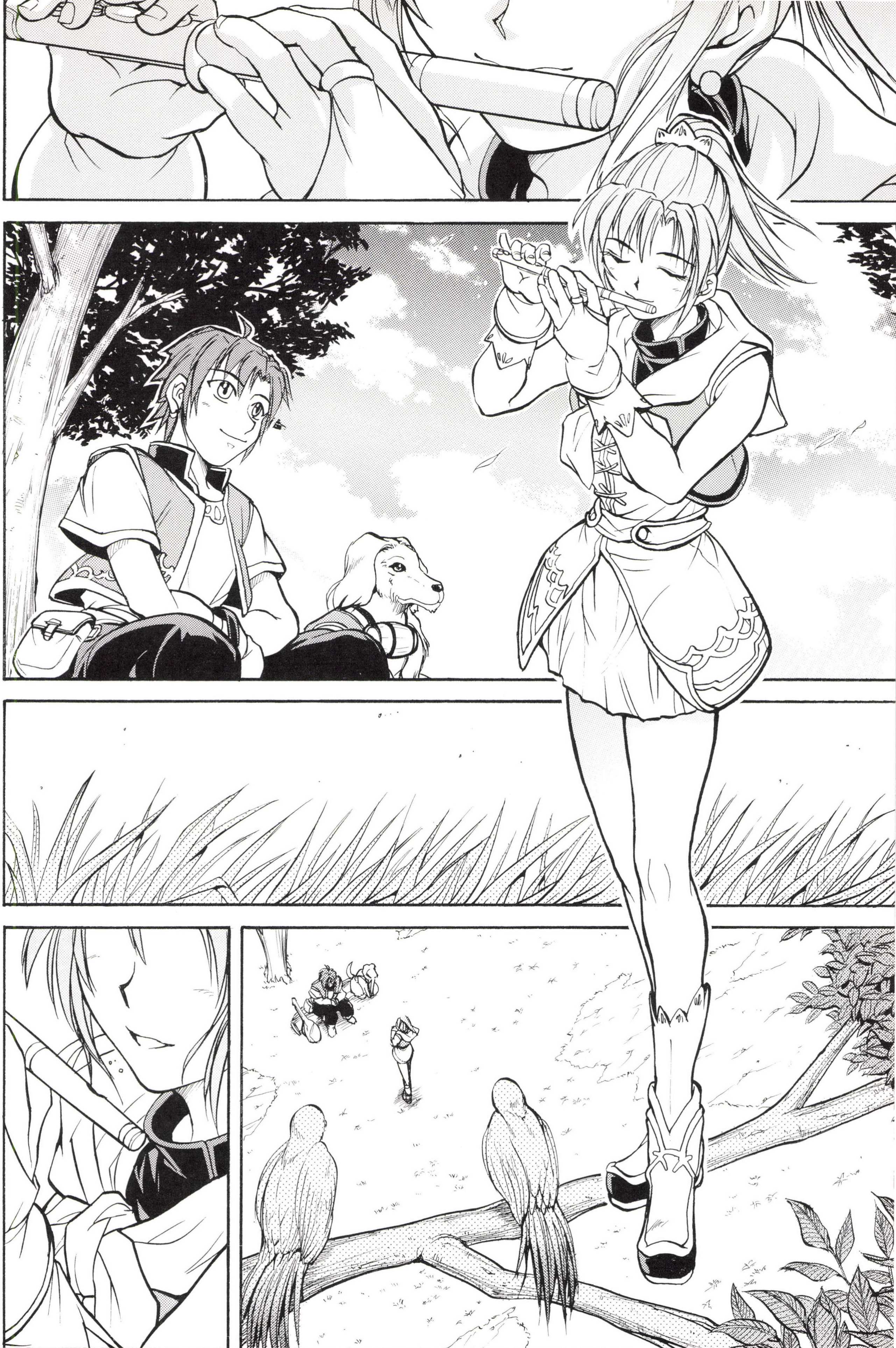
つまり…そんな訳で大海原です
わ～い
海も空も青いなぁ
もう後戻りはできません
でも…
後悔はしていません
必ず…あの人にこの想い(メロディー)伝えてみせます
見ててねカモメさん!
ドッギャ～ン
マホー
うわじいちゃんまた魔獣だよ!
えーッ!誰か引きよせてるんじゃないのか!?

旅に出るぞ！
燃えてきたわい!!
世界が！幻のメロディーがわしを呼んどる!!
僕も…一緒に行くよ！
じいちゃんのように誰からも愛される演奏家になるんだ!!
ちょ…ちょっと待ってよ！
よく言ったフォルト！
さすがワシの孫!!
まだ気持ちも確かめてないのに…！
さすがじゃねーっ!!
旅になんて出られたら
…わ
…わ…
私の…この想いが…
私も…
一緒に行く!!

結局…
せっかくのお膳立ても生かす事ができず
未だ幼なじみの域を出ない訳です…
じいちゃん…この共鳴石って他にもあるの？
うむ全部で24個あってな
全て集めれば伝説の「水底のメロディー」が完成するんじゃ
五線音符と…これって古代文字かな？
うむ…これは「楔」じゃな
共鳴石…
私達がクランカの村の地下水路で見つけた石…
それが…この旅の始まり…
!

ドドカカカカカカカカカカカ
ひゅ——
は——
は——
ゆ…弓矢もうまくなったね
ムードぶち壊し……

わぁー!
いいじゃないか!!
いつのまに
そんなにうまく
なったの!?
…あ…
これって…
これって…すごくいい
雰囲気(ムード)
…うん…
今なら…言える…
勇気を…
フォルちゃん…
出して!
フォルちゃん…
あのね
私…
フォルちゃんの
事が…



…危ない危ない
今度は3匹か
最近は魔獣も
増えてるのかな
……?
キョロ
キョロ
どうしたの?
ウーナ
よし…
魔獣はいない!
ふ…フォルちゃん
あのね…
今度こそ…
私………!
私…
フォルちゃん
が…
が…
がっ…
楽器弾いてるの
うらやましくて
マックじいさんに
ピッコロ習う事に
したの!!
うん
聞いた聞いた
ウーナは
筋がいいって
じいちゃん
言ってたよ
ねぇ
ちょっと
聴かせてよ
…え…
う…うん
いいわよ!

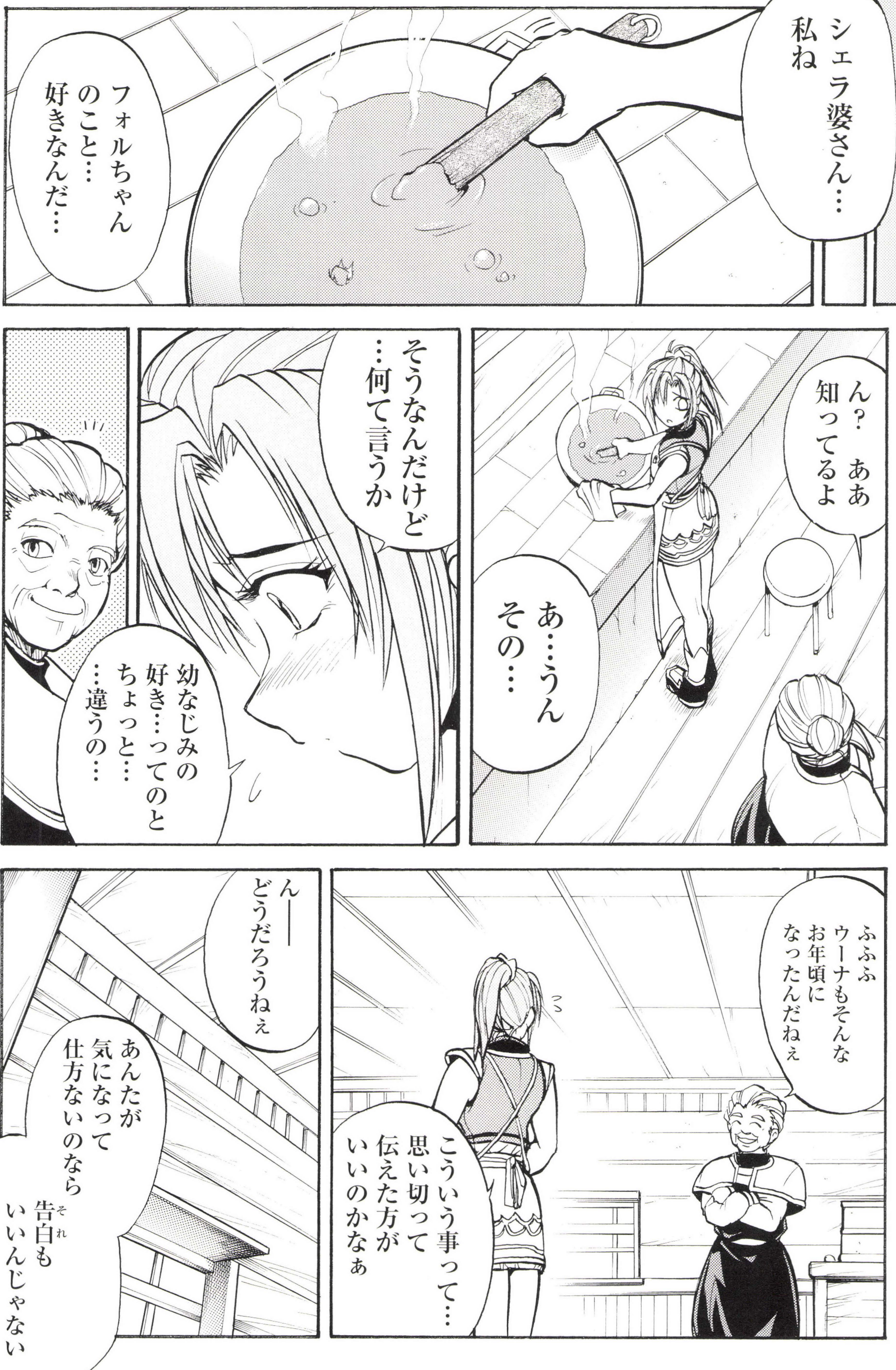
…ふう 危なかったね
ジャンが教えて くれなかったら 背後を取られる 所だったよ
…もう タイミング 悪いなぁ…
あ そういえば ウーナ
今よ！ 言うのよ ウーナ!!
ふ… フォルちゃん…
あのね… 私…
さっき 何か 言いかけてたけど 何だったの？
あ…うん えと…
ばう!!

ザザザ
ザザ
魔獣!!
グルルルルル
ウーナ！ジャン！気をつけて!!

あの辺の海って
あんまり塩辛く
ないんだよね！
うん
あそこの海水は
川の水と
混じった水で
「汽水」って
言うんだってさ
じいちゃんが
教えてくれたよ
…き…
ゴクッ
キス…い…
…ふ…
フォルちゃん
あのね…
ばう！

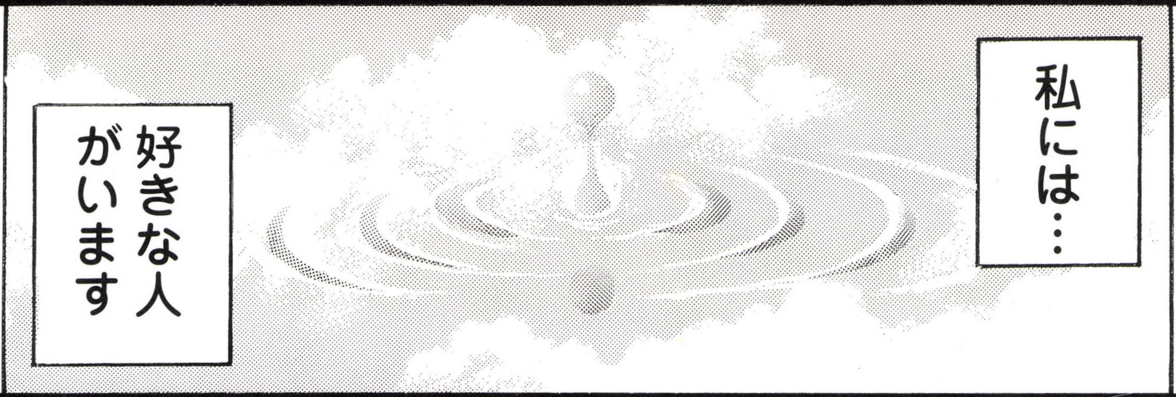
そうだフォルト
悪いけどウーナと一緒に
クランカの村まで
染料を届けてくれんか？
街道には
魔獣も出るし
女の子一人じゃ
心配だからねぇ
うん
いいよ
すまないね
頼んだよ
シェラ婆さんの
お膳立て
GOOD LUCK!
and PLUCK!
ウーナ
頑張ります！
…ね…
ねぇフォルちゃん
え
何？
あ…
…あの…

…でも…
やっぱり
恥ずかしいな
それに
こういうのって
ふたりっきりの
時じゃないと
言い出せないし…
おやおや
珍しいねぇ
いつも元気な
ウーナらしくも
ない
こんにちわ――
ガタッ
おや
フォルト
噂をすれば
影だね
？
いやいや
こっちの話

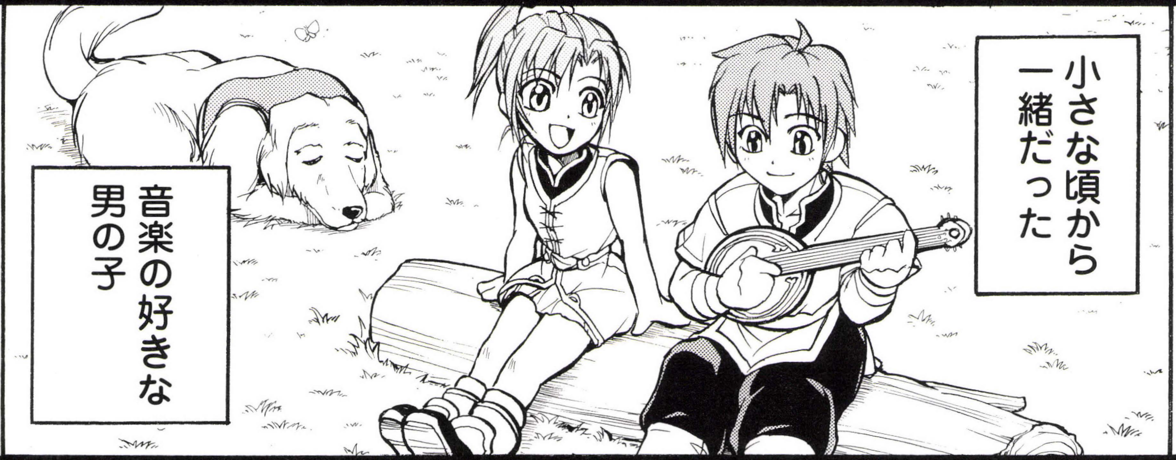

シェラ婆さん…私ね
フォルちゃんのこと…好きなんだ…
ん？ああ知ってるよ
あ…うんその…
そうなんだけど…何て言うか
幼なじみの好き…ってのとちょっと…違うの…
ふふふウーナもそんなお年頃になったんだねぇ
こういう事って…思い切って伝えた方がいいのかなぁ
ん――どうだろうねぇ
あんたが気になって仕方ないのなら告白もいいんじゃないかい？

第1話　COMPOSED BY 竹山祐右

*Nihon Falcom/BANDAI Presents*




*The Legend of Heroes*




*Gagharv trilogy*

*Final*

Gagharv Trilogy Complete art Books
Baraka
Saintrale Circle Islands
Lutom Island
Gagharv Trilogy Complete art Books